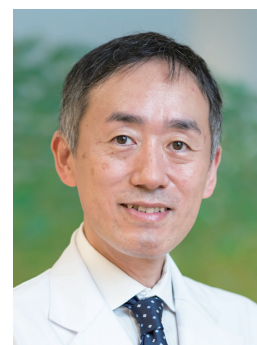


## 巻 頭 言

病院長 河原林 正敏



2020年度の耳原総合病院活動報告書を取りまとめましたので、ご査収いただけましたら幸いに存じます。

昨年度は当院も御多分に洩れず、新型コロナ患者の受け入れに病院全体で協力して全力疾走してきた1年でした。地域の救急医療を支える病院として、地域医療支援病院として、当院が求められている役割を果たす必要があること、今回の新型コロナに限らず、この先も様々な新興感染症への対応は避けて通ることはできないであろうことを踏まえ、院内で幾度も議論を重ねながら、新型コロナ患者を受け入れる方針を決定しました。同時に、新型コロナ対応と並行して、当院がこれまで担ってきた医療機能をできる限り維持していくことを院内で意思統一しました。2020年度中に保健所経由で疑似症を含め906人(外来834人、入院72人)の新型コロナ患者を受け入れました。これは堺市二次医療圏の民間病院では最多の受け入れ数です。

新型コロナ対応に加え通常の診療も並行して維持していく必要があり、現場には相当の苦労を強いることとなりましたが、医療活動については一定前進できた部分もありました。主なところでは2020年度の全身麻酔手術件数、分娩件数、経皮的冠動脈インターベンション件数、上部・下部内視鏡件数などはそれぞれ過去最高の実績でした。血液透析管理患者数も過去最多となりました。7月にはNICU(新生児集中治療室)を開設し、周産期医療の質向上に向けた大きな一歩を踏み出すことができました。新型コロナ対応で大変な中でしたが、同時に一般入院、救急医療など通常医療をなんとか両立しながら守り抜くことができたと思っております。

また、当院は医療費の捻出が困難な方のために無料または低額な料金で診療を行う無料・低額診療事業に取り組んでおりますが、新型コロナ感染の影響はここにも現れております。コロナ禍での減収などにより経済的に困窮する世帯が明らかに増えており、当院での2020年度の無料低額診療の適用件数は前年度に比べ約3割増加しました。当院は今後も患者さんに寄り添う医療を実践すべく取り組んで参ります。

骨太の方針2021が閣議決定され、国は全世代型社会保障制度改革を引き続き推進するとし、社会保障支出の抑制する基本路線を継続する方針です。コロナ禍で明らかとなった医療提供体制の課題についても、病院の連携強化や機能強化・集約化で乗り切れるとし、病院・病床を削減する方向性を変えることなく、地域医療構想を推進しようとしています。地域医療の最前線で踏ん張っている病院として、さらに現場からの発信を強めていく必要があると感じております。

これからも医療活動の推進と医療の質の向上に向けた取り組みに尽力して参る所存ですので、引き続き当院へのご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

# 目 次

巻頭言	病院長 河原林 正敏
沿革と年譜	1
病院の現況(病院の概要・指定医療機関・実施医療機関・救急医療・学会認定・施設基準等)	4
理念、綱領、基本方針	8
組 織 図	11
職員配置表(職種別人数)	12
職員用デジタルサイネージでふりかえる2020年度	13
===== 医療活動報告 =====	
外来統計	16
入院統計	17
退院患者統計	21
Q I データ	23
救急搬送データ	26
===== 部門別活動状況 =====	
手術室(科別手術数)	28
手術室(各科術式別手術数)	30
内視鏡検査室	36
薬 剤 科	37
臨床検査科・病理診断科	38
放 射 線 科	39
循 環 器 内 科	40
臨 床 工 学 科	41
リハビリテーション科	42
栄 養 管 理 科	43
サポートセンター(患者相談室)(医療福祉相談室)	44
サポートセンター(がん相談支援センター)	45
サポートセンター(入退院支援室)	47
サポートセンター(地域連携室)	47
組 織 健 診 科	52
感 染 制 御 室	54
===== 各科活動報告 =====	
集 中 治 療 科	70
総合診療センター	70
循環器センター(循環器内科)	71
循環器センター(心臓血管外科)	72
消化器センター	73
腎・透析センター(腎臓内科・透析)	74
代謝・膠原病内科	75
呼 吸 器 内 科	75
呼 吸 器 外 科	76
チルドレン&ウィメン・ヘルスケアセンター(小児科)	76
チルドレン&ウィメン・ヘルスケアセンター(産婦人科)	78
泌 尿 器 科	79
整 形 外 科	79

脳神経外科	80
リハビリテーション科	80
緩和ケア科	81
精神科	82
麻酔科	83
病理診断科	84
放射線科	85
歯科口腔外科	86

===== 各委員会活動 =====

倫理委員会	88
医療安全対策委員会	89
安全衛生委員会	91
災害対策委員会	91
情報管理委員会	92
クリティカルパス委員会	93
褥瘡対策委員会	94
NST・給食委員会	95
呼吸ケア委員会	95
輸血療法委員会	96
診療情報委員会	97
外来診療委員会	98
コーディング委員会	98
高齢者医療対策推進委員会	99
身体拘束ゼロ委員会	100
がん診療推進委員会	101
H P H 委員会	102
医療材料委員会	103
教育学習委員会	103
拡大CS委員会	104
学術委員会	104
アート委員会	104
治験審査委員会	106
虐待防止委員会	106
教育・研修活動	108
研究実績	112

発行にあたって

## 沿 革 と 年 譜

- 1953年11月 耳原病院開設(病床数54床…内、児、外、婦、X線)
- 1955年 7月 第一病棟増設(病床数117床)
- 1956年 3月 皮膚科、泌尿器科新設
- 1957年 4月 眼科新設
- 9月 第二病棟増設(病床数211床)
- 11月 耳鼻咽喉科新設
- 1958年11月 医療法人同仁会(財団)設立
- 1959年 2月 整形外科新設
- 1960年 5月 鳳診療所開設(内、児、外)
- 9月 麻酔科新設
- 1962年11月 鳳診療所を病院化、鳳分院開設(病床数38床…内、児、外、X線)
- 1963年 9月 原爆一般疾病指定
- 1965年 2月 総合病院として認可
- 1971年 7月 精神神経科新設
- 1974年 3月 日常医療点検総括会議
- 7月 耳原総合病院竣工(地下1階地上6階、病床数193床)
- 12月 手術棟改造(病床数213床)
- 1975年 3月 泉州高等看護学院開校
- 12月 管理棟完成
- 1976年 8月 旧第二病棟改造(病床数245床)
- 9月 同仁会職員互助会発足／同仁会第2次5カ年計画発表
- 10月 脳神経外科新設
- 12月 神経内科新設
- 1977年 5月 コンピューター導入
- 1978年 6月 CT、シネアンギオ棟完成、同2階に10床増設(ベッド255床となる)
- 1979年 1月 看護婦宿舎「みみはら寮」完成
- 4月 同仁会会館建設
- 5月 老松診療所(人工透析25台)開設
- 8月 救急病棟(18床)開設(第一病棟除去、未熟児4含め224床となる)
- 1980年 5月 別館(地下1階、地上3階、86床)完成、合計280床となる
- 8月 耳原旭ヶ丘会館完成(労働組合、夜間保育所が同館に移転)
- 9月 耳原旭ヶ丘鍼灸所開設／創立30周年記念行事
- 1981年 9月 耳原歯科診療所開設
- 11月 耳原鳳病院新築移転(85床)老松診療所増改築(40台)
- RI検査室開始
- 12月 別館2階にSCU開設
- 1982年11月 内科専門分化実施
- 12月 入院助産制度認可
- 1983年 5月 重症者看護病棟23床
- 6月 眼科外来オープン
- 1984年11月 「耳原友の会」設立総会
- 1985年 7月 創立35周年記念事業実行委員会設置
- 9月 在宅酸素療法加算承認／4階に「集中観察室」開設
- 1988年 4月 新館建設第一期工事竣工(新館5階、新救急病棟)
- 1989年 1月 特3類看護認可
- 2月 胸部心臓血管外科開設
- 7月 適温適時給食実施
- 1990年 4月 新館3階病棟オープン
- 7月 別館3階病棟オープン

1992年 1月 外来オーダーリングシステム開始  
 1993年 4月 第2土曜休診開始  
       5月 第1回健康まつり開催  
 1994年 4月 第2・第4土曜休診開始／在宅医療部発足  
 1995年 1月 阪神大震災支援運動に取り組む  
       2月 ショックウエーブ導入  
       4月 骨密度測定装置導入  
       5月 訪問看護ステーションみなと開設  
       9月 新看護体系(2:1A加算)  
 1996年 2月 耳原鳳こども診療所開設  
 1997年10月 耳原高石診療所開設  
 1998年 4月 厚生省臨床研修指定病院認可／第2・4土曜日診療再開  
       12月 老人保健施設みみはら開設  
 1999年 4月 特定医療法人取得  
       5月 地域医療室開設／整形外科開設／内科総合病棟開設  
       10月 病棟再編(10病棟→9病棟)  
 2000年 4月 救急告示開始(内・小・外)／居宅介護支援事業所開所  
       11月 みみはら高砂クリニック開設  
 2001年 4月 リハビリ拡張基準Ⅱ取得  
       5月 感染対策緊急集会  
       7月 第1回医療安全大会(法人)  
 2002年 2月 皮膚科外部化／専任リスクマネージャー配置  
       4月 日本医療機能評価受審／外科・心外・整形外科統合診療オープン／放射線科・麻酔医  
       5月 放射線科総合受付開設／紹介外来特別加算取得／外来改装  
       7月 急性期特定病院加算取得  
       10月 新2階病棟開設／MRI導入  
       12月 緩和ケア病棟新設／第1回緩和ケアシンポジウム(地域公開学習会)  
 2003年 5月 鳳病院に6床移設  
       7月 薬剤師全日24時間体制実施／電子カルテオーダーリングシステム稼働  
       8月 別館2階病棟「特殊疾患入院施設管理加算」承認／外来化学療法センター開設／入院時  
       11月 医学管理加算承認  
       11月 日本医療機能評価一般B認定  
 2004年 3月 SPDシステム導入  
       7月 日帰り手術センター開設  
       11月 「当院の姿勢と患者様に望むこと(患者様の権利章典)」の実施  
       12月 第1回「地域医療連携をすすめる会」  
 2006年 9月 みみはらファミリークリニック開設(耳原南花田診療所移転)  
 2008年 2月 小児科単独病棟開設  
       10月 集中治療室開設  
 2009年 6月 無料低額診療事業開始  
 2010年 8月 新病院建設ニュース 月刊「心ひとつに」創刊  
 2011年 1月 社会医療法人取得  
 2011年 3月 東北大震災支援運動に取り組む  
 2012年11月 地域医療支援病院許可  
 2013年 1月 立体駐車場整備完成  
       4月 サポートセンター開設  
 2014年11月 新病院Ⅰ期工事完成  
       8月 「同仁会報」「とも」(健康友の会みみはら)「心ひとつに」3紙合併発行開始  
 2015年 3月 新病院竣工式・記念レセプション・内覧会／旧病院解体工事着工  
       4月 新病院開院

6月	320列CT導入
9月	歯科口腔外科、救急科 標榜
9月	循環器センター、腎・透析センター、消化器センター開設
10月	「患者さん」呼称変更
2016年4月	熊本震災支援派遣(4/19～6/7までのべ16人)
5月	Ⅱ期工事完成 グランドオープン記念式典(みみはらホール、レストラン「グランの食堂」開業) がん相談支援センター開設
6月	総合診療センター／がん支援センター／がん相談支援センター開設
7月	ボランティア「風」が堺市功績者賞受賞
9月	消化器センター開設
11月	QMS(Quality Management System)活動開始
2017年3月	大阪府がん診療拠点病院指定
4月	チルドレン&ウィメン・ヘルスケアセンター(CWHC)開設
9月	一般社団法人 日本専門医機構「総合診療専門研修プログラムにおける一次審査」認可
10月	医師臨床研修マッチング制度、5年連続規定枠フルマッチ
2018年3月	小児科当直、再開 リハビリ科、急性期病棟での365日リハ
5月	一般社団法人 National Clinical Database 登録 卒後臨床研修評価機構(JCEP)第三者評価 認定更新
7月	外来初診時選定療養費徴収体制の開始
8月	国土交通省 レジリエンス認証 専門外来「胆石症」外来 開設
10月	総合入院体制加算3 算定を開始
12月	「バイオ・ジェット」®(先進医療)検査の許可取得
2019年1月	日本医療機能評価機構 3edG: Ver2.0一般病院2 認定
4月	院内でTB・MAC遺伝子検査開始
5月	認定病院患者安全推進機構 患者安全推進フォーラム 当院で開催
9月	6階病棟 新生児室移設工事・9階病棟 内診室設置工事、婦人科救急受入れ開始 ER病棟をハイケアユニットに転換
10月	病棟入替え(8階⇔11階)
11月	堺市特殊詐欺被害防止協力事業者に認定
12月	11階病棟内にハイケアユニット1室(4床)を立上げ 毎月勤労統計調査への協力姿勢について厚生労働省より表彰
2020年2月	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)BCPを立上げ 「帰国者・接触者外来」の設置
3月	立体駐車場増設
4月	鳳クリニックで産婦人科診察開始 地域医療支援病院(300床以上)の初診・再診選定療養費徴収の義務化
6月	PCR検査機を配備 病室陰圧化の増設(2室)、陰圧前室装置の配備(3台)
7月	6階病棟にNICU(2床)立ち上げ 大阪府より新型コロナウイルス感染症患者の入院受入れ要請(3床) レジリエンス認証更新
8月	小児科時間外受診開始
9月	回復期リハビリテーション病棟 体制強化加算1算定
10月	病院長・病院幹部 交代 医療機能評価中間審査 NICU(3床)運用開始
2021年3月	新型コロナウイルス ワクチン接種事業開始

# 病 院 の 現 況

## 1. 病院の概要

病 院 名	社会医療法人同仁会 耳原総合病院
理 事 長	田端 志郎
病 院 長	河原林正敏
所 在 地	〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町4丁465番地
診 療 科 目	内科、救急科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、呼吸器外科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、産婦人科、精神科、小児精神科、神経内科、泌尿器科、眼科、脳神経外科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、病理診断科、緩和ケア科、消化器外科、総合診療科、皮膚科、歯科口腔外科、耳鼻咽喉科(休診中)
病 院 開 設	1953年
病 床 数	386床

### 【主たる指定医療機関】

- 地域医療支援病院
- 大阪府がん診療拠点病院
- 基幹型臨床研修指定病院
- HPH(健康増進活動拠点病院)
- 病院医療機能評価機構認定(3rd G: Ver.2.0)
- 保険医療機関
- 労災指定医療機関
- 母体保護指定医療機関
- 生活保護指定医療機関
- 更生医療担当医療機関
- 被爆者検診委託医療機関
- 原爆医療法指定医療機関
- 特定疾患(難病)治療研究委託機関
- 小児慢性特定疾患治療研究委託機関
- 母子保健法養育医療指定医療機関
- 結核予防法指定医療機関
- 身体障害者福祉法指定機関
- 指定自立支援医療機関(更生・育成・精神通院)
- 高齢者の肺炎球菌ワクチン予防接種実施医療機関
- 乳児健康診査取扱医療機関
- 公害医療機関
- DPC/PDPS算定機関
- 児童福祉法指定の第1種助産施設
- 卒後臨床研修評価機構認定病院

- 大阪府難病医療協力病院

### 【主たる実施医療機関】

- 厚生労働省医薬品副作用モニター病院
- 特定健診実施医療機関
- 堺市・高石市国保人間ドック実施医療機関
- 堺市子宮がん健診・乳がん健診・大腸がん健診実施医療機関
- 循環器心発作受入医療機関
- 二次救急病院輪番制協力病院

### 【救急医療】

- 大阪府二次救急告示医療機関(内科・小児科・婦人科)
- 夜間初期小児救急医療支援事業

### 【学会認定】

- 日本内科学会認定医制度教育病院
- 日本小児科学会小児科専門医研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本産科婦人科学会専攻医指導施設
- 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設拠点教育施設
- 日本麻酔科学会 麻酔科認定病院
- 日本病理学会研修認定施設 B
- 日本消化器病学会関連施設

- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本腎臓学会研修施設
- 日本消化器外科学会修練施設
- 日本消化器内視鏡学会認定専門医制度指導施設
- 日本呼吸器内視鏡学会認定施設
- 日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
- 日本産科婦人科学会専門研修連携施設
- 日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- 日本臨床細胞学会認定施設
- 日本臨床細胞学会教育研修施設
- 日本臨床栄養代謝学会NST稼働認定施設
- 日本人間ドック学会/日本病院会人間ドック健診施設機能評価認定施設
- 日本口腔外科学会准研修施設
- 日本大腸肛門病学会認定施設
- 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関認定施設
- 日本女性医学会認定研修施設
- 日本乳癌学会関連施設
- 日本緩和医療薬学会緩和医療専門薬剤師研修施設
- 日本脳卒中学会研修教育施設
- 日本緩和医学会認定研修施設
- 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定修練施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 浅大腿動脈ステントグラフト実施認定施設
- マンモグラフィ(乳房エックス線写真)検診施設画像認定施設
- 母体保護法指定医師研究機関

### 【施設基準等】

#### [病棟看護体制]

- 一般病棟入院基本料(7対1)認可
- 緩和ケア病棟入院基本料認可
- 重症者特別療養環境(35床)認可

#### [病院給食入院]

- 入院時食事療法(Ⅰ)認可

#### [衛生管理]

院内感染防止対策認可施設

#### [施設認定]

検体検査管理認定施設、体外衝撃波(腎・尿管結石破碎術認可施設、胆石破碎術認可施設)、経皮的冠動脈血栓除去術認定、経皮的冠動脈形成術認定、大動脈バルーンバンピング法(IABP法)認定、経皮的冠動脈ステント留置術認定、ペースメーカー移植術認定

### 【主な届出】

- 歯科外来診療環境体制加算 1
- 一般病棟入院基本料(7対1)
- 総合入院体制加算 3
- 臨床研修病院入院診療加算
- 救急医療管理加算
- 超急性期脳卒中加算
- 妊産婦緊急搬送入院加算
- 診療録管理体制加算 1
- 医師事務作業補助体制加算 1
- 急性期看護補助体制加算
- 看護職員夜間16対1配置加算 1
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 精神科リエゾンチーム加算
- がん拠点病院加算
- 栄養サポートチーム加算
- 医療安全対策加算 1 /医療安全対策地域連携加算 1
- 感染防止対策加算 1 /抗菌薬適正使用支援加算 1
- 患者サポート体制充実加算
- ハイリスク妊娠管理加算
- ハイリスク分娩管理加算
- 総合評価加算
- 呼吸ケアチーム加算
- 後発医薬品使用体制加算 1
- 病棟薬剤業務実施加算 1
- 病棟薬剤業務実施加算 2
- データ提出加算2
- 入退院支援加算



- 認知症ケア加算1
- 特定集中治療室管理料 1
- ハイケアユニット入院医療管理料 1
- ハイケアユニット入院医療管理料 2
- 小児入院医療管理料 4
- 小児入院医療管理料の注 2 に規定する加算
- 回復期リハビリテーション病棟入院料 1 / 体制強化加算 2
- 緩和ケア病棟入院料 1
- 入院時食事療養 / 生活療養 ( I )
- 歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
- 糖尿病合併症管理料
- がん性疼痛緩和指導管理料
- がん患者指導管理料イ
- がん患者指導管理料ロ
- がん患者指導管理料ハ
- 外来緩和ケア管理料
- 乳腺炎重症化予防・ケア指導料
- 地域連携小児夜間・休日診療料 1
- 地域連携夜間・休日診療料
- 院内トリアージ実施料
- 夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に掲げる救急搬送看護体制加算
- 療養・就労両立支援指導料の注 2 に掲げる相談体制充実加算
- 開放型病院共同指導料
- がん治療連携計画策定料
- 肝炎インターフェロン治療計画料
- ハイリスク妊産婦連携指導料 1
- 薬剤管理指導料
- 医療機器安全管理料 1
- 在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料
- 在宅療養後方支援病院
- 遺伝学的検査
- HPV 核酸検出及びHPV 核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
- 検体検査管理加算 ( I )
- 検体検査管理加算 ( IV )
- 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡

#### 検査加算

- 植込型心電図検査
- 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
- ヘッドアップティルト試験
- 画像診断管理加算 1
- CT撮影及びMRI撮影
- 冠動脈CT撮影加算
- 心臓MRI撮影加算
- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算 1
- 無菌製剤処理料
- 心大血管疾患リハビリテーション料 ( I )
- 脳血管疾患等リハビリテーション料 ( I )
- 運動器リハビリテーション料 ( I )
- 呼吸器リハビリテーション料 ( I )
- がん患者リハビリテーション料
- 医科点数表第 2 章第 9 部処置の通則の 5 に掲げる処置の休日加算 1
- 医科点数表第 2 章第 9 部処置の通則の 5 に掲げる処置の時間外加算 1
- 医科点数表第 2 章第 9 部処置の通則の 5 に掲げる処置の深夜加算 1
- 人工腎臓
- 導入期加算 2 ・腎代替療法実績加算
- 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- 乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検 ( 単独 )
- 経皮的冠動脈形成術 ( 特殊カテーテルによるもの )
- 経皮的中隔心筋焼灼術
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 ( リードレスペースメーカー )
- 両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
- 植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極拔去術

- 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
- 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
- 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
- 医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6(歯科点数表第2章第9部手術の通則4を含む。)に掲げる手術
- 医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1
- 医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
- 医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
- 医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
- 輸血管管理料Ⅰ
- 輸血適正使用加算
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- 麻酔管理料(Ⅰ)
- 麻酔管理料(Ⅱ)
- 保険医療機関間の連携による病理診断
- 病理診断管理加算1
- 悪性腫瘍病理組織標本加算
- (先進医療)MRI撮影及び超音波検査融合画像に基づく前立腺針生検法

## 同仁会のなりたち

### 私たちの理念「一視同仁」

1950年2月、耳原町(現協和町)に私たちの前身である耳原実費診療所は生まれました。当時は戦後の荒廃した生活の下、同和地域がゆえの差別と貧困にくるしめられ、トラコーマや結核が蔓延し、助かるべき命も失うという悲惨な状況でした。

このような中、地域の人たちと民主的な医師たちが「無差別・平等の医療」をもとめて、3万円(一口100円)の資金を募るなど、自らの診療所開設に立ち上がりました。開設時は借家の手狭な診療所でしたが、堺市で最初の患者の立場に立った民主診療所(現民医連)が誕生しました。

3年後の1953年11月には、いち早く病院化(54床)し、次いで57年には一挙に211床に増床、これを期に「みんなの病院」への思いを込めて58年11月に医療法人(財団)同仁会が設立されました。

創立後半世紀がすぎました。堺市を中心とする大阪民医連南ブロックには、5法人(1病院、8診療所、1介護老人保健施設、1歯科、8訪問看護ステーションなど)が地域に根ざして活動し、民医連連動が大きく広がっています。

「一視同仁」とは「だれかれなく、わけへだてなく平等に愛する」という意味です。

差別や貧困とたたかい、すべての人の人権と平和を願う先人の思いが、法人名の「同仁会」にこめられています。

今また、「病気であっても、医療が受けられない」という人権軽視の医療制度改悪が推し進められ、平和がおびやかされる時代へと逆行しつつあります。このような時代だからこそ「一視同仁」の原点を大切にし、「いのちの平等」をしっかりとふまえ、「無差別・平等の医療」をまもり続けます。

## 民医連(みんないれん)とは

戦後、医療に恵まれない人々の要求にこたえようと、地域住民と医療従事者が手をたずさえ、民主的な医療機関が各地につくられました。全日本民主医療機関連合会(全日本民医連)は、これらの連合会として1953年に結成されました。

以後、半世紀以上にわたって地域の人々にささえられ、身近な医療機関として活動しています。医療制度を改善する運動もすすみ、「いのちは平等である」との考えから、差額ベッド料はいただいていません。また、地域の要求から介護・福祉分野の活動も活発に行っています。

現在、民医連に加盟する事業所は、全国の47都道府県に1,700カ所を超え、約8万人の職員と、医療生活協同組合員や友の会会員約371万人の方々が、ともに保健・医療・福祉の総合的な活動、安心して住み続けられるまちづくり運動を進めています。

# 民 医 連 綱 領

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。

戦後の荒廃のなか、無産者診療所の歴史を受けつぎ、医療従事者と労働者・農民・地域の人びとが、各地で「民主診療所」をつくりました。そして1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を結成しました。

私たちは、いのちの平等を掲げ、地域住民の切実な要求に応える医療を実践し、介護と福祉の事業へ活動を広げてきました。患者の立場に立った親切でよい医療をすすめ、生活と労働から疾病をとらえ、いのちや健康にかかわるその時代の社会問題にとりくんできました。また、共同組織と共に生活向上と社会保障の拡充、平和と民主主義の実現のために運動してきました。

私たちは、営利を目的とせず、事業所の集団所有を確立し、民主的運営をめざして活動しています。

日本国憲法は、国民主権と平和的生存権を謳い、基本的人権を人類の多年にわたる自由獲得の成果であり永久に侵すことのできない普遍的権利と定めています。

私たちは、この憲法の理念を高く掲げ、これまでの歩みをさらに発展させ、すべての人が等しく尊重される社会をめざします。

- 一．人権を尊重し、共同のいとなみとしての医療と介護・福祉をすすめ、人びとのいのちと健康を守ります
- 一．地域・職域の人びとと共に、医療機関、福祉施設などとの連携を強め、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます
- 一．学問の自由を尊重し、学術・文化の発展に努め、地域と共に歩む人間性豊かな専門職を育成します
- 一．科学的で民主的な管理と運営を貫き、事業所を守り、医療、介護・福祉従事者の生活の向上と権利の確立をめざします
- 一．国と企業の責任を明確にし、権利としての社会保障の実現のためにたたかいます
- 一．人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります

私たちは、この目標を実現するために、多くの個人・団体と手を結び、国際交流をはかり、共同組織と力をあわせて活動します。

2010年2月27日

## 耳原総合病院の基本方針

いのちの平等をかけた、大阪南部になくなくてはならない存在として、地域の人々とともに、保健・医療・介護のネットワークづくりを支え、24時間365日分け隔てなく安全安心信頼の事業とまちづくりを進めている。

## 耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています

### ●安全、安心、信頼の医療

私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます

### ●無差別、平等の医療

私たちは患者様の人権を尊重した医療をすすめます

### ●患者負担の少ない医療

私たちは室料差額はいただきません

医療費負担を増やす政策に反対します

### ●地域とともに歩む専門職の育成

科学性・社会性・倫理性をふまえた鋭い人権感覚をもつ専門職を養成します

## 基幹型臨床研修病院 耳原総合病院

### < 基本理念 >

地域、社会から求められる医師として成長するため、また、医師としての生きがいを持って働き続けるために、

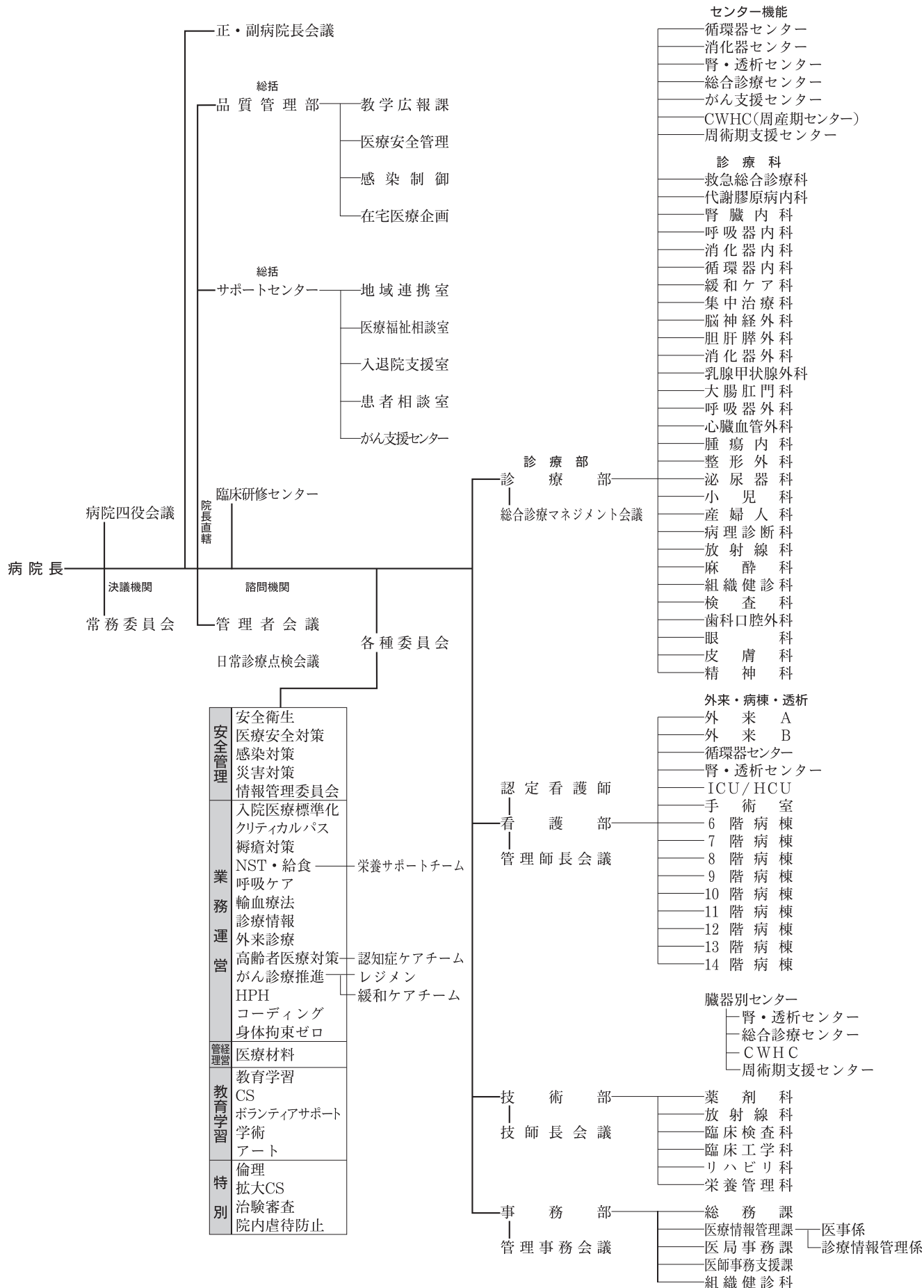
1. 疾患を幅広くとらえる
2. 病院、診療所とともに地域を研修の場とし介護、福祉も視野に入れる
3. 医師としてのリーダーシップ、他職種とのコミュニケーション、医師としての社会的役割を身につける

### < 五つの基本姿勢 >

1. 研修医が健康的に研修できる環境を保障する
2. 研修医をひとりにしないよう、十分なバックアップ体制を作る
3. 個々の研修医の到達に合わせ、ゆるやかに無理なく研修を進める
4. 指導医だけでなく、病院全体で研修医を育てる
5. 地域で暮らす生活者として患者様をとらえ、問題解決にあたる

# 耳原総合病院組織図

2021年3月1日現在



# 職員配置表

2021 3.31現在

職 種	常 勤	非 常 勤		換 算
	人 数	人 数	換 算	合 計
医師	100	89	2.3	102.3
歯科医師	2	1	0.1	2.1
薬剤師	23	2	1.4	24.4
臨床工学技士	26	0	0.0	26.0
検査技師	24	4	2.1	26.1
放射線技師	27	0	0.0	27.0
理学療法士	35	0	0.0	35.0
作業療法士	15	0	0.0	15.0
言語聴覚士	7	1	0.4	7.4
心理判定士	0	1	0.0	0.0
歯科衛生士	3	1	0.0	3.0
歯科技工士	0	0	0.0	0.0
トレーナー	0	0	0.0	0.0
管理栄養士	8	0	0.0	8.0
栄養士	1	0	0.0	1.0
調理師	15	3	2.8	17.8
保育士	2	0	0.0	2.0
介護福祉士	5	0	0.0	5.0
施設技師	1	0	0.0	1.0
その他技師	0	2	0.5	0.5
視能訓練士	1	0	0.0	1.0
ケースワーカー	6	0	0.0	6.0
事務	50	77	64.0	114.0
看護師	386	12	4.9	390.9
助産師	28	2	0.3	28.3
保健師	1	0	0.0	1.0
准看護師	2	6	3.4	5.4
薬剤師助手	0	1	0.1	0.1
リハビリ技師助手	0	1	0.7	0.7
技術助手	0	3	1.2	1.2
助手	0	4	2.2	2.2
看護助手	2	52	31.6	33.6
調理員	0	11	7.1	7.1
合 計	770	273	125.1	895.1

# 職員用デジタルサイネージでふりかえる2020年度

## 【4月】

レポートセンター取り組み紹介・その1  
 専任・主任が計画立案、ファシリテーターで  
**『接遇ロールプレイ』を3回開催、27名参加!**

ほかの、隣の部署の稼働をみて「なるほど」と新発見!  
 人の振り見て我が振り直せ? 自分の「クセ」を再認識!  
 「またやりたい」の声多数、今年も開催予定です!

改めてのお願い  
**大型連休中の**  
 ✓ 家族以外との会食・飲み会  
 ✓ 不要不急の外出  
**“絶対”控えてください**

油断大敵

HPH委員会一同より 職員のみなさまへ  
**NOW ON MUSIC**  
**ONE WORLD TOGETHER AT HOME**  
 GLOBAL CITIZEN World Health Organization  
**“MY HERO IS YOU”**

## 【5月】

**院内虐待防止対策委員会**  
 総(PHS7641)・副本(PHS7410)

COVID-19対策による  
 休校・休園・テレワークなどの  
 長期化により  
 家庭内暴力(DV)や虐待が増加するリスクについて  
 報告されています。  
 気になるケースがあれば  
 いち早くご連絡下さい!  
 一人で抱え込まないで!

**Clear Sky Project**  
 Practice by アートセクション

院内外からたくさんのお写真とメッセージを頂き  
 現在約**200枚**の空が集まっています!  
 なんと! ロシア日本大使館にシェアして頂き  
 f ロシアの空が続々届いております!!

アートについて  
 毎日放送より取材!!  
**5/7放送されます**  
**Check it out!!!**

**おうちにいようよ**  
 ちちんぷいぷい & Eテレ

ME.com No.43  
 野田・林・増井

COVID-19  
 エコーの運用が変わり、  
 ME室には置かなくなりました。  
**必要の際はER又は7階へ!!**

ER VSCAN  
 7階 Vivid i

## 【6月】

知らないうちに、拡めちゃうから。  
**STOP! 感染拡大**  
 COVID-19

**会話の際はマスク着用を**  
**特に食事時は注意してください!**  
 1人ひとりの心がけが、感染拡大を防ぎます

こどもと女性の健康センター (CWHC)  
**2020年4月より**  
**耳原風科クリニックに**  
**産婦人科外来を開設しました!**

月	火	水	
担当医師	坂本	内田	坂本
受付時間	9:00~11:30 (11:00受付終了)		

受孕を希望される方は **6階産婦人科外来まで**お越しください

外科 山口副院長  
 堺市消防署 訪問時  
 即席「腹部疾患対処法」  
 レクチャー風景です

## 【7月】

**休憩中の会話は**  
**マスク着用徹底!!**

職員同士マスクなしでの会話は厳禁です

食卓・廊下でも、徹底してください

体外循環式心肺蘇生法合同学習会(報告)

堺市消防局  
**救急ワークステーション**

7月15日 勉強会を行いました  
 耳原総合病院 研修部 救急科 研修医  
 堺市救急センター 白井 救急医師

**DNAR確認方法**

DNAR確認まで要らない場合でも話し合ったプロセスをカルテ記録に反映しましょう

登録した「DNAR」のタブに★がつきます

文言管理中の同意書も取りましょう

お問い合わせは倫理委員会事務局 大平PHS:7108 田中PHS:7444 まで

## 【8月】

COVID-19 活動総括 & 今後の方針  
**トップマネジメントメッセージ放映中**

Safety-Plusから  
 Tドライブから

奥村専院長・河原林病院長代行より  
 COVID-19対応に関する総括・今後の方針について  
 ビデオメッセージを放映中です  
 職場で、ご自宅で、ぜひご視聴ください

Tドライブ>17 品質管理部>999 BCP関連>COVID19-BCP関連>001対策会議 には  
 COVID-19 BCPの活動総括(確定版)も掲載中 併せてご覧ください

ありがとう  
**Goodjob報告 No.1**  
 (リハビリ)

車いすブレーキかけ忘れ 看護師が気づき 転倒防止

こころ Good - 危険を予知し直ぐに行動した

(外来)

内視鏡(鎮静)検査後 ふらつく患者 バイクでの帰宅防止

こころ Good - 患者さんをしっかり観察 帰宅方法を確認した

品質管理部 2020.8.30

地球へ新体制のお知らせを含め! 時間のプログラム  
 職員は5階会議室でモニター中継の視聴 (観覧なし)  
 管理者宛てに参加確認を行います ■申込: 地域連携室まで

**第24回 地域連携をすすめる会**  
 9月19日(土) 15:00~16:00 @5階会議室①②

来賓挨拶: 堺市医師会副会長 佐々木健久先生  
 「周術期管理の強化と地域医療の展望」 病院長代行 河原林正敏  
 「プライマリケアに必要なCOVID19の知見と当院の取組み」  
 総合診療センター長 大矢亮 / 総合診療センター 河村裕美  
 副会長挨拶: 病院長 奥村伸二

## 【9月】

**9/27 締切**  
**感染予防クイズ大会!**

キョウコボディクレーム48人  
**豪華景品が当たる!**

Alrium ユニクロエアリスM 1660人  
 サムゲタン(常楽)48人  
**疫病退散!**

景品は全業・個人からの医療関係に対する支援景品です  
 総務課

医師・介護安全委員会  
 医療安全委員会  
 医療安全委員会  
**“窒息”の正しい定義と対応 (仮)**

「誤嚥」と「窒息」の定義の違いを正しく理解し、適切に対応することは、患者だけでなく医療者を守ることに繋がります

「あずみの里」総判では看護側証人も認められた総合病棟の福村先生をお迎えして、正しい「窒息」の定義を学ぶ学習会を開催します  
 当日はZoomによるオンライン配信も実施

2020年11月4日(水)  
 18:00~19:30  
 みみはらホールA & Zoom配信

長野尚健和会病院  
 福村直哉先生

会場? Web? 一人でも多くの職員のご参加をお待ちしています  
 品質管理部 (医療安全管理課)

**粟粒結核は**  
**陰圧個室へ!!**  
**PCR+3連痰の提出を!!**

2020.9.30 感染制御室



【10月】

### 奥村病院長退任の会

2日間限定で放送

職員の皆様が協力いただいたメッセージ動画も！

日程: 10月12日(月) 13日(火) 11:30~13:30

サイネージモニターを【入力切り替え】で観れます

### CKDトータルケアレクチャー in みみはら

- 『CKD診療の治療戦略』  
大阪大学腎臓内科 永井 理之先生  
座長 大矢 麻耶 医師
- 『各診療科の考える治療戦略』  
はやし内科クリニック 林 考治先生  
耳原総合病院 植田 祐美子先生  
座長 石原 昭三 医師

循環器センター&透析センター  
コラボの勉強会を開催しました

### Web看護奨学生会議開催

全体で72人の参加

10月10日、看護奨学生会議を開催しました。学習前に友人近況報告もして、交流しました。同に学生会生は、低学年の38人が参加。

今回の学習企画は「病棟について」西淀病院皮膚排泄ケア認定看護師の藤原有紀子さんに講義をして頂きました。低学年の心に響く言葉から始め、言葉を丁寧に説明しながら、同時に図試についても解らせて頂きました。「実習中に病棟を知ったが知識は不十分だったので、今回知れて良かった」「高齢の方は、定時間でも病棟になることを知れた」などの感想がありました。

学習後は、「大阪府構想について」考えてもらうと体験とお話をして、民生活を取り組んでいることを伝えました。現状、対面での企画は難しいですが、今できることをしようとして話をしています。

看護学生担当

【11月】

### 10/28 がんミニ学習会

「がんと疼痛について」(講師:石野薬劑師)の報告 @がん診療推進委員会

10月28日がんミニ学習会「がんと疼痛」(石野薬劑師)を、5F会議室2で開催しました。がん患者さんの多くが経験する「痛み」に関して、「鎮痛薬の4原則」から、鎮痛薬の効果や副作用まで、わかりやすく解説しました。

学習会には、放射線技師2名、薬剤師8名、事務4名、リハ4名、看護師2名、管理栄養士1名、臨床検査技師1名、薬学生2名の計23名が参加し、大盛況な学習会となりました。

### エルデカルシトールによる高カルシウム血症

定期検査が大切!

血清カルシウム値を3~6ヶ月に一度、確認しましょう

主な症状...倦怠感、いらいら、嘔吐、口渇、食欲減退、意識レベル低下があります。

安全で有効な薬物治療を!

2020/11 薬剤科

### 身体拘束学習 Safety Plus

この学習の受講対象者は... 受講期間 12/1~12/25

全員必須です!

- ✓ 医師
- ✓ 看護師
- ✓ 看護助手
- ✓ 介護福祉士

期間中に必ず受講しましょう

Safety Plusへのログイン方法

職員ID mimiharasm

パスワード mimihara

同期コードを保存する

【12月】

### 患者満足度調査実施

調査期間 2020年12月14日(月)~12月25日(金)

外来も 入院も

病院の質改善のため、少しでも多くのご意見を集めるよう、患者さんやご家族に対し、院内やお声かけをお願いします

CS委員会事務局

### ジャズピアノコンサート

12/29(火) 場所: グランの食堂

11:30~14:00  
ピアノ  
河合有加さん 演奏会

11:00~17:00  
無料配布 年末特製ぜんざい

★300食限定 なくなり次第終了

アート企画課 × 栄養科 協力  
~年末楽しのひと時をお届けします~

### 10階病棟 大衆演劇の記事が「いつでも元気」に掲載されています

ぜひご確認ください!

いつでも元気

【1月】

### ルーカス使用時

上 下

胸骨の高さ17-30cmの確認を!

### 無料受診の利用急増

12月27日発行の「大阪日日新聞」で 当院の無料低額診療への取り組みが紹介されています

患者、コロナ禍で困窮

困難し、医療を受けられない人が多くなっている。別の形の「医療崩壊」だ

組合病院のイントラページで全文掲載中!  
(トップページにリンクあり) 電子カルテでらげのこ下下さい

### 好評につき第2回開催決定!! CVC指導医レクチャー

開催日時 1月26日(火) 17:00~18:00 @ 医局会議室

【2月】

### ささえ隊ニュース Vol.07

2021.02

セルフレアはのびと

「仲間のカ」

3階を避けながら仲間と話をしよう

発行: COVID-19 感染予防チーム

### COVID-19対応 個人防護具の着脱マニュアル Ver.20へ更新

イントラネットも更新してしま 旧Verを提示していませんか?

2021.2.3 感染制御室

### 地域の住民3団体よりコロナ対応へ 感謝状を頂戴しました。

日々奮闘されているみなさまに心から感謝の気持ちを贈ります。

部落解放同盟大阪府連帯支部  
自由連合会支部  
全国部落解放運動連合会堺支部

【3月】

### 3月13日(土)は医師医療安全大会

#### 心理的安全性とSafety-II

講師 近畿大学医療安全部 医療安全対策室教授 辰巳隆一先生

<今年はZOOMで配信します>

軽妙な語り口で、今トレンドな「心理的安全性」と一昨年~昨年当院で取り組んだ「Safety-II」を、コロナされる講義は、面白くてタメになること必至! 医師以外でも懇請頂けますので奮ってご懇請ください

聴講希望者は「3月6日中に」 職場長までお申し出ください

品質管理課 (医療安全管理課)

### シトラスリボン ERチームで着用しています

新型コロナウイルス感染症の発生やその蔓延、感染経路をエッセンスリボンや外国人などへの差別や偏見の防止を目的と「シトラスリボンプロジェクト」のシンボル

### 民医連医療4月号に 大矢副院長の記事が掲載されています

民医連医療 MN-REN REYO 4

重伝紙

「COVID-19パンデミックによるSDHの課題を抱えた人々への影響と支援」

イントラサイトに全文掲載しています 是非ご覧ください



2020年度

# 医療活動報告



## 2020年度 外来統計

### 診療科別延患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内 科	935	682	1,191	1,298	1,122	1,316	1,500	1,193	1,254	1,121	1,123	1,411	14,146
内科(救外)	810	788	705	957	1,130	879	836	891	858	942	712	750	9,448
内科合計	1,745	1,470	1,896	2,255	2,252	2,195	2,336	2,084	2,112	2,063	1,835	2,161	24,404
小児科	142	129	192	213	259	201	210	255	258	204	173	213	2,449
外 科	1,457	1,244	1,606	1,675	1,545	1,624	1,665	1,396	1,473	1,381	1,382	1,668	18,116
心臓外科	109	85	118	120	97	136	147	120	120	105	70	114	1,341
整形外科	850	750	986	1,007	948	1,010	1,004	1,025	987	859	938	1,029	11,393
呼吸器外科	79	83	82	123	97	110	110	78	75	72	85	88	1,082
眼 科	19	16	20	17	16	16	29	12	23	18	11	28	225
リハビリ科	12	16	13	13	17	14	7	12	12	8	11	17	152
循環器内科	585	464	709	711	570	654	781	686	667	608	670	787	7,892
産婦人科	1,313	1,283	1,535	1,503	1,511	1,584	1,640	1,383	1,595	1,397	1,469	1,676	17,889
皮膚科	28	48	51	44	45	28	58	48	41	23	51	51	516
精神科	264	219	263	262	270	219	266	251	278	236	240	277	3,045
泌尿器科	565	558	558	579	486	558	598	552	543	515	490	570	6,572
消化器内科	154	102	119	156	169	158	177	168	162	167	201	207	1,940
脳神経外科	99	99	97	124	89	91	98	92	96	87	95	114	1,181
麻酔科	51	48	58	62	65	59	58	50	58	53	53	57	672
緩和ケア科	91	65	70	76	82	97	91	62	85	59	43	61	882
透析科	2,936	2,926	2,986	3,099	2,969	2,952	3,087	2,846	3,028	3,010	2,758	3,133	35,730
歯科口腔外科	564	496	692	716	648	625	725	623	654	543	537	725	7,548
健診科	5	2	8	24	25	15	254	280	106	13	27	34	793
合 計	11,068	10,103	12,059	12,779	12,160	12,346	13,342	12,023	12,373	11,421	11,139	13,010	143,823
合計(透析除く)	8,132	7,177	9,073	9,680	9,191	9,394	10,255	9,177	9,345	8,411	8,381	9,877	108,093

2020年度 入院統計 \*11階病棟は、新型コロナ患者への対応のため、8月以降、一部病床を休床して運用  
病棟別 新入院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
救 急	29	37	60	71	71	46	54	45	48	34	19	21	535
H C U	15	8	6	12	19	19	11	12	21	14	14	12	163
I C U	8	6	13	14	10	10	7	6	3	8	4	6	95
6 階	107	122	108	139	131	132	136	138	114	133	118	138	1,516
7 階	126	84	120	147	146	126	125	146	133	120	150	143	1,566
8 階	111	109	123	129	127	98	112	103	120	114	105	125	1,376
9 階	75	42	48	77	99	103	126	97	93	77	85	113	1,035
10 階	5	5	5	9	4	7	6	3	6	4	3	4	61
11 階	72	64	50	63	73	76	81	69	76	70	57	63	814
12 階	140	129	138	143	122	140	147	131	130	131	119	131	1,601
13 階	73	99	94	66	97	63	56	81	59	66	61	92	907
14 階	11	17	16	14	17	19	15	14	14	8	8	13	166
合 計	772	722	781	884	916	839	876	845	817	779	743	861	9,835

病棟別 延患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
救 急	38	49	82	95	99	67	78	67	72	42	25	30	744
H C U	115	122	118	120	120	115	114	118	107	104	97	110	1,360
I C U	109	108	102	115	100	100	118	118	116	110	91	110	1,297
6 階	647	808	740	965	891	852	954	923	789	774	804	943	10,090
7 階	1,425	1,373	1,328	1,481	1,447	1,370	1,472	1,376	1,442	1,414	1,271	1,427	16,826
8 階	1,351	1,439	1,346	1,444	1,492	1,394	1,451	1,387	1,385	1,414	1,278	1,477	16,858
9 階	701	517	623	804	970	909	910	880	922	843	751	976	9,806
10 階	1,514	1,571	1,528	1,571	1,576	1,521	1,566	1,515	1,575	1,566	1,422	1,580	18,505
11 階	1,396	1,495	1,391	1,419	1,386	1,274	1,283	1,239	1,268	1,256	1,067	1,103	15,577
12 階	1,338	1,403	1,287	1,449	1,517	1,438	1,403	1,405	1,403	1,408	1,299	1,480	16,830
13 階	1,286	1,340	1,284	1,442	1,460	1,415	1,443	1,422	1,446	1,400	1,310	1,409	16,657
14 階	655	599	683	726	717	692	720	637	712	557	423	487	7,608
合 計	10,575	10,824	10,512	11,631	11,775	11,147	11,512	11,087	11,237	10,888	9,838	11,132	132,158

病棟別 稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	病床数
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
救急	25.3%	31.6%	54.7%	61.3%	63.9%	44.7%	50.3%	44.7%	46.5%	27.1%	17.9%	19.4%	40.8%	5
HCU	95.8%	98.4%	98.3%	96.8%	96.8%	95.8%	91.9%	98.3%	86.3%	83.9%	86.6%	88.7%	93.2%	4
ICU	90.8%	87.1%	85.0%	92.7%	80.6%	83.3%	95.2%	98.3%	93.5%	88.7%	81.3%	88.7%	88.8%	4
6階	71.9%	86.9%	82.2%	103.8%	95.8%	94.7%	102.6%	102.6%	84.8%	83.2%	95.7%	101.4%	92.1%	30
7階	101.1%	94.2%	94.2%	101.6%	99.3%	97.2%	101.0%	97.6%	99.0%	97.0%	96.6%	97.9%	98.1%	47
8階	95.8%	98.8%	95.5%	99.1%	102.4%	98.9%	99.6%	98.4%	95.1%	97.0%	97.1%	101.4%	98.3%	47
9階	70.8%	50.5%	62.9%	78.6%	94.8%	91.8%	89.0%	88.9%	90.1%	82.4%	81.3%	95.4%	81.4%	33
10階	100.9%	101.4%	101.9%	101.4%	101.7%	101.4%	101.0%	101.0%	101.6%	101.0%	101.6%	101.9%	101.4%	50
11階	96.9%	100.5%	96.6%	95.4%	93.1%	88.5%	86.2%	86.0%	85.2%	84.4%	79.4%	74.1%	88.9%	48
12階	94.9%	96.3%	91.3%	99.5%	104.1%	102.0%	96.3%	99.6%	96.3%	96.6%	98.7%	101.6%	98.1%	47
13階	91.2%	92.0%	91.1%	99.0%	100.2%	100.4%	99.0%	100.9%	99.2%	96.1%	99.5%	96.7%	97.1%	47
14階	91.0%	80.5%	94.9%	97.6%	96.4%	96.1%	96.8%	88.5%	95.7%	74.9%	62.9%	65.5%	86.8%	24
合計	91.3%	90.5%	90.8%	97.2%	98.4%	96.3%	96.2%	95.7%	93.9%	91.0%	91.0%	93.0%	93.8%	386

診療科別 新入院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	316	348	338	380	427	332	319	333	310	324	263	334	4,024
小児科	43	34	37	75	83	74	112	84	78	57	63	89	829
外科	93	71	108	91	95	98	107	93	80	76	88	103	1,103
整形外科	31	18	17	21	22	23	24	21	22	18	18	28	263
泌尿器科	24	23	31	29	29	27	34	35	24	32	33	29	350
心臓血管外科	6	3	7	5	4	7	4	5	4	2	4	3	54
眼科	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
リハビリ科	5	5	5	9	4	6	7	2	6	4	3	4	60
循環器内科	104	54	82	116	100	97	104	118	150	115	138	113	1,291
産婦人科	89	95	90	108	96	103	100	98	83	98	88	98	1,146
緩和ケア科	12	17	16	16	17	22	17	15	16	13	12	14	187
消化器内科	37	35	34	18	21	37	30	25	26	25	20	25	333
呼吸器外科	7	12	9	8	8	7	5	6	4	4	3	7	80
歯科口腔外科	3	5	7	8	9	5	13	10	14	11	10	14	109
計	772	722	781	884	915	838	876	845	817	779	743	861	9,833

2020年度 HCU診療科別入院(+転入)件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	21	11	16	23	25	24	20	19	11	16	12	18
外科	4	6	10	14	10	3	12	12	4	4	5	3
心臓血管外科	3	4	2	5	4	3	4	1	2		1	
呼吸器外科	3	1	1	2		1	2	3	1		2	2
循環器内科	5	5	2	1	3	2	4	1	19		5	2
消化器内科	1		1		1		1	1		4	2	1
整形外科	3	4	6	7	4	3	5	2	2	2	2	4
泌尿器科		1	2		1	1	1	2				1
産婦人科	1	1	1	2		1	1	1	1			1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働率	95.8%	98.4%	98.3%	96.8%	96.8%	95.8%	91.9%	98.3%	86.3%	83.9%	86.6%	88.7%
合計	41	33	41	54	48	38	50	42	40	26	29	32

2020年度 ICU診療科別入院(+転入)件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	8	11	16	19	18	11	10	13	9	11	8	16
外科	18	8	5	13	12	13	15	7	10	14	10	14
心臓血管外科	7	6	4	6	5	4	5	3	4	4	3	3
呼吸器外科	1	5	5	4	6	5	2	3	3	6	5	5
循環器内科					1	2			6	3		2
消化器内科			1				1	2	2			
整形外科	1	1		2			1			1	1	
泌尿器科	1	1									2	2
産婦人科			2		1	2	2		1	1	1	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
稼働率	90.8%	87.1%	85.0%	92.7%	80.6%	83.3%	95.2%	98.3%	93.5%	88.7%	81.3%	88.7%
合計	36	32	33	44	43	37	36	28	35	40	31	44



診療科別 延患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内 科	2,690	2,897	3,025	3,412	3,445	3,193	2,943	3,050	2,806	2,913	2,731	2,799	35,904
小児科	314	262	219	437	505	448	685	517	516	397	385	538	5,223
外 科	1,185	1,238	1,195	1,262	1,250	1,262	1,405	1,400	1,168	1,220	1,095	1,410	15,090
整形外科	654	675	545	603	736	475	548	599	849	712	478	579	7,453
泌尿器科	185	155	184	193	205	186	159	169	130	179	216	186	2,147
心臓血管外科	194	252	215	263	199	151	198	154	154	80	121	106	2,087
眼 科	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
リハビリ科	1,514	1,571	1,537	1,572	1,576	1,516	1,551	1,515	1,578	1,571	1,431	1,591	18,523
循環器内科	1,414	1,301	1,161	1,233	1,190	1,240	1,346	1,230	1,508	1,423	1,167	1,312	15,525
産婦人科	599	623	622	765	682	692	701	707	618	591	606	669	7,875
緩和ケア科	670	602	699	758	725	709	741	643	729	634	516	489	7,915
消化器内科	999	1,019	897	954	1,126	1,069	1,083	970	1,062	1,027	965	1,251	12,422
呼吸器外科	137	176	195	144	110	167	90	100	77	109	76	155	1,536
歯科口腔外科	14	47	18	35	26	34	62	33	42	32	51	47	441
計	10,575	10,824	10,512	11,631	11,775	11,142	11,512	11,087	11,237	10,888	9,838	11,132	132,153

## 2020年度 退院患者統計

### 診療科別 退院患者数

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計	構成比
内科	160	153	166	205	218	188	179	187	191	161	147	170	2125	21.6%
小児科	38	41	37	69	85	79	104	87	85	55	65	87	832	8.5%
外科	120	104	127	138	125	119	124	121	130	108	118	141	1,475	15.0%
整形外科	15	22	14	16	27	16	11	15	18	21	13	19	207	2.1%
泌尿器科	32	28	35	33	38	39	35	36	30	30	39	34	409	4.2%
心臓血管外科	4	9	5	10	8	8	5	5	7	1	3	5	70	0.7%
眼科	2	2											4	0.0%
リハビリ科	29	25	32	25	29	30	32	24	28	18	23	33	328	3.3%
循環器内科	154	97	123	157	141	121	160	137	171	119	149	139	1,668	17.0%
産婦人科	92	92	84	109	109	93	104	100	95	90	88	103	1,159	11.8%
内科(ER)	10	10	13	6	1		2	3		1	1	1	48	0.5%
緩和ケア科	30	24	32	26	29	31	37	25	33	26	22	25	340	3.5%
消化器内科	86	80	76	82	81	97	87	63	89	72	66	83	962	9.8%
呼吸器外科	9	9	16	12	9	11	6	7	7	6	4	8	104	1.1%
歯科口腔外科	2	7	5	10	8	4	15	10	14	11	10	11	107	1.1%
総計	783	703	765	898	908	836	901	820	898	719	748	859	9,838	100.0%

### 病棟別 退院患者数

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計	構成比
救急	16	21	27	34	37	26	35	35	38	31	16	17	333	3.4%
HCU	10	1	1	2	3	4	3	1	2	2	3	1	33	0.3%
ICU	2	1	2	3	2	3	1	1	4	2	1	4	26	0.3%
6階	99	123	100	138	145	118	133	136	130	120	118	142	1,502	15.3%
7階	139	98	122	168	150	123	160	138	159	116	152	144	1,669	17.0%
8階	111	109	127	130	119	104	109	98	123	100	105	120	1,355	13.8%
9階	69	17	38	67	91	102	104	82	84	61	72	95	882	9.0%
10階	29	25	32	25	29	30	32	24	28	18	23	32	327	3.3%
11階	52	61	56	77	73	72	68	64	82	63	51	60	779	7.9%
12階	133	125	126	139	135	146	137	131	134	114	118	128	1,566	15.9%
13階	94	98	102	91	95	78	84	85	84	70	74	92	1,047	10.6%
14階	29	24	32	24	29	30	35	25	30	22	15	24	319	3.2%
総計	783	703	765	898	908	836	901	820	898	719	748	859	9,838	100.0%

### 退院患者 入院形態

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計	構成比
緊急入院	437	462	440	504	519	452	487	434	516	421	391	479	5,542	56.3%
救急搬入	192	183	193	211	208	187	195	182	223	182	158	194	2,308	23.5%
walk-in	245	279	247	293	311	265	292	252	293	239	233	285	3,234	32.9%
予定入院	346	241	325	394	389	384	414	386	382	298	357	380	4,296	43.7%
総計	783	703	765	898	908	836	901	820	898	719	748	859	9,838	100.0%

## ICD大分類別 退院患者数

ICD大分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計	構成比
I(感染症および寄生虫)	28	32	37	30	31	27	23	31	33	19	29	34	354	3.6%
II C(新生物・悪性)	123	81	107	117	110	130	120	97	115	90	104	101	1,295	13.2%
II D(新生物・良性/性状不詳)	22	22	27	31	38	28	40	22	22	18	14	23	307	3.1%
III(血液)	3	1	5	5	3	13	6	6	6	8	6	6	68	0.7%
IV(内分泌)	16	11	23	33	26	30	21	29	21	21	19	24	274	2.8%
V(精神)	2	1	3		2	1				1			10	0.1%
VI(神経)	10	7	16	21	16	27	19	19	17	8	13	12	185	1.9%
VII(眼)	2	2							1			1	6	0.1%
VIII(耳)			1	3			1	1	1				7	0.1%
IX(循環器)	166	112	136	172	164	138	165	158	194	147	164	159	1,875	19.1%
X(呼吸器)	79	69	62	74	77	51	94	60	60	50	53	71	800	8.1%
XI(消化器)	104	123	116	137	123	117	128	105	137	128	103	134	1,455	14.8%
XII(皮膚)	8	6	5	7	11	10	6	7	4		7	5	76	0.8%
XIII(筋骨格)	23	26	25	25	23	20	18	18	30	24	17	23	272	2.8%
XIV(腎尿路生殖器官)	50	57	54	56	64	67	56	57	61	48	45	55	670	6.8%
XV(妊娠、分娩)	62	73	67	84	79	64	71	81	67	67	69	77	861	8.8%
XVI(周産期)	23	28	15	26	33	32	31	36	34	25	29	37	349	3.5%
XVII(先天奇形)	2	2		3	2	1	3	1	2	3		3	22	0.2%
XVIII(症状、徴候)		1	2	1		1	3	4	1		1	1	15	0.2%
XIX(損傷、中毒)	31	33	38	35	51	35	42	33	33	25	31	46	433	4.4%
XXI(保険サービスの利用)	25	16	26	36	46	36	48	49	50	29	36	43	440	4.5%
XXII(特殊目的用コード)	4			2	9	8	6	6	9	8	8	4	64	0.7%
総計	783	703	765	898	908	836	901	820	898	719	748	859	9,838	100.0%

## 年齢別 退院患者数

年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計	構成比
0～4	29	32	27	46	55	54	64	54	58	35	42	59	555	5.6%
5～9	1	7	4	10	8	3	17	9	6	5	6	11	87	0.9%
10～14	4	1	8	7	13	13	13	17	13	7	11	12	119	1.2%
15～19	3	6	5	7	6	5	3		6	3	4	5	53	0.5%
20～24	8	16	17	22	16	17	12	20	17	20	13	23	201	2.0%
25～29	25	23	29	26	36	25	32	27	20	20	29	22	314	3.2%
30～34	21	31	30	30	37	27	30	37	43	29	24	34	373	3.8%
35～39	27	24	19	33	28	23	37	24	20	31	22	28	316	3.2%
40～44	22	22	15	19	17	19	18	15	23	17	16	17	220	2.2%
45～49	26	22	35	35	29	30	34	30	36	32	23	24	356	3.6%
50～54	26	31	22	32	35	37	25	31	38	32	32	34	375	3.8%
55～59	31	28	26	32	31	38	29	39	32	25	32	27	370	3.8%
60～64	34	29	29	33	48	41	44	28	47	35	52	43	463	4.7%
65～69	62	38	62	73	56	53	56	67	61	38	47	67	680	6.9%
70～74	118	93	87	105	108	95	93	87	113	85	98	103	1,185	12.0%
75～79	112	89	107	117	130	111	130	102	125	102	84	95	1,304	13.3%
80～84	114	82	114	143	117	111	118	108	110	94	95	109	1,315	13.4%
85～89	68	71	72	90	73	77	82	79	80	70	77	77	916	9.3%
90～94	39	40	43	28	49	39	47	35	35	29	28	55	467	4.7%
95～99	11	15	13	9	15	15	16	11	14	10	13	12	154	1.6%
100～104	2	3			1	2	1		1			2	12	0.1%
105～109			1	1		1							3	0.0%
総計	783	703	765	898	908	836	901	820	898	719	748	859	9,838	100.0%

## Quality Indicator(医療の質).....

\* 集計は全て年単位(2020年1月~12月)

### ・転倒・転落発生率

#### 【指標の意義】

・転倒・転落を予防し、外傷を軽減するための指標です。特に、治療が必要な患者を把握していく必要があります。

#### 【指標の計算式、分母・分子の解釈】

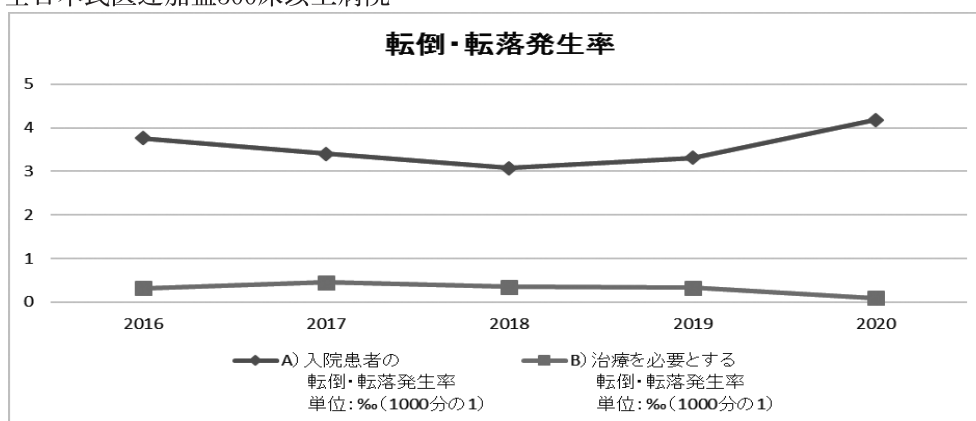
分子 A) 入院患者の転倒・転落件数

B) 治療を必要とする転倒・転落件数

分母 入院患者延数(24時在院患者+退院患者数の合計)

指標名	2016	2017	2018	2019	2020	2020年中央値
A) 入院患者の 転倒・転落発生率 単位：‰(1000分の1)	3.76	3.4	3.07	3.31	4.18	4.52
B) 治療を必要とする 転倒・転落発生率 単位：‰(1000分の1)	0.32	0.45	0.35	0.33	0.09	0.09

※中央値…全日本民医連加盟300床以上病院



### ・新規褥瘡発生率

#### 【指標の意義】

・褥瘡予防対策は、提供されるべき医療の重要な項目であり、栄養管理、ケアの質評価にかかわる指標です。

#### 【指標の計算式、分母・分子の解釈】

分子 入院後に新規に発生したd2以上の褥瘡の数(別部位は1として計測)

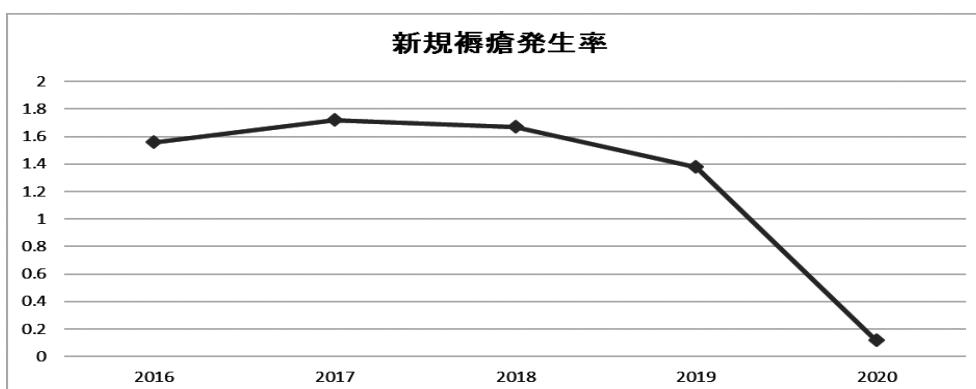
ひとりの患者でも複数発生した場合はその個数を算出する。

分母 調査月の新入院患者数+前月最終日在院患者数(24時現在)

\* 2016年～はd2以上の発生率

指標名	2016	2017	2018	2019	2020	2020年中央値
新規褥瘡発生率 単位：%(100分の1)	1.56	1.72	1.67	1.38	0.12	0.09

※中央値…全日本民医連加盟300床以上病院



## ・退院後7日以内の緊急再入院割合

### 【指標の意義】

- ・予定外の再入院を防ぐ。(初回入院時の治療が不十分であったこと、回復が不完全な状態で早期退院を強いたことによるなど)

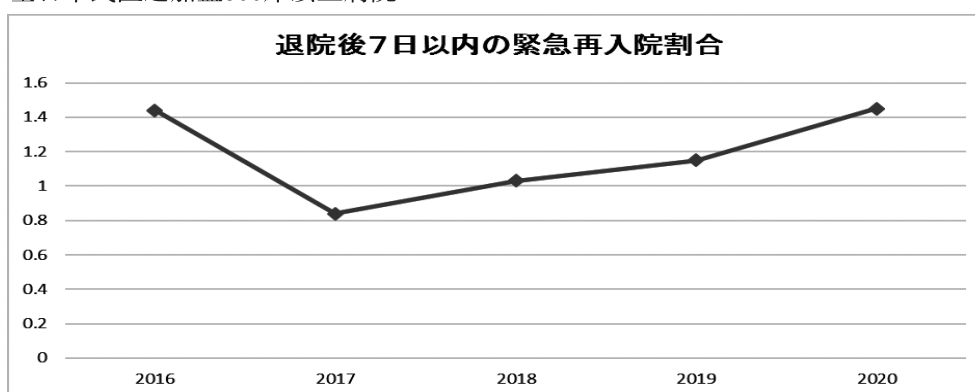
### 【指標の計算式、分母・分子の解釈】

分子 当月の退院患者のうち、前回退院から7日以内に同一傷病名または随伴症・合併症、併存症で緊急入院した患者

分母 退院患者数

指標名	2016	2017	2018	2019	2020	2020年中央値
退院後7日以内の予期せぬ緊急再入院割合 単位：％(100分の1)	1.44	0.84	1.03	1.15	1.45	1.28

※中央値…全日本民医連加盟300床以上病院



## ・ケアカンファレンス実施割合

### 【指標の意義】

- ・この指標はカンファレンスの実施ではなく、カンファレンス記録を評価します。記録を残すことによりチームでの情報共有が促進され、プロセス・アウトカムを評価することが可能となります。

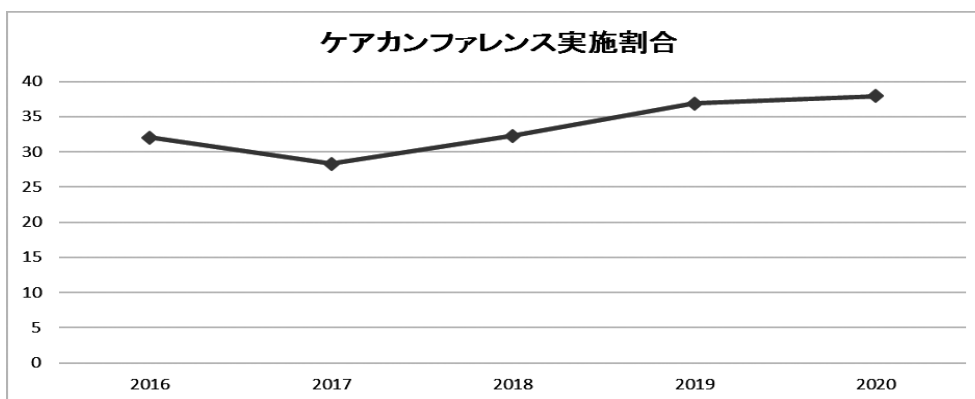
### 【指標の計算式、分母・分子の解釈】

分子 調査月退院患者のうち、入院期間中に1回以上医師・看護師・コメディカルによるカンファレンス記録のある患者

分母 退院患者数

指標名	2016	2017	2018	2019	2020	2020年中央値
ケアカンファレンス実施割合 単位：％(100分の1)	32.01	28.34	32.28	36.87	37.91	49.43

※中央値…全日本民医連加盟300床以上病院



## ・手術後48時間以内緊急再手術実施割合

### 【指標の意義】

- ・外科系チームの医療の質の評価。

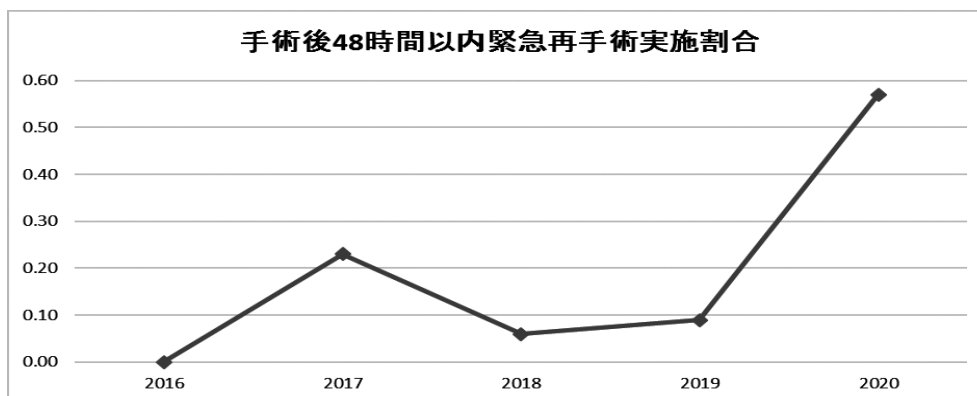
### 【指標の計算式、分母・分子の解釈】

分子 手術後48時間以内緊急再手術数

分母 入院手術数(入院手術を行った退院患者数)

指標名	2016	2017	2018	2019	2020	2020年中央値
手術後48時間以内緊急再手術実施割合 単位：％(100分の1)	0.00	0.23	0.06	0.09	0.57	0.22

※中央値…全日本民医連加盟300床以上病院



## ・救急車受入割合

### 【指標の意義】

- ・救急車受け入れ割合は、救急隊からの搬送の要請に対して、どれだけの救急車の受け入れが出来たかを示す指標で、各病院の救急診療を評価する指標となります。地域医療への貢献を示す指標にもなります。

### 【指標の計算式、分母・分子の解釈】

分子 救急車受け入れ数

分母 救急要請数

指標名	2016	2017	2018	2019	2020	2020年中央値
救急車受入割合 単位：％(100分の1)	87.04	85.90	88.27	90.07	84.32	87.50

※中央値…全日本民医連加盟300床以上病院

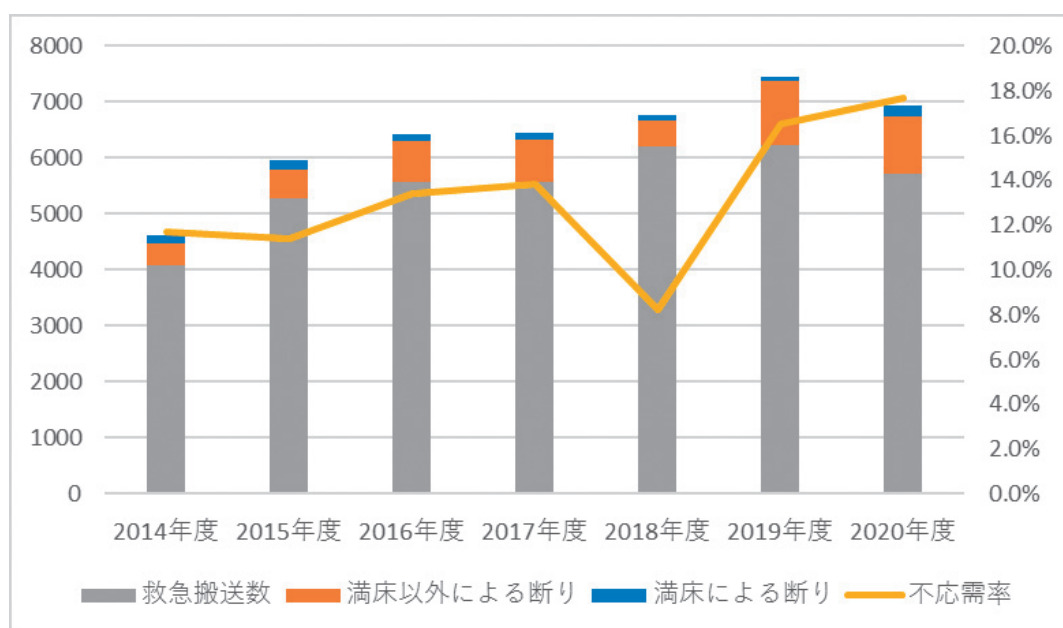


## 2020年度 救急搬送統計

年月日	受入れ不可能な理由						不可 件数	搬送 件数	要請 件数	不応 需率	満床に よる 断り割合	救急搬送 即入数	救急搬送 即入率
	①	②	③	④	⑤	⑥							
4月	18	4	15	28	6	37	108	489	597	18.1%	0.7%	196	40.1%
5月	18	9	11	17	5	49	109	482	591	18.4%	1.5%	208	43.2%
6月	6	0	5	22	1	19	53	442	495	10.7%	0.0%	205	46.4%
7月	3	0	8	17	5	31	64	467	531	12.1%	0.0%	195	41.8%
8月	22	24	8	12	5	47	118	600	718	16.4%	3.3%	228	38.0%
9月	11	15	8	20	3	36	93	464	557	16.7%	2.7%	188	40.5%
10月	8	4	6	20	6	23	67	471	538	12.5%	0.7%	203	43.1%
11月	17	31	8	25	2	22	105	481	586	17.9%	5.3%	195	40.5%
12月	18	28	10	43	2	43	144	495	639	22.5%	4.4%	210	42.4%
1月	18	52	12	32	5	35	154	481	635	24.3%	8.2%	208	43.2%
2月	12	22	13	24	3	32	106	405	511	20.7%	4.3%	234	57.8%
3月	10	21	18	18	5	35	107	439	546	19.6%	3.8%	244	55.6%
計	161	210	122	278	48	409	1,228	5,716	6,944	17.7%	3.0%	2,514	44.0%

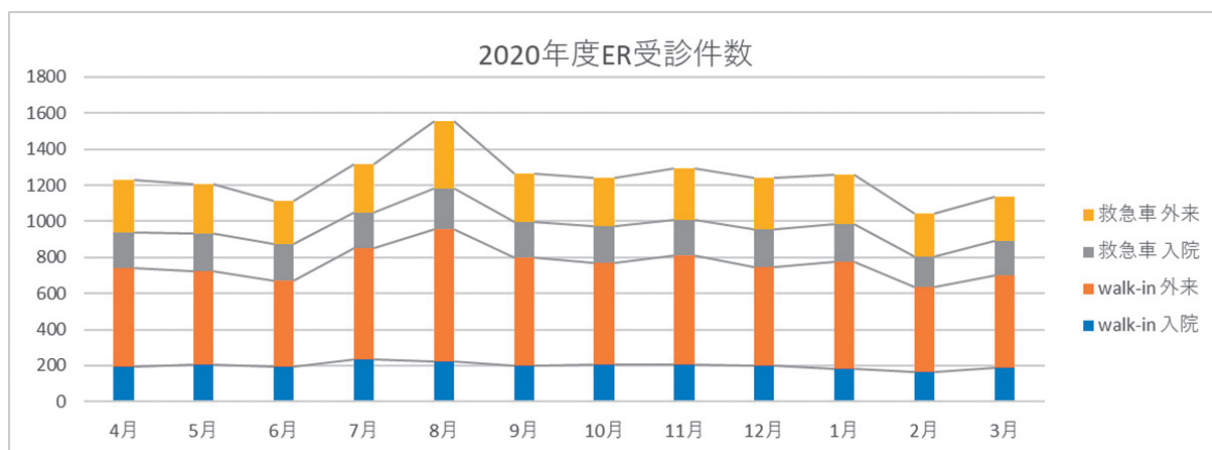
2014年度	48	149	44	63	23	112	542	4,084	4,626	11.7%	3.2%	1,588	38.9%
2015年度	45	169	90	120	39	101	679	5,281	5,960	11.4%	2.8%	1,647	31.2%
2016年度	42	122	129	217	63	161	864	5,569	6,433	13.4%	1.9%	2,007	36.0%
2017年度	51	125	100	247	54	162	894	5,562	6,456	13.8%	1.9%	2,116	38.0%
2018年度	47	85	82	165	43	136	558	6,199	6,757	8.3%	1.3%	2,275	36.7%
2019年度	73	59	106	175	34	315	762	6,218	6,980	10.9%	0.8%	2,181	35.1%

受け入れ不可能な理由
①手術中 患者対応中
②ベット満床
③処置困難(整形処置・吐血等)
④専門外(脳外/交通事故/婦人科)
⑤小児科対応が必要なため
⑥その他理由 不明



## 2020年度 救急外来(ER)統計

	受診 総数	救急車					walk-in			外 来			入 院		
		時間内	時間外	深夜	休日	計	時間内	時間外	計	walk-in	救急車	計	walk-in	救急車	計
4月	1,229	138	159	111	81	489	336	404	740	545	293	838	195	196	391
5月	1,206	125	122	81	154	482	252	472	724	518	273	791	206	209	415
6月	1,110	153	136	102	51	442	278	390	668	472	237	709	196	205	401
7月	1,318	175	140	98	54	467	404	447	851	617	272	889	234	195	429
8月	1,556	196	165	120	119	600	470	486	956	734	372	1,106	222	228	450
9月	1,265	151	147	82	84	464	372	429	801	600	268	868	201	195	396
10月	1,240	162	133	110	66	471	373	396	769	564	267	831	205	205	410
11月	1,294	168	111	74	128	481	419	394	813	609	285	894	204	196	400
12月	1,239	164	149	90	92	495	361	383	744	546	285	831	198	210	408
1月	1,257	131	109	85	156	481	340	436	776	594	273	867	182	208	390
2月	1,041	143	119	66	77	405	271	365	636	473	234	707	163	171	334
3月	1,138	167	116	80	76	439	335	364	699	511	244	755	188	195	383
計	14,893	1,873	1,606	1,099	1,138	5,716	4,211	4,966	9,177	6,783	3,303	10,086	2,394	2,413	4,807





# 部門別活動状況



# 手術室

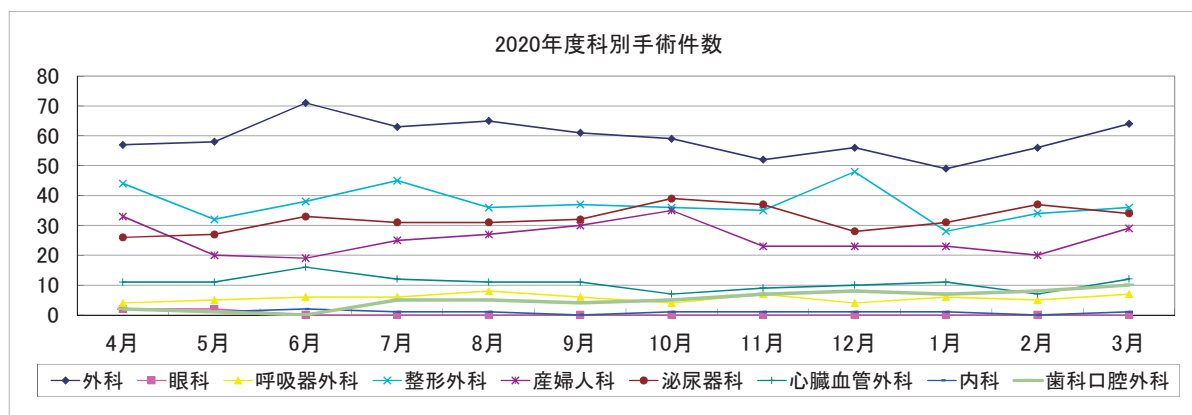
## 科別・入院別・麻酔別手術件数

科 別	入院・外来別			麻酔別		
	外来	入院	合計	全麻	腰麻	他麻酔
外科	80	631	711	583	10	118
眼科	0	4	4			4
呼吸器外科	1	67	68	67		1
整形外科	53	396	449	288	73	88
産婦人科	0	307	307	148	158	1
泌尿器科	38	348	386	99	235	52
心臓血管外科	0	128	128	61		67
内科	0	12	12	6	3	3
歯科口腔外科	0	62	62	58		4
その他	0	51	51			51
総計	172	2,006	2,178	1,310	479	389

## 科別手術件数

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計	月平均
外科	57(17)	58(18)	71(19)	63(16)	65(18)	61(9)	59(15)	52(14)	56(12)	49(13)	56(9)	64(10)	711 (170)	59.3
眼科	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4 (0)	0.3
呼吸器外科	4	5	6	6	8	6	4	7	4	6	5	7	68 (0)	5.7
整形外科	44(2)	32(1)	38(3)	45	36(1)	37(1)	36	35(3)	48(2)	28	34(1)	36(3)	449 (17)	37.4
産婦人科	33(6)	20(6)	19(4)	25(8)	27(4)	30(8)	35(9)	23(4)	23(4)	23(3)	20(6)	29(5)	307 (67)	25.6
泌尿器科	26(2)	27(5)	33	31(1)	31(1)	32(1)	39(3)	37(3)	28(1)	31(2)	37	34(2)	386 (21)	32.2
心臓血管外科	11(2)	11(1)	16(3)	12(1)	11	11(1)	7(1)	9	10	11	7	12(1)	128 (10)	10.7
内科	2	1	2	1	1	0	1	1	1	1	0	1	12 (0)	1.0
歯科口腔外科	2(1)	1	0	5	5	4	5	7	8	7	8	10	62 (1)	5.2
その他	2	3	3	3	4	5	4	6	4	5	5	7	51 (0)	4.3
合 計	183(30)	160(31)	188(29)	191(26)	188(24)	186(20)	190(28)	177(24)	182(19)	161(18)	172(16)	200(21)	2,178 (286)	181.5

\* ( ) 緊急手術数



### 年度別手術件数

	外 科	整形外科	呼吸器外科	心臓血管外科	産婦人科	泌尿器科	眼 科	内 科	歯科口腔外科	その他	合 計
2014年度	621	252	—	108	219	342	310	72	—	—	1,924
2015年度	632	348	—	132	305	332	130	72	—	—	1,951
2016年度	662	386	5	120	322	383	—	91	14	—	1,983
2017年度	666	424	44	101	357	367	—	70	27	—	2,056
2018年度	733	483	28	100	321	455	6	23	23	—	2,172
2019年度	679	463	55	136	354	459	9	16	36	—	2,207
2020年度	711	449	68	128	307	386	4	12	62	51	2,178

### 2020年度 緊急手術件数

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
外科	17	18	19	16	18	9	15	14	12	13	9	10	170
産婦人科	6	6	4	8	4	8	9	4	4	3	6	5	67
心臓血管外科	2	1	3	1	0	1	1	0	0	0	0	1	10
整形外科	2	1	3	0	1	1	0	3	2	0	1	3	17
泌尿器科	2	5	0	1	1	1	3	3	1	2	0	2	21
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
総 計	30	31	29	26	24	20	28	24	19	18	16	21	286

## 外科手術実績

( )内は、腹腔鏡下・腹腔鏡補助下・胸腔鏡下手術件数

臓器・部位	主要手術	2019年度	2020年度
甲状腺・副甲状腺	甲状腺切除術	10	6
	上皮小体過形成・摘出術		2
乳腺	乳房切除術	22	32
	乳房部分切除術	26	16
	乳管・乳腺腫瘍部分切除術	1	
	乳腺腫瘍摘出術	9	15
	植皮術	3	4
リンパ管・リンパ節	リンパ節群郭清術	4	
胃・十二指腸	胃切除術	21 (15)	19 (8)
	腹腔鏡・内視鏡合同胃切除術	2 (2)	1 (1)
	胃全摘術	10 (2)	2
	胃空腸バイパス術	1	5 (1)
	胃縫合術(充填・被覆を含む)	5 (4)	15 (13)
大腸・小腸	大腸切除術	109 (96)	115 (100)
	人工肛門造設術	17 (16)	12 (9)
	人工肛門閉鎖術	11	1
	直腸脱手術		1 (1)
	回腸結腸バイパス術		3 (1)
	経肛門的直腸腫瘍摘出術	2	
	小腸切除術	14 (6)	7 (3)
肝臓	肝臓切除術	3	6
	エタノール注入療法	3	5
	ラジオ波焼灼療法	21 (10)	20 (8)
膵臓	膵頭十二指腸切除術	1	2
	膵体尾部切除術	2	2
	膵管空腸吻合術	1	
脾臓	脾臓摘出術	2	
胆嚢	胆嚢摘出術	115 (113)	132 (125)
虫垂	虫垂切除術	46 (46)	70 (69)
空腸・回腸・盲腸	癒着症手術	10 (8)	11 (4)
	空腸空腸バイパス術	1	
腹壁・ヘルニア	ヘルニア修復術	117 (104)	111 (89)
	腹壁腫瘍摘出術	1	
	腹壁形成術		1
腹膜・後腹膜・腸間膜・網膜	骨盤内臓全摘術		1 (1)
	腸管膜腫瘍摘出術		1 (1)
	腹膜炎手術	1	6 (1)
肛門	痔核切除術	7	6
	痔瘻切除術	2	2
	硬化療法		1
	ポリープ切除術		1
	その他	3	2
静脈	静脈瘤手術	27	22
その他	皮下腫瘍摘出術	23	11
	皮弁形成術	3	
	その他	61 (6)	78 (9)
総	計	717 (428)	747 (444)

婦人科手術実績

\* 2020年1月～12月の件数

臓器・部位	術名	2020年件数
子宮	帝王切開	123
	シロカー氏頸管縫縮	2
	マクドナルド氏頸管縫縮	0
	子宮動脈塞栓	0
	体部Conpression	2
	頸部Conpression	2
	子宮内反症・整復	0
	子宮破裂・修復	0
	単純子宮全摘	61
	広汎・準広範子宮全摘	2
	膣上子宮摘出	0
	筋腫核出	18
	円錐切除	21
	卵巣	卵巣摘出
卵巣嚢腫切除		39
部分卵巣摘出		2
卵巣多孔		5
傍卵巣嚢腫摘出		7
卵管	卵管切除	156
	卵管不妊	14
膣	前膣壁形成	7
	後膣壁形成	7
	膣閉鎖	0
外陰部	バルトリン腺嚢腫造袋	0
	嚢胞切除	0
	腫瘍切除	1
腹腔内	大網切除術	7
リンパ節	リンパ節廓清術	9

手術内訳

緊急	62
緊急	62
予定	242
超緊急	4

腹式	209
腔式	96
腹腔鏡	109
子宮鏡	19
腹腔鏡+子宮鏡	1

全身麻酔	142
脊椎麻酔	156
その他	10
合計	308

悪性手術

子宮頸がん	7
子宮体がん	8
子宮肉腫	0
卵巣がん	5
卵管がん	0
膣がん	0
外陰がん	1
腹膜がん	0
合計	21

産科実績

経膣分娩	600
帝王切開術(予定)	76
帝王切開術(緊急)	43
帝王切開術(超緊急)	4
不妊手術	14
異所性妊娠(卵管切除)	3
異所性妊娠(胎嚢切除)	2

## 整形外科手術実績

部 位	病 名	術 式	2019年度	2020年度
上肢	上肢骨折	骨接合術	45	31
		人工骨頭挿入術	1	1
	手根管症候群	手根管開放手術	9	9
	関節炎	関節鏡手術	1	
	腱鞘炎・弾発指	腱鞘切開術	37	25
下肢	変形性股関節症 他	人工股関節全置換術	17	14
	変形性膝関節症	人工膝関節全置換術	25	25
	下肢骨折	骨接合術	50	78
		人工骨頭挿入術	29	38
	壊疽・壊死 骨髓炎 他	四肢切断術	12	13
	関節炎 半月板損傷	関節鏡手術	4	9
アキレス腱断裂	アキレス腱縫合術	5	3	
脊椎	頚椎症性脊髄症 他	椎弓切除・形成術	14	24
		脊椎固定術	3	
	椎間板ヘルニア	髓核摘出術	16	9
		脊椎固定術	2	2
	腰部脊柱管狭窄症	椎弓切除・形成術	43	36
脊椎固定術 髓核摘出術		42	17 4	
脊椎椎体骨折	脊椎固定術 バルーン椎体形成術	1	5	
他	椎弓切除・形成術 脊椎固定術 バルーン椎体形成術 その他	1 1 1 1	2 6	
その他		その他	117	105
総 計			477	456

## 心臓血管外科手術実績

臓器・部位	術 名	2019年度	2020年度
弁・心房・心室	弁置換術・形成術	47	46
	心室瘤切除術		
	心室中隔穿孔閉鎖術		2
	左心耳閉鎖術		2
	左室形成術		1
冠動脈	冠動脈バイパス移植術	13	10
	冠動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないもの)	5	5
大血管	胸部大動脈人工血管置換術	8	12
	腹部大動脈人工血管置換術		1
その他血管	下肢動脈バイパス術	3	3
	動脈内膜摘出術		3
その他	内シャント設置術	66	57
	心膜切開術	1	
	下肢静脈瘤手術		
	不整脈手術	6	8
	その他	24	22
総 計		173	172

泌尿器科手術実績(術式別件数)

\* 2020年1月～12月の術式別手術件数

臓器・部位	術名	件数
腎・後腹膜	腎摘出術(腹腔鏡下)	3
	腎尿管摘出術(腹腔鏡下)	9
	腎膿瘍ドレナージ	1
	経皮的腎瘻造設および交換	9
	TAP	18
	腎生検	1
尿管・尿路変更	TUL(f TUL)	75(70)
	逆行性腎盂造影および尿管鏡挿入	21
	尿管カテーテル留置・交換	66
	尿管拡張	4
	回腸導管造設術	1
膀胱	TURis-Bt	72
	TURis-Bn	1
	膀胱凝血塊除去術	1
	膀胱碎石術	13
	膀胱尿管逆流防止術	1
	膀胱瘻留置	4
前立腺・尿道	TURis-P	10
	前立腺全摘出術	2
	前立腺生検(Bio JetによるMRI標的的生検)	68(26)
	内尿道切開術	1
男性生殖器	環状切開術	6
	陰嚢・精索水腫根治術	2
	高精巣摘出術	2
	精巣固定術	1
	除精術	13
	コンジローマ焼灼術	2
	精巣生検	2
その他	体外衝撃波結石破碎術(ESWL)	11
	尿管修復術	2
	膀胱修復術	1
	皮膚生検	1
	ポート抜去	1
計		425



## 呼吸器外科手術実績

( )内は、腹腔鏡下手術件数

臓器・部位	術名	2019年度	2020年度
肺	肺切除術	30 (30)	48 (48)
	気胸手術	8 (8)	11 (11)
縦隔	縦隔腫瘍摘出術	2 (2)	1 (1)
その他	胸腔鏡下交感神経遮断術	1 (1)	
	その他	14 (12)	10 (10)
総計		30 (29)	55 (52)

## 消化器内科手術実績

術名	2019年度	2020年度
内視鏡検査 上部	8,525	7,244
内視鏡検査 下部	2,645	2,530
粘膜層剥離術(ESD) 胃・食道・大腸	80	88
内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)	271	282
超音波内視鏡(EUS)	19	26
内視鏡的静脈瘤結紮術(EVL)	22	20

## 呼吸器・総合内科手術実績

臓器・部位	術名	2019年度	2020年度
気管支	気管支熱形成術	3	
その他	CAPD留置・抜去	6	6
総計		9	6

## 腎臓内科手術実績

術式	2019年度	2020年度
腎生検(経皮的腎生検法)	10	2
シャント手術(内シャント設置術、内シャント血栓除去術)	71	59
PTA手術(経皮的シャント拡張術・血栓除去術)	80	84
腹膜透析手術(連続携帯式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術)	3	5
総計	164	150

## 麻酔科管理の麻酔実績

麻酔方法	2019年度	2020年度
全身麻酔	902	962
全麻+硬麻	373	348
腰椎麻酔(ルンバール)	5	7
硬膜外麻酔		
無痛分娩硬膜外チューブ留置術	28	51
伝達麻酔	2	
局所麻酔		
総計	1,310	1,368

## 歯科口腔外科手術実績

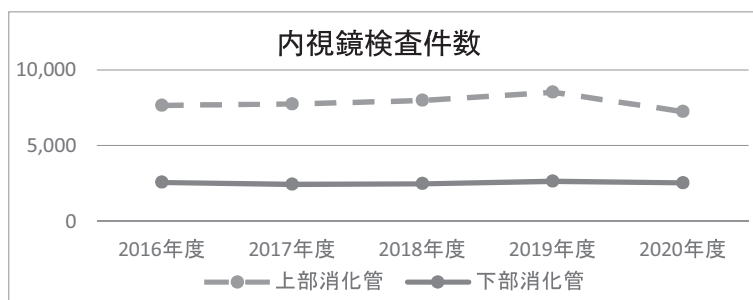
術名	2019年度	2020年度
<外来手術>		
抜歯術(乳歯抜歯、前歯抜歯、臼歯抜歯含む)	200	256
難抜歯術(ヘミセクション含む)	206	155
埋伏歯抜歯術(過剰歯含む)	263	177
軟組織腫瘍摘出術(粘液嚢胞を含む)	11	14
口腔顎顔面創傷処理	1	5
口腔内消炎術	3	6
歯根嚢胞摘出術・歯根端切除術	3	15
上顎洞口腔瘻閉鎖術	1	0
歯牙脱臼・歯槽骨骨折・歯牙再植術・整復固定術	2	0
歯の移植術	1	1
顎骨骨髓炎消炎療法・腐骨除去術	3	4
小帯短縮症切離移動術	0	0
唾石症摘出術	3	0
顎骨嚢胞摘出術・顎骨腫瘍摘出術	3	1
顎関節脱臼非観血的整復術	1	9
ガマ腫開窓術	0	0
その他(口腔外消炎手術、異物除去術など)	0	4
合計	701	647
<入院手術>		
抜歯術(乳歯抜歯、前歯抜歯、臼歯抜歯含む)	50	24
難抜歯術(ヘミセクション含む)	28	1
埋伏歯抜歯術(過剰歯含む)	54	41
軟組織腫瘍摘出術(粘液嚢胞を含む)	4	2
口腔内消炎術	3	3
口腔外消炎術	0	2
歯根嚢胞摘出術・歯根端切除術	6	4
上顎洞根本術・上顎洞口腔瘻閉鎖術	0	1
顎骨骨髓炎消炎療法・腐骨除去術	4	1
顎骨嚢胞摘出術・顎骨腫瘍摘出術	15	7
悪性腫瘍手術	0	1
異物除去術(インプラントなど)	0	1
小帯伸展術	0	1
顎骨骨折	0	1
唾液腺摘出術	0	1
合計	164	91

全身麻酔下手術件数	30件	44件
静脈内鎮静法併用局所麻酔下手術件数	12件	2件
周術期口腔機能管理件数	1,229件	1,218件

# 内視鏡検査室

## 内視鏡検査件数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
上部消化管	7,650	7,743	7,978	8,525	7,244
下部消化管	2,562	2,437	2,472	2,645	2,530



## 内視鏡検査数内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
経口内視鏡検査	168	120	187	233	230	257	272	252	213	194	212	250	2,588
経鼻内視鏡検査	19	6	15	26	14	18	33	18	14	15	16	22	216
鎮静内視鏡検査	59	31	52	80	84	70	87	72	70	63	72	79	819
胃粘膜下層剥離術(ESD)	6	3	4	1	2	8	2	3	5	5	6	9	54
食道粘膜下層剥離(ESD)						1		1		1			3
大腸粘膜下層剥離(ESD)	1	1	5	1	5	1	5	3	1	3	3	2	31
静脈瘤結紮術(EVL)	3	2	2	2	1	4	4		2				20
EMR・焼灼 その他処置												1	1
超音波内視鏡(EUS)	2	1		3		3	3	3	2	2	2	5	26
胃瘻(新規・交換含む)	8	3	6	6	8	8	6	5	6	5	7	8	76
下部内視鏡検査(TCS)外来	139	83	151	177	152	172	195	122	148	119	151	206	1,815
下部内視鏡検査(TCS)入院	32	14	16	23	15	26	17	23	21	20	12	14	233
下部内視鏡検査(SCS)	37	32	37	45	43	47	41	32	41	24	25	32	436
胆膵系内視鏡検査(ERCP)	29	23	20	25	23	27	28	25	17	21	17	27	282
気管支内視鏡検査(嚥下含む)	4	3	10	6	3	3	9	2	7	7	4	5	63
気管支内視鏡熱形成術													0
超音波気管支内視鏡	2	3	10	8	7	7	8	3	4	3	2	7	64
検診経口内視鏡検査	48	0	120	217	193	194	206	185	215	153	174	223	1,928
検診経鼻内視鏡検査	19	0	37	79	86	74	100	78	86	63	76	93	791
検診鎮静内視鏡検査	18	0	60	85	86	91	100	84	86	75	75	80	840
検診シグモ										1			1
食道ステント留置術	1	1	2	1		1		1				1	8
胃十二指腸ステント留置術	1	2	3	1	1	2	5	3	2	1		1	22
下部消化管ステント留置術	1	1		1	6	3	2	1	5	2	3	1	26
消化管止血術					1								1
胃十二指腸拡張術	1		1	3	1		1	1	2	1			11
異物除去							1						1
イレウス管挿入	1	3		1	5	1	1	2	7		1	6	28

# 薬剤科

## 2020年度 業務実績

	集計項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均/月
処方箋枚数	合計	7,006	6,910	6,778	7,423	7,451	7,121	7,480	6,851	7,473	7,068	6,628	7,048	85,237	7,103
	入院	6,238	6,230	6,212	6,694	6,742	6,505	6,773	6,229	6,845	6,428	6,082	6,503	77,481	6,457
	外来	768	680	566	729	709	616	707	622	628	640	546	545	7,756	646
注射処方箋枚数	入院	6,417	6,749	5,954	6,421	6,506	6,578	6,652	6,746	6,695	6,306	5,658	6,380	77,032	6,419
院外処方箋	発行枚数	2,819	2,546	2,866	3,089	2,832	2,947	3,006	2,816	3,068	2,732	2,684	3,102	34,507	2,876
	発行率(%)	79%	79%	84%	81%	90%	83%	81%	82%	83%	81%	83%	85%	991%	83%
薬剤管理指導件数	薬剤管理指導1・2合計	1,149	935	1,301	1,219	1,104	1,153	1,009	1,095	1,053	1,065	1,003	1,061	13,147	1,096
	薬剤管理指導1(安全管理)	739	631	779	786	714	730	634	699	672	687	661	678	8,410	701
	薬剤管理指導2(1以外)	410	304	522	433	390	423	375	396	381	378	342	383	4,737	395
	麻薬管理	17	19	28	28	9	19	33	12	15	25	29	22	256	21
	退院指導	48	36	100	85	49	55	41	50	62	49	48	63	686	57

## 2020年度 化学療法剤調剤実績

化学療法剤調剤数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均/月
外来	がん患者指導管理加算	21	22	36	23	14	29	26	20	25	24	21	27	288	24
	無菌製剤処理料1(45)	18	13	45	18	18	14	11	13	13	13	10	19	205	17
	無菌製剤処理料1(180)	108	111	121	115	101	95	105	97	110	97	94	106	1260	105
	無菌調製件数 合計	126	124	166	133	119	109	116	110	123	110	104	125	1,465	122
入院	無菌製剤処理料1(45)	18	13	45	18	18	14	11	13	13	13	10	19	205	17
	無菌製剤処理料1(180)	2	3	1	1	0	0	0	0	0	1	3	3	14	1
	無菌製剤処理料2(40)	145	117	137	146	133	142	215	280	278	138	101	239	2,071	173
	無菌調製件数 合計	165	133	183	165	151	156	226	293	291	152	114	261	2,290	191
無菌調製件数 総計		291	257	349	298	270	265	342	403	414	262	218	386	3,755	313

## 2020年度 持参薬鑑別実績

持参薬鑑別数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均/月
入院	403	391	426	489	480	464	440	415	398	409	380	458	5,153	429

# 臨床検査科・病理診断科

## 生理検査項目別件数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
心電図	12,912	13,221	14,585	15,867	15,385
心臓エコー	4,187	4,280	4,602	5,327	5,448
血管エコー	1,408	1,528	1,749	1,183	2,198

## 細菌検査項目別件数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
血液培養	6,989	6,740	7,655	8,514	8,902
細菌総数	12,370	12,665	14,375	15,575	16,239
抗酸菌	766	1,404	765	813	987

## 病理関連件数

検査項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
病理組織診断(手術材料、生検材料を含む)	8,395	8,168	8,008	7,788	6,808
術中迅速検査	112	143	141	138	143
一般細胞診	4,301	4,204	4,021	4,332	3,648
婦人科細胞診	8,505	7,733	7,873	8,220	6,796
病理解剖*(自院分)	17(13)	19(13)	16(9)	13(11)	10(5)

## 加算関連件数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
時間外 緊急院内検査加算	4,755	4,988	5,282	5,438	4,757
外来迅速検体加算	15,125	12,344	36,862	52,803	51,481
輸血管料 I (輸血適正使用加算含)	536	537	618	742	829

\* 2020年度特徴

6月より、院内でCOVID関連検査を実施した

PCR検査 ; 2,008件

抗原定量検査 ; 2,242件

# 放射線科

## 2020年度 項目別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均/月	
一般撮影合計	2,717	2,478	2,779	2,859	2,715	2,818	2,979	2,791	2,855	2,719	2,217	2,928	32,855	2,738	健診以外
一般撮影(外来)	1,464	1,243	1,610	1,636	1,523	1,576	1,657	1,540	1,529	1,483	1,124	1,647	18,032	1,503	健診以外
一般撮影(入院)	1,253	1,235	1,169	1,223	1,192	1,242	1,322	1,251	1,326	1,236	1,093	1,281	14,823	1,235	
CT	1,679	1,654	1,729	1,853	1,869	1,765	1,895	1,690	1,833	1,731	1,545	1,850	21,093	1,758	健診含む
MRI	333	304	393	472	405	386	448	381	408	356	389	440	4,715	393	健診含む
RI	57	39	42	53	52	41	53	37	49	36	49	62	570	48	
乳房撮影(保険)	53	59	74	52	66	65	65	48	50	63	65	65	725	60	
超音波	285	162	364	377	391	369	482	364	345	330	341	432	4,242	354	健診以外
骨密度	63	58	124	112	132	103	131	114	122	108	111	144	1,322	110	健診以外
TV合計	57	62	50	61	83	57	77	65	68	51	60	72	763	64	健診以外
(上部消化管)	4	4	2	3	2	0	4	1	3	3	1	6	33	3	健診以外
(注腸)	6	8	5	5	12	4	4	2	2	1	4	4	57	5	
尿路造影	8	12	5	6	13	4	6	8	6	5	9	9	91	8	
ERCP	29	23	20	25	23	27	28	25	17	21	17	27	282	24	
断層(トモシンセシス)		1		1		1		1	2	1			7	1	
(その他)	10	14	18	21	33	21	35	28	38	20	29	26	293	24	
血管造影合計	173	120	147	191	169	144	174	172	195	142	162	163	1,952	163	
(腹部診断・治療)			2	3				1		1	1		8	1	
子宮動脈塞栓術													0	0	
気管支動脈塞栓術													0	0	
シャンPTA・造影	6	11	8	9	9	10	9	8	6	3	4	4	87	7	
ポート留置・抜去	7	2	1	9	2	2	1	4	6	4	2	2	42	4	
その他	4	5			1	2	4	5	6	1	5	2	35	3	
循環器撮影	152	99	130	159	151	118	147	140	166	126	139	143	1,670	139	
検診(胸部)	159	0	760	1,141	1,068	1,023	1,103	934	826	719	759	1,041	9,533	794	
検診(骨密度)	8	0	13	33	26	50	53	43	39	31	31	32	359	30	
検診(超音波)	53	0	108	268	232	268	292	279	271	219	217	297	2,504	209	
検診(乳がん)	27	0	91	161	142	158	214	156	206	131	126	167	1,579	132	
検診(堺市乳がん)	10	0	41	97	94	94	112	136	153	148	113	211	1,209	101	
検診(胃透視)	9	0	100	184	139	177	180	170	146	154	154	163	1,576	131	

## 年度別検査件数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
一般撮影合計	29,760	31,756	33,072	44,125	32,855
一般撮影(外来)	17,559	14,360	14,200	29,569	18,032
一般撮影(入院)	12,199	17,396	18,872	14,556	14,823
CT	17,221	18,520	19,924	21,047	21,093
MRI	4,630	4,867	5,006	5,024	1,715
RI	616	643	583	608	570
乳房撮影(保険)	1,110	635	678	741	725
超音波	7,788	7,937	8,254	6,263	4,242
骨密度	1,121	1,306	1,395	1,345	1,322
TV合計	605	616	778	766	793
(上部消化管)	64	66	86	68	33
(注腸)	83	63	75	88	57
尿路造影	128	112	126	102	91
ERCP	157	203	249	271	282
断層(トモシンセシス)	17	6	2	4	7
(その他)	156	166	240	504	293
血管造影合計	1,613	1,674	1,585	1,904	1,952
(腹部診断・治療)	38	35	22	18	8
子宮動脈塞栓術			1	0	0
気管支動脈塞栓術			1	1	0
シャンPTA・造影	59	64	94	82	87
ポート留置・抜去	41	46	44	43	42
PICC				66	110
その他	62	55	56	109	35
循環器撮影	1,413	1,474	1,367	1,651	1,670
検診合計	14,510	16,465	17,924	19,155	16,777
検診(胸部)	8,103	8,585	9,372	10,432	9,533
検診(骨密度)	355	357	369	353	359
検診(超音波)	2,749	2,823	2,867	2,808	2,504
検診(乳がん)	1,629	1,627	1,726	1,744	1,579
検診(堺市乳がん)	1,224	1,554	1,896	1,924	1,226
検診(胃透視)	1,777	1,519	1,694	1,894	1,576

## 循環器内科

### 検査・手術件数

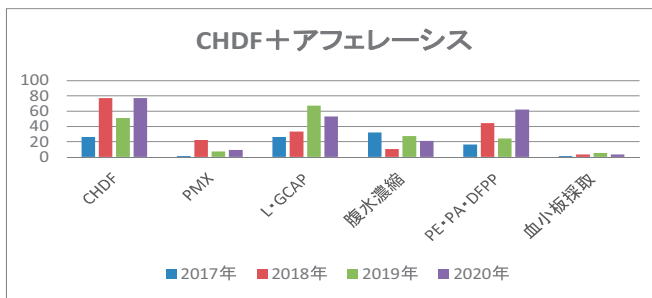
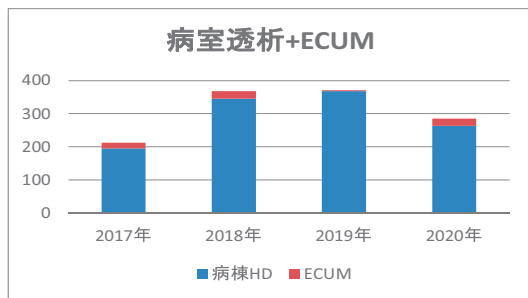
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
CAG(検査のみ)	751	754	704	771	733
PCI	470	506	424	530	565
PTA	36	48	30	66	61
PM新規	34	31	43	55	75
PM交換	14	11	17	11	15
ABL	44	51	90	114	85
ICD・CRT	13	10	15	7	7
IABP	13	14	11	18	18
PCPS	3	6	6	8	8
その他	52	71	42	124	119
合計	1,415	1,482	1,382	1,681	1,660

# 臨床工学科

## 透析センター

(件)

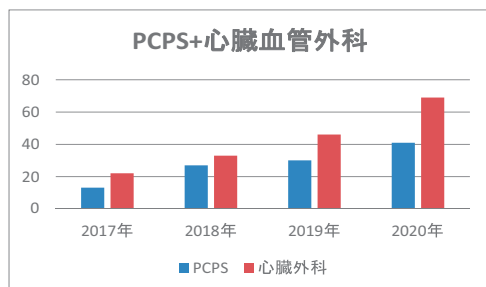
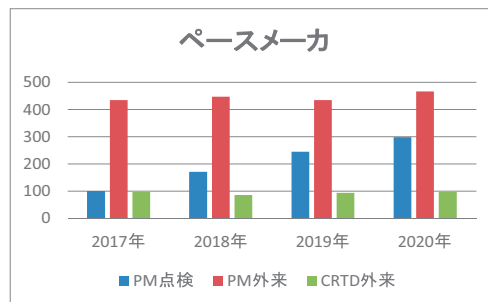
	病棟HD	ECUM	CHDF	PMX	L・GCAP	腹水濃縮	PE・PA・DFPP	血小板採取
2017年	195	17	26	1	26	32	16	1
2018年	345	23	77	22	33	10	44	3
2019年	368	3	51	7	67	27	24	5
2020年	263	22	77	9	53	21	62	3



## 循環器センター

(件)

	PCPS	心臓外科	PM点検	PM外来	CRTD外来
2017年	13	22	100	435	97
2018年	27	33	170	447	85
2019年	30	46	244	434	93
2020年	41	69	298	466	97



## MEセンター

(件)

	ME点検	ME修理
2017年	19,815	460
2018年	24,140	545
2019年	21,047	604
2020年	22,186	638

## その他

(件)

	ERCP	セルサーバ	EVLA	BIOJET生検
2017年	—	—	—	—
2018年	—	6	24	20
2019年	—	17	16	34
2020年	135	19	16	30

## 啓蒙活動

(人)

回	開催日	内 容	参加人数
1	4月7日	輸液ポンプとシリンジポンプ	50
2	6月10日	PCIで使用するデバイス	7
3	7月11日	心電図について	5
4	9月15日	IVUSについて	2
5	10月15日	ACH-Σについて	6
6	10月27日	心電図について	10
7	11月12日	IPPVについて	10
8	11月13日	IPPVについて	6
9	11月19日	NPPVについて	7
10	11月20日	NPPVについて	6
11	11月30日	除細動器について	5
12	12月10日	AIRVO2について	6
13	1月12日	NPPVについて	6
参加人数のべ			126



# リハビリテーション科

## 2020年度 のべ患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	5,256	5,528	5,449	5,774	5,728	5,763	5,754	5,487	5,598	5,434	4,910	5,431	66,112

## 2020年度疾患別のべ患者数

	2019年度	2020年度
脳血管リハ	12,320	11,226
廃用症候群リハ	22,372	19,719
運動器リハ	14,056	14,331
呼吸器リハ	7,117	9,727
心大血管リハ	9,349	7,728
がんリハ	2,223	1,953
合計	67,437	64,684

## 回リハ病棟 提供単位数(単位)

2016年度平均	6.12
2017年度平均	6.34
2018年度平均	5.72
2019年度平均	6.20
2020年度平均	5.90

## 回リハ病棟実績指数

2018年度平均	45.1
2019年度平均	52.0
2020年度平均	56.3

## 回リハ病棟 FIM改善率(点)

2016年度平均	20.5
2017年度平均	22.7
2018年度平均	20.0
2019年度平均	23.4
2020年度平均	23.1

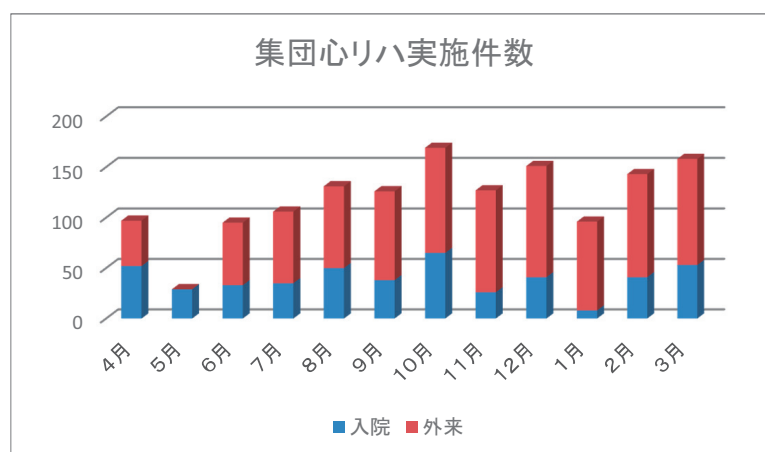
## 急性期 入院から リハビリ処方までの日数

2018年度平均	1.15
2019年度平均	1.12
2020年度平均	0.98

急性期早期算定率 初期加算(14日以内)57.9% 早期加算(30日以内)80.3%

## 集団心リハ実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	52	29	33	35	50	38	65	26	41	8	41	53	471
外来	45	0	62	71	81	88	104	101	110	88	102	105	957



# 栄養管理科

## 2020年度 食料別給食数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常食	1,114	1,482	1,243	1,366	1,263	1,216	1,267	1,382	1,192	1,185	1,373	1,436	15,519
流動食	135	252	190	263	184	115	252	240	260	206	115	229	2,441
特別食	23,933	24,767	24,517	26,552	26,732	25,222	25,482	23,378	25,542	25,356	22,617	25,233	299,331
計	25,182	26,501	25,950	28,181	28,179	26,553	27,001	25,000	26,994	26,747	24,105	26,898	317,291
前年数	26,801	27,376	25,445	26,698	26,899	26,074	26,950	25,341	26,407	27,058	25,700	26,461	317,210
前年比	94%	97%	102%	106%	105%	102%	100%	99%	102%	99%	94%	102%	100%

## 年度別 給食数

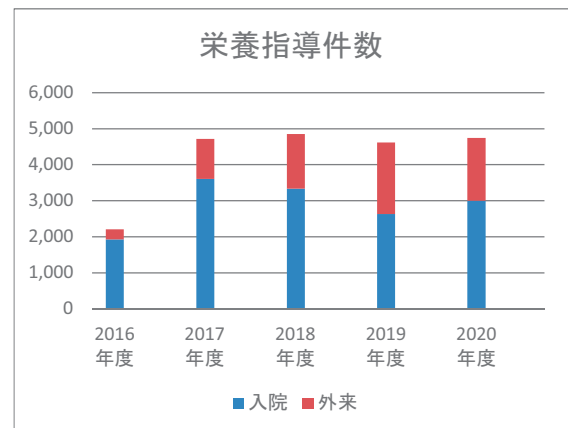
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
常食	17,228	18,225	18,119	16,057	15,519
流動食	2,171	1,754	1,873	2,186	2,441
特別食	287,534	293,213	303,363	297,967	299,331
合計	308,720	313,192	323,355	316,210	317,291

## 喫食アンケート

食事アンケート — 年1回実施  
 喫食調査 — 年1回実施

## 栄養指導件数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
入院	1,929	3,609	3,336	2,633	3,002
外来	279	1,111	1,517	1,987	1,738
合計	2,208	4,719	4,853	4,620	4,740



## 集団栄養指導件数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
教育入院 患者数	85	80	88	98	88
脳卒中教室 回数	3回	—	1回	20回	13回
月1回 患者数	50	—	14	152	71

※脳卒中教室は2018年3月より再開  
 ※2019年度より栄養教室(心臓病の方中心の教室)月2回開始

両親学級 — 月1回 今年度休止

## 栄養管理の機能

指標項目名	項目詳細	分子	分母	2020年度
栄養摂取方法の状況	経口摂取患者割合	断面調査 経口摂取患者数	断面調査 入院患者	85%
	経腸栄養患者割合	断面調査 経腸栄養患者数	断面調査 入院患者	3%
喫食率	5割以下率	喫食率が5割以下の患者数	喫食調査対象者数	27%
	絶食率→7日以上	7日以上絶食患者数	喫食調査対象者数	3%

# サポートセンター

## 2020年度 患者相談室 相談件数

	相談 件数 合計	相談方法		相談方法内訳											
		対面	電話	①相談		②問い合わせ		③苦情・クレーム		④案内のみ		⑤その他		⑥他部署	
				対面	電話	対面	電話	対面	電話	対面	電話	対面	電話	対面	電話
4月	248	146	102	13	25	5	8	0	0	90	51	29	14	9	4
5月	337	169	168	13	26	5	2	0	0	111	118	23	18	17	4
6月	454	234	220	18	38	4	18	0	0	159	134	43	23	10	7
7月	395	217	178	9	26	5	13	1	1	145	109	52	26	5	3
8月	349	182	167	13	33	5	7	0	0	124	101	33	20	7	6
9月	357	180	177	23	28	2	8	0	1	112	115	37	22	6	3
10月	405	215	190	19	32	6	10	1	2	125	104	55	38	9	4
11月	314	177	137	17	23	7	7	0	0	106	85	40	20	7	2
12月	339	186	153	12	23	4	7	0	0	126	102	38	19	6	2
1月	286	165	121	12	19	2	6	0	0	106	76	38	20	7	0
2月	287	159	128	14	24	4	4	1	0	102	73	33	26	5	1
3月	387	183	204	13	37	9	9	2	4	112	116	36	32	11	6
合計	4,158	2,213	1,945	176	334	58	99	5	8	1,418	1,184	457	278	99	42
				510		157		13		2,602		735		141	

- ①相談…介護関係の相談、受診相談、入院・退院相談、費用  
 ②問い合わせ…お薬の事、検査内容、個別送迎、巡回バス、診察内容、予約  
 ③苦情・クレーム  
 ④案内のみ…部署(場所)案内  
 ⑤その他…お礼、かかりつけ医紹介、セカンドオピニオン等、その他(車両関係)、患者さんの荷物、協力基金、寄付金、健診、個人情報問合せ(受診歴、カルテ開示)、書類、転送・転院、友の会  
 ⑥他部署…当該部署へ対応引き継ぎ

## 2020年度 医療福祉相談室 相談件数

	のべ相談数	新規相談数	相談内容				カンファレンス参加数	
			入院	外来	在宅	その他	地域CC	院内CC
4月	1,121	289	857	210	7	47	5	61
5月	1,103	217	871	169	8	55	16	70
6月	1,124	252	792	267	4	61	12	67
7月	1,116	259	800	261	0	55	23	66
8月	1,013	238	682	270	5	56	9	54
9月	999	234	685	215	9	90	14	64
10月	1,050	206	757	218	18	57	13	90
11月	769	174	495	213	9	52	14	55
12月	969	207	633	248	1	87	69	18
1月	820	147	571	178	6	65	48	13
2月	659	129	412	176	1	70	6	48
3月	727	159	468	184	5	70	11	49
合計	11,470	2,511	8,023	2,609	73	765	240	655

## がん相談支援センター

### ■がん種別(部位)

2020年度	割合	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
眼・脳・神経	0.3%	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
耳鼻咽喉・口腔	4.0%	3	1	1	1	2	3	1	2	3	1	0	5	23
胃	7.3%	6	4	5	3	5	4	3	0	0	1	2	9	42
食道	2.8%	3	0	1	2	0	1	2	2	2	1	1	1	16
大腸	15.0%	3	7	11	2	14	13	4	5	11	1	5	10	86
小腸・肛門	0.7%	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
肝・胆	8.0%	4	2	2	3	4	3	7	3	3	5	4	6	46
膵	6.6%	9	6	2	0	1	2	6	1	4	2	3	2	38
肺	11.5%	1	8	4	3	6	12	3	5	7	2	3	12	66
縦隔・心臓	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳房	6.8%	2	4	3	1	6	8	2	7	0	1	1	4	39
卵巣・膣・外陰部	1.7%	2	0	3	1	0	2	2	0	0	0	0	0	10
子宮	2.1%	0	6	0	1	1	0	0	1	3	0	0	0	12
精巣	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前立腺	3.3%	0	1	3	4	0	4	0	2	2	2	0	1	19
腎・尿管・膀胱	6.4%	2	4	3	3	6	1	7	2	1	2	4	2	37
甲状腺	1.7%	3	1	0	0	0	1	1	0	3	0	0	1	10
副腎	0.3%	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
血液・リンパ腫	3.1%	2	0	2	2	1	2	2	1	2	1	2	1	18
皮膚	0.2%	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
骨・軟部組織	0.7%	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	4
後腹膜・腹膜	0.3%	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
中皮腫	1.2%	0	0	0	0	0	2	3	1	0	0	0	1	7
原発不明	0.3%	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
希少がん	1.2%	0	2	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	7
診断なし	0.3%	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
不明	13.1%	4	4	5	11	3	6	5	6	3	10	12	6	75
その他	0.7%	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	4

■相談内容 最も比重の高い内容

2020年度	割合	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
がんの治療	2.3%	0	0	1	1	1	3	1	1	2	0	0	3	13
がんの検査	0.5%	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	3
症状・副作用・後遺症	2.3%	1	2	1	1	2	1	1	1	0	1	0	2	13
セカンドオピニオン(一般)	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
セカンドオピニオン(受入)	0.2%	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
セカンドオピニオン(他へ紹介)	0.5%	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	3
治療実績	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨床試験・先進医療	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受診方法・入院	13.6%	2	5	4	2	6	8	10	6	10	8	10	7	78
転院	4.7%	4	1	3	0	5	1	7	1	0	3	1	1	27
医療機関の紹介	0.7%	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	4
がん予防・検診	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在宅医療	1.4%	0	0	0	0	0	0	2	1	5	0	0	0	8
ホスピス・緩和ケア	7.5%	5	5	5	6	2	4	1	1	2	5	4	3	43
食事・服薬・入浴・運動・外出など	0.5%	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
介護・看護・養育	2.8%	0	1	3	0	0	2	4	2	2	0	0	2	16
社会生活(就労・仕事・修学・学業)	0.3%	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
医療費・生活費・社会保障制度	14.1%	2	8	10	4	12	3	8	9	7	2	4	12	81
補完代替療法	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生きがい・価値観	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不安・精神的苦痛	4.5%	3	2	3	2	3	3	1	0	0	1	0	8	26
告知	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療者との関係・コミュニケーション	0.3%	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
患者・家族間の関係・コミュニケーション	0.3%	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
友人・知人・職場の人間関係・コミュニケーション	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
患者会・家族会(ピア情報)	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グリーフケア	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0.3%	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2

■相談者年齢

2020年度	割合	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1-14歳	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15-19歳	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳未満	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳代	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30歳代	0.5%	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
40歳代	3.1%	4	1	1	0	1	2	2	1	5	0	0	1	18
50歳代	10.5%	4	7	7	3	8	2	2	7	4	5	4	7	60
60歳代	15.0%	7	5	12	2	12	12	11	5	8	4	1	7	86
70歳代	22.8%	15	16	9	9	10	16	11	9	10	4	5	17	131
80歳以上	29.6%	9	18	12	11	19	17	18	10	14	5	15	22	170
不明	18.5%	6	5	7	14	6	14	9	7	4	11	15	8	106

## 2020年度 入退院支援室

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計	
入退院支援加算	600	528	429	508	609	635	566	582	539	590	464	504	574	544.0	6,528
入院時支援加算	200	54	42	59	57	61	56	57	69	97	74	94	100	68.3	820
在宅患者緊急入院 診療加算	1 (2,500)	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0.2	2
	2 (2,000)	21	17	21	20	19	32	24	22	21	13	26	18	21.2	254
	3 (1,000)	31	25	30	16	16	22	19	20	16	22	17	28	21.8	262
退院時共同指導料 2	400	26	35	52	41	31	29	44	25	23	37	28	36	33.9	407
多機関共同指導加算	2,000	4	13	10	15	10	14	3	5	4	5	4	7	7.8	94
小児加算	200	3	1	5	28	51	47	51	52	49	34	42	51	34.5	414
介護支援連携指導料	400	53	68	102	102	61	64	73	44	63	53	54	56	66.1	793
在宅寝たきり患者 処置指導管理料	1,050	16	25	21	23	28	19	23	26	24	21	18	21	22.1	265
総合評価加算	50	183	345	466	504	535	468	491	442	507	399	436	495	439.3	5,271
在宅療養指導料	170	10	8	9	10	9	13	10	5	14	12	9	12	10.1	121

## 地域連携室 紹介状況

	初診患者数	紹介患者数	他院所への 紹介患者数	紹介率 (他院からの紹介)	逆紹介率 (当院からの紹介)
4月	937	424	696	89.8%	147.5%
5月	847	330	570	86.6%	149.6%
6月	896	418	709	85.1%	144.4%
7月	1,071	529	757	81.1%	116.1%
8月	1,101	460	739	79.4%	127.6%
9月	987	502	710	89.3%	126.3%
10月	984	484	781	83.4%	134.7%
11月	993	458	717	80.4%	125.8%
12月	954	403	779	79.2%	153.0%
1月	967	388	659	78.4%	133.1%
2月	788	372	672	84.7%	153.1%
3月	940	459	774	83.2%	140.2%
合計	11,465	5,227	8,563	83.2%	136.3%

## 検査紹介数

	CT	MR	シンチ	X-P	マンモ	胃カメラ	TCF	生理機能	エコー
4月	40	28	0	1	5	14	43	4	14
5月	33	31	0	0	2	3	19	1	4
6月	67	44	0	3	12	22	27	0	8
7月	53	48	1	5	9	42	45	3	7
8月	35	39	1	2	8	25	32	2	6
9月	56	49	3	4	16	28	29	4	10
10月	68	43	0	3	9	38	41	1	12
11月	69	33	0	2	16	27	31	4	8
12月	37	42	0	0	14	20	36	4	10
1月	58	33	1	2	7	22	19	3	11
2月	47	46	1	1	10	19	31	2	2
3月	58	44	1	4	23	28	46	1	9
合計	621	480	8	27	131	288	399	29	101

耳原総合病院 登録医療機関

■堺市堺区■

1	尾花医院
2	はら腎・泌尿器科クリニック
3	小児科林医院
4	なかしま内科クリニック
5	坂口クリニック
6	兵田堺東クリニック
7	村上医院
8	上野内科・小児科クリニック
9	黒田クリニック
10	清水レディースクリニック
11	かめだクリニック
12	すぎうら内科小児科クリニック
13	石村小児科医院
14	喜多クリニック
15	森口クリニック
16	児玉泌尿器科
17	谷和医院
18	いしだ医院
19	飯田一条通診療所
20	松崎医院
21	グレース堺診療所
22	堺京町・ヒロクリニック
23	大川内科医院
24	山田医院
25	福島小児科
26	大住医院
27	荒木肛門科
28	東皮フ科医院
29	近藤眼科
30	なかクリニック
31	まなべ形成美容外科
32	白井内科クリニック
33	いしかわクリニック
34	高田クリニック
35	たちばな内科クリニック
36	安田整形外科クリニック
37	若山眼科
38	八星内科クリニック
39	山県クリニック
40	つげ内科医院
41	神原医院
42	白井内科・消化器科クリニック
43	いづみ医院
44	石原医院
45	中川クリニック
46	加藤内科みなとクリニック
47	やまだ眼科クリニック
48	北庄司眼科医院
49	星クリニック
50	いのうえクリニック
51	橋本医院
52	堺北診療所
53	八木クリニック
54	堀井医院
55	富田内科医院
56	かねの小児科医院
57	脇医院
58	別所外科診療所

(★は今年度の登録医療機関)

59	井筒眼科医院
60	塚田内科クリニック
61	(医)医潤会内視鏡クリニック
62	田端医院
63	ほり眼科
64	松浦クリニック
65	大小路診療所
66	佐藤内科医院
67	いしだクリニック
68	高安内科・循環器科クリニック
69	蓑田医院
70	斎藤医院
71	玉井クリニック
72	佐藤内科医院
73	いしだクリニック
74	高安内科・循環器科クリニック
75	蓑田医院
76	斎藤医院
77	玉井クリニック
78	田辺医院
79	吉田診療所
80	おので整形外科
81	池上医院
82	沈沢医院
83	かげやま医院
84	国枝医院
85	しんほうかい診療所
86	熊野クリニック
87	大浜クリニック
88	にしきこどもクリニック
89	南生クリニック
90	さい小児科
91	ルナレディースクリニック
92	長山整形外科
93	ベルクリニック
94	松並診療所
95	中村クリニック
96	なかしま内科クリニック
97	宮前医院
98	藤本クリニック
99	にしの内科診療所
100	松屋茶論クリニック
101	江藤内科医院
102	淵レディースクリニック
103	三重野医院
104	かねしろクリニック
105	小瀬整形外科
106	川崎医院
107	泉谷診療所
108	しんとうクリニック
109	たにわレディース
110	もりぐち内科・糖尿病クリニック
111	池田産婦人科
112	整形外科よねだクリニック
113	さかい社の杜クリニック
114	堺複十字診療所
115	でぐち腎泌尿器科クリニック
★116	みやびクリニック
★117	しいな医院

■堺市西区■

1	都健幸会 石津川クリニック
2	たつみクリニック
3	くげクリニック
4	南医院
5	中谷クリニック
6	小田医院
7	高田外科
8	高田眼科
9	横田クリニック
10	ナカイクリニック
11	松井医院
12	法師山眼科
13	徳川レディースクリニック
14	ますたにクリニック
15	しまキッズクリニック
16	市橋内科
17	柿原クリニック
18	吉田診療所
19	加藤内科
20	オサダ整形外科クリニック
21	近江内科医院
22	星田医院
23	近江内科医院
24	近江眼科
25	唄医院
26	河面医院
27	よしもと整形外科
28	かみたにクリニック
29	さかぐちクリニック
30	はるお内科クリニック
31	玉置医院
32	木村ファミリークリニック
33	いしいこどもクリニック
34	安武医院
35	きたがわ医院
36	安武医院
37	きたがわ医院
38	かとうクリニック
39	上野内科医院
40	近藤医院
41	西原医院
42	面川外科胃腸科
43	津久野藤井クリニック
44	増本医院
45	かとう鳳クリニック
46	吉川医院
47	井上医院
48	おしうみ内科
49	楠本小児科
50	坂下眼科
51	藤田クリニック
52	村野内科クリニック
53	田村外科医院
54	岩本内科クリニック
55	たなかクリニック
56	岡原クリニック
57	ひとしクリニック
58	樋上小児科
59	西野内科
60	なかい心のクリニック

61	入口眼科
62	石山診療所
63	三谷ファミリークリニック
64	みずきクリニック
65	えずみクリニック
66	松本内科クリニック
67	白島内科
68	やまさき内科・胃腸科クリニック
69	中村クリニック
70	朴井診療所
71	木寺クリニック
72	すぎもとキッズクリニック
73	こにし小児科・アレルギー科
74	楠本小児科
75	瀬野クリニック
76	けい眼科クリニック
77	いしかわ内科・内視鏡クリニック
78	よしかわ健やかクリニック
★79	なかいホームケアクリニック
★80	なかむら内科・糖尿病クリニック
★81	はしもとクリニック

■堺市北区■

1	典子エンジェルクリニック
2	いけだこどもクリニック
3	紺屋泌尿器科
4	花田医院
5	瓦谷クリニック
6	藤田医院
7	新宮診療所
8	なかもずクリニック
9	なかもず河田クリニック
10	高田内科クリニック
11	岡クリニック
12	小林小児科医院
13	ほり泌尿器科クリニック
14	はやし内科クリニック
15	ぐんぐんキッズクリニック
16	もじ子どもクリニック
17	泌尿器科かわだクリニック
18	藤原内科クリニック
19	岩本診療所
20	大西内科クリニック
21	北野医院
22	西谷内科
23	中内こどもクリニック
24	三条クリニック
25	山戸クリニック
26	いずみクリニック
27	佐々木内科クリニック
28	奥村医院
29	山田内科医院
30	今井医院
31	松永医院
32	高村医院
33	黒部医院
34	辻野医院
35	明石医院
36	なかの医院
37	もり耳鼻咽喉科
38	くさか内科医院



39	だんホームクリニック
40	いこま内科・眼科クリニック
41	まつだ消化器・糖尿病クリニック
42	やまもと消化器内視鏡・外科クリニック
43	なかむら胃腸肛門クリニック
44	赤星神経内科クリニック
45	レディースクリニックやぎ
46	どて内科医院
47	てらもと脳神経外科クリニック
48	しょうのクリニック
★49	おき泌尿器科クリニック

■堺市南区■

1	赤井マタニティクリニック
2	澤田整形外科医院
3	かがやきクリニック
4	伊東皮膚科
5	奥中診療所
6	くわ総合クリニック
7	長谷川内科
8	大槻レディースクリニック
9	すが内科クリニック
10	きしぐちこどもクリニック
11	宮崎内科
12	植月医院
13	中田内科医院
14	飯田原山台診療所
15	銀杏会クリニック
16	高橋計行クリニック
17	ぼらんのひろば井上診療所
18	かたぎり小児科医院
19	大平産婦人科
20	嶋田クリニック
21	桃山台山本内科
22	小林内科医院
23	石上整形外科
24	久保内科クリニック
25	小川クリニック
26	米田外科クリニック
27	ひらいクリニック
28	多田消化器内視鏡クリニック

■堺市東区■

1	北野田診療所
2	岡本内科
3	にしがき小児クリニック
4	岡原診療所
5	しんたに内科クリニック
6	はつしば山本クリニック
7	西川クリニック
8	村上小児科クリニック
9	にしじまクリニック
10	林小児科クリニック
11	西松医院
12	中村診療所
★13	寺山クリニック
★14	かわた内科クリニック

■堺市中区■

1	唐崎内科クリニック
---	-----------

2	中尾内科クリニック
3	杉山クリニック
4	ホームケアクリニック堺
5	石橋レディースクリニック
6	村田医院
7	みやわき診療所
8	松本クリニック
9	佐藤小児科
10	永田整形外科
11	たかたクリニック
12	小川内科
13	もりい整形外科
14	日野クリニック
15	中村医院
16	いむた内科
17	大坪医院
18	落合医院
19	青笹内科クリニック
20	井畑クリニック
21	村木クリニック
22	中村診療所
23	やなぎクリニック
24	井上内科クリニック
25	ふじわらしんいち総合クリニック
26	みさきファミリークリニック
27	高杉医院
28	ましも内科・眼科クリニック
★29	すぎもと内科クリニック

■堺市美原区■

1	中村医院
2	戸田こどもクリニック

■堺市外院所■

1	うつのみやクリニック
2	小出内科神経科
3	みなと生協診療所
4	土田クリニック
5	山下医院
6	西成民主診療所
7	はやし泌尿器クリニック
8	河野クリニック
9	杉本診療所
10	住吉民主診療所
11	ふくろく整形外科クリニック
12	小澤診療所
13	小野内科医院
14	加賀屋診療所
15	李クリニック
16	コープ診療所
17	あいしんクリニック
18	今井内科小児科医院
19	狭山みんなの診療所
20	石田医院
21	片山内科循環器科医院
22	玉川診療所
23	王クリニック
24	沢田レディースクリニック
25	とのぎ内科クリニック
26	耳鼻咽喉科竹本クリニック

27	山口クリニック
28	やまだクリニック
29	小田クリニック
30	西村クリニック
31	廣瀬クリニック
32	市田内科クリニック
33	ねぎた腎・泌尿器科クリニック
34	泉谷クリニック
35	水田内科クリニック
36	原田内科クリニック
37	戎野内科医院
38	真嶋医院
39	阪南医療生協診療所
40	あずま内科クリニック
41	乳腺ケア泉州クリニック
42	都健幸会クリニック
43	おおさわ.クリニック
44	上森医院
45	大久保内科クリニック
46	IGTクリニック
47	長尾クリニック

■ 歯科 ■

1	吉田歯科医院
2	島田歯科クリニック
3	こいずみ歯科医院
4	和田歯科医院
5	酒井歯科医院
6	津田歯科医院
7	阪田歯科医院
8	重地歯科医院
9	桑原歯科医院
10	たけとし歯科医院
11	西本歯科医院
12	小林歯科医院
13	中川歯科医院
14	西川歯科医院
15	中西歯科医院
16	保富歯科医院
17	野口歯科医院
18	医)二和会 なかもず田中歯科
19	甲田歯科医院
20	河村歯科
21	吉田歯科クリニック
22	高田歯科医院
23	石川歯科医院
24	ますもと歯科クリニック
25	堀内歯科医院
26	原歯科医院
27	大宮歯科医院
28	大曲歯科医院
29	なかざわ歯科・小児歯科
30	かたおか歯科
31	平野歯科医院
32	がん歯科
33	クレモト歯科診療所
34	たかぎ歯科・矯正歯科

35	木田歯科医院
36	のぐち歯科クリニック
37	堀歯科医院
38	八百歯科医院
39	おおた歯科口腔外科クリニック
40	あおき歯科医院
41	つじお歯科医院
42	坂田歯科
43	井上歯科医院
44	西村歯科
45	ながやま歯科
46	森歯科医院
47	上田歯科医院
48	中村歯科医院
49	古川歯科医院
50	山田歯科医院
51	浦田歯科クリニック
52	さわい歯科
53	谷歯科医院
54	杉本矯正歯科医院
55	幸前歯科
56	酒井歯科医院
57	藤田歯科 矯正歯科
58	赤井歯科医院
59	江原歯科診療所
60	活生会 筒井歯科医院
61	三宅歯科医院
62	小林歯科医院
63	さこ歯科医院
64	なかえ歯科医院
65	二宮歯科クリニック
66	ひろせ歯科医院
67	ひうら歯科口腔外科
68	吉田歯科医院
69	中政会 中辻歯科医院
70	松本歯科医院
71	堀野歯科 東湊診療所
72	まさお歯科
73	河田歯科
74	宮本歯科医院
75	よしかわ歯科医院
76	吉村歯科医院
77	はまうず歯科医院
78	高田歯科クリニック
79	仲谷歯科医院
80	なかむら歯科医院
81	山口歯科医院
82	祐愛会 西村歯科
83	真愛会 やまさき歯科
84	星野歯科
85	倉橋歯科医院
86	深野歯科医院
87	みたに歯科

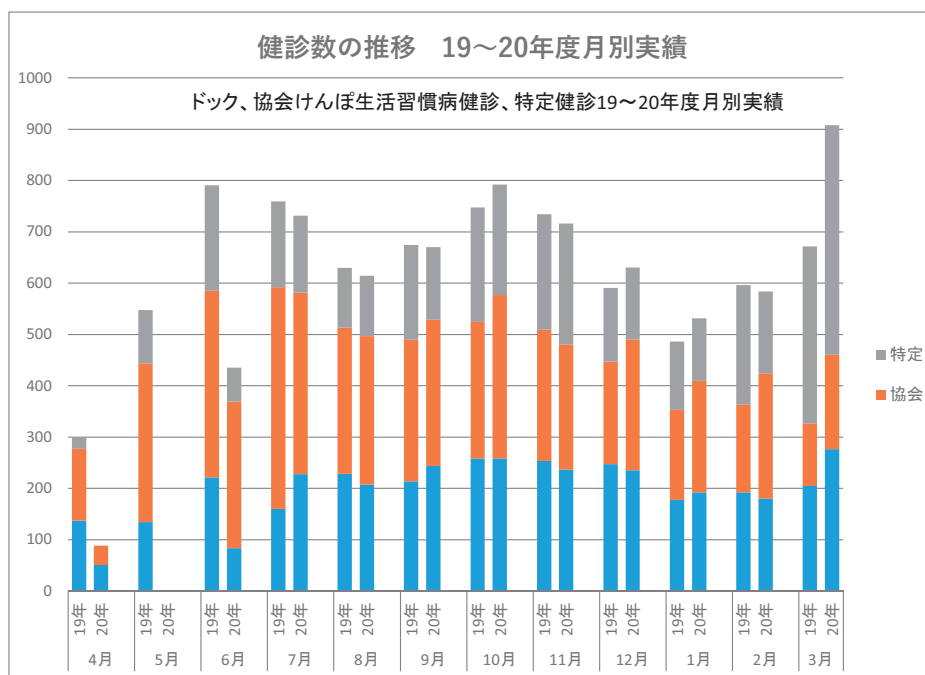
# 組織健診科

## コース別 健診実施件数

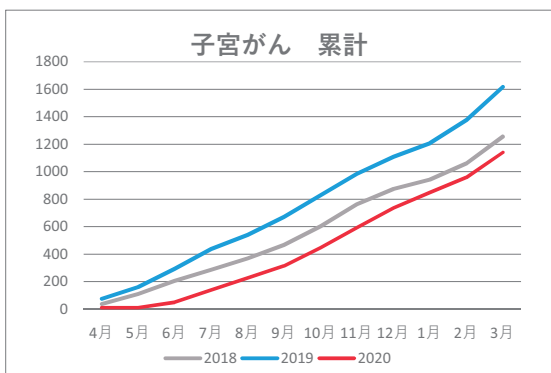
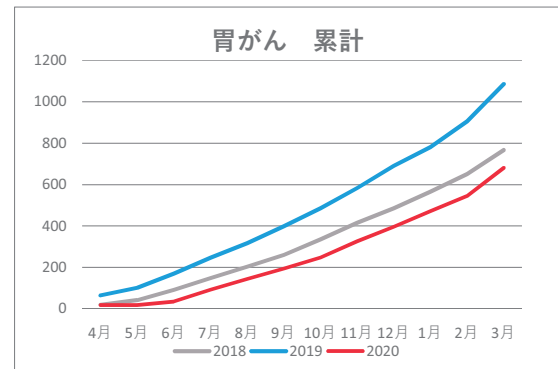
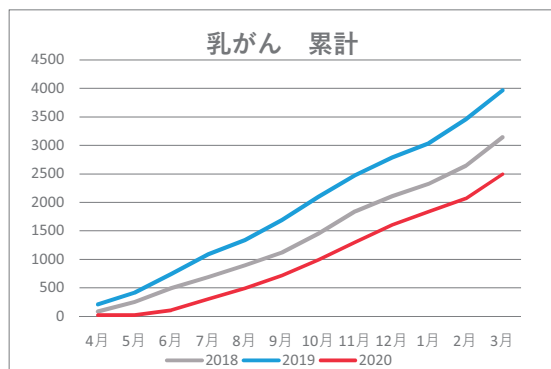
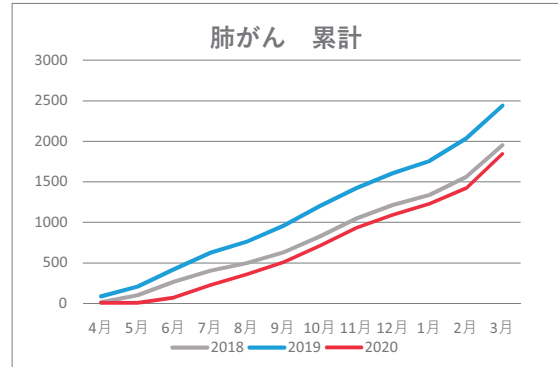
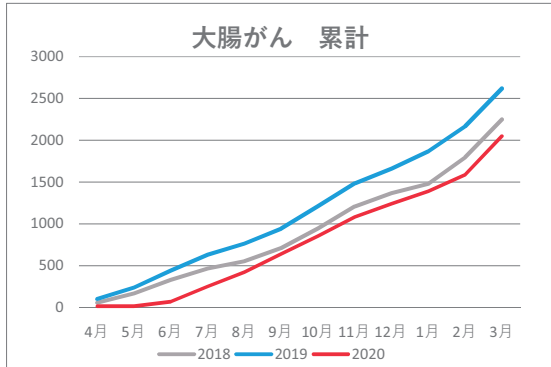
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
人間ドック	50	0	83	227	207	243	258	236	235	192	180	276	182	2,187
生活習慣病予防検診	38	0	286	354	289	285	318	244	255	217	244	184	226	2,714
特定健診	0	0	66	150	118	142	216	236	140	122	159	447	150	1,796

## がん検診実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
大腸がん検診	14	1	54	183	170	216	215	231	155	151	196	465	171	2,051
胃がん検診	17	0	17	58	51	51	52	80	70	74	75	136	57	681
乳がん検診	20	0	87	194	188	224	278	310	305	231	229	427	208	2,493
子宮がん検診	9	0	40	88	87	90	132	148	143	111	111	181	95	1,140
肺がん検診	7	0	64	156	132	148	202	224	158	138	190	426	154	1,845



当院のがん検診  
堺市がん検診 2018～2020年累計

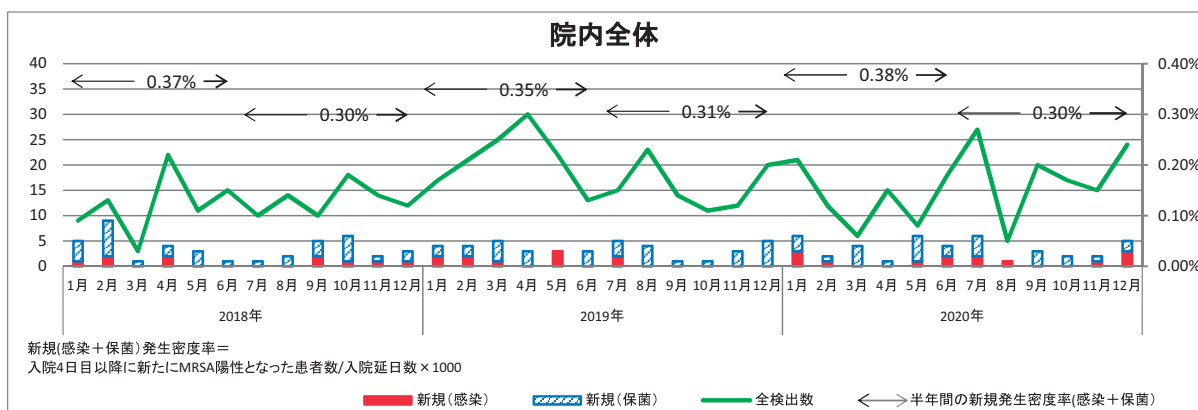


# 感染制御室

## 耳原総合病院 2020年ICTサーベイランス

	項 目		集 計		担当	作成頻度				開始時期	
			全体	部署別		週	月	上半期	年間		
微生物	MRSA	総検出数	○	○	細菌室	○	○	○	○	2018/1	
		感染+保菌	○	○		○	○	○	○	2018/1	
		感染総数	○	○		○	○	○	○	2020/4	
手指衛生	手指消毒剤 使用回数・使用量		○	○	ICN		○	○	○	2015/4	
抗 菌 薬	AUD (VCM・TEIC・MEPM・P/Z・CAZ・LVFX)		○		薬剤部			○	○	2016/4	
	DOT (抗MRSA薬・MEPM・TAZ/PIPC・CAZ・LVFX)										2017/4
微生物	血液培養	陽性率・コンタミ率	○	○	細菌室		○	○	○	2018/1	
	薬 剤 感 受 性	薬剤感受性(AMR)対策 アクションプラン 達成率	○							○	2018/1
		感受性推移									2015/4
	結 核	内訳・陽性数・検査提出数	○					○		○	2018/1
医療関連感染	CLABSI	発生率・使用比・介入の推移		○	ICN		○	○	○	2016/1	
COVID-19	検査数と対策		○			○					2020/2
	陽性者情報		○				○				2020/8
血液曝露	針刺し・切創・粘膜曝露		○	○					○	2011/5	

# MRSA検出状況



※新規＝当院で、過去にMRSA検出歴のない患者

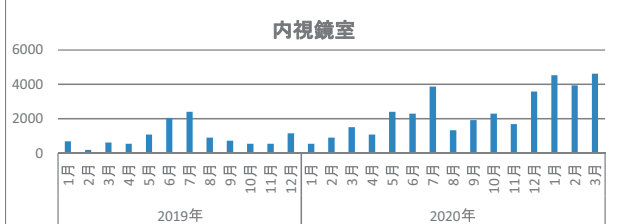
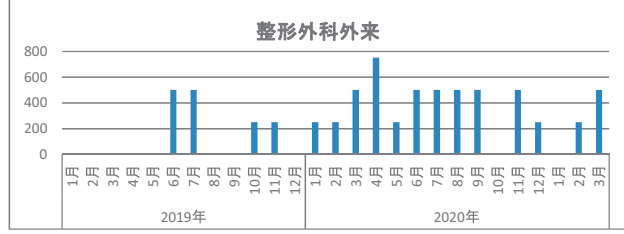
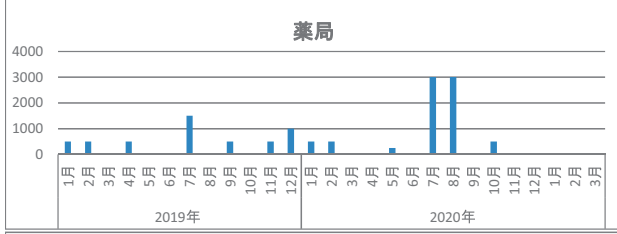
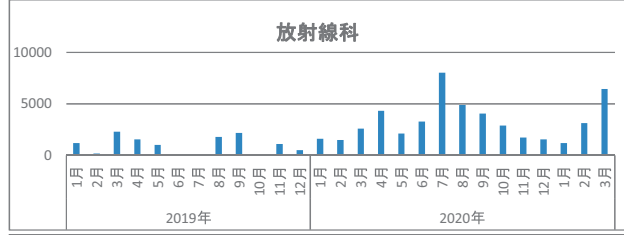
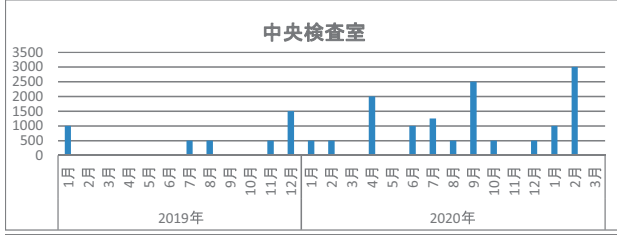
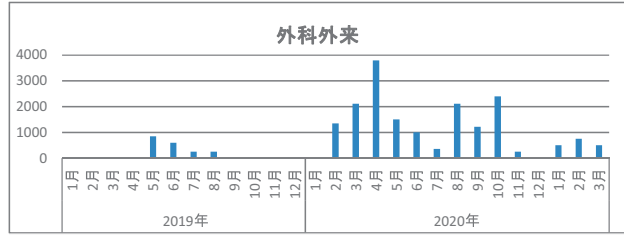
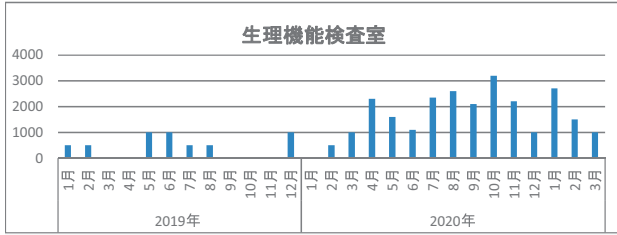
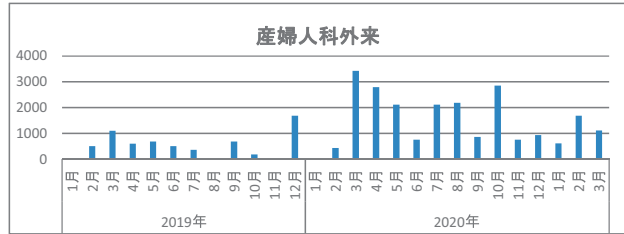
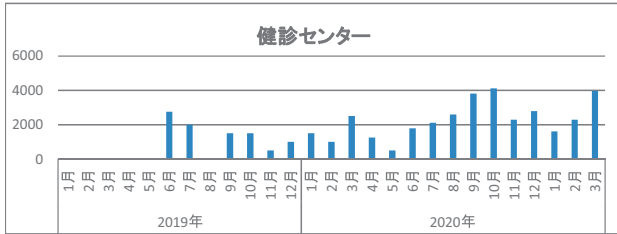
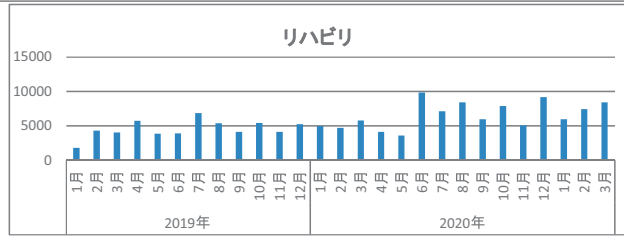
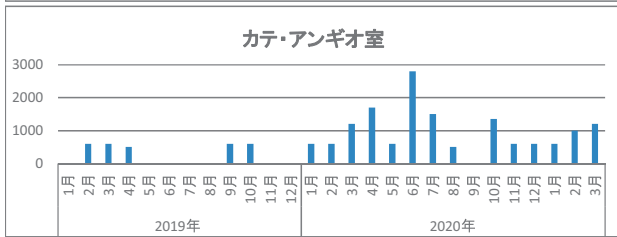
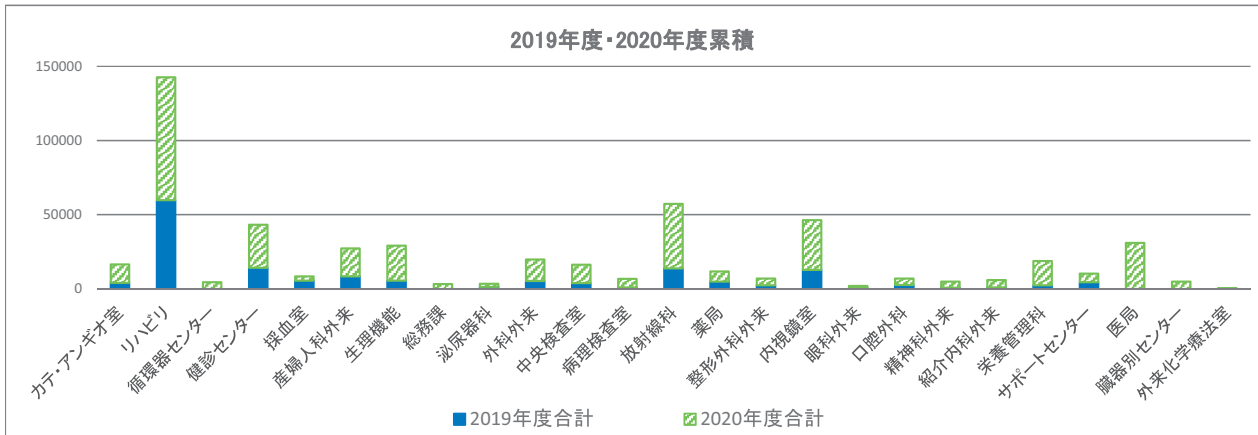
〈全検出数の指標〉 耐性菌の伝播がどのくらい起りやすい状態にあるか  
 〈新規検出数の指標〉 耐性菌の伝播がどのくらい起きているか  
 〈新規(感染)数の指標〉 耐性菌の感染がどのくらい起きているか

# 病棟部門\_1患者1日あたりの手指消毒剤使用回数

1患者1日あたりの手指消毒使用回数 = 手指消毒使用量 ÷ 入院延べ患者数

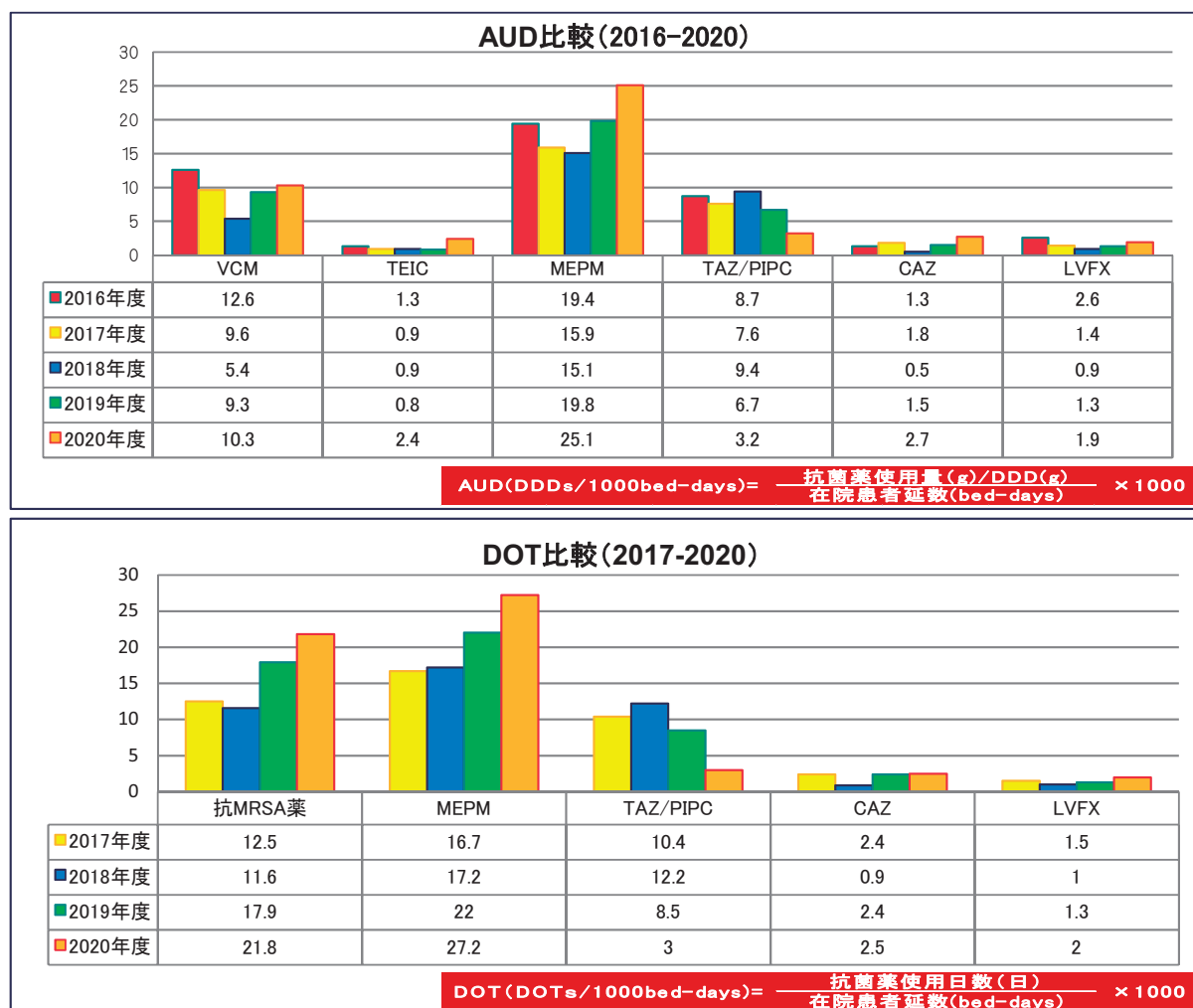


# 外来部門\_アルコール手指消毒剤使用量(mℓ)





## AUD・DOT比較



### 【P】目標

不適切な抗菌薬の使用を是正・防止する。

### 【D】実施事項

AUD、DOTを算出し抗菌薬の使用量、投与期間を調査。また診療科別の長期投与と培養提出率を調査し長期投与が疾患や培養結果より妥当なものかを判断した。

### 【C】解析・分析

抗MRSA薬、MEPMのAUD・DOTはともに前年度と比較し増加する結果となった。長期投与の増加がAUD増加の一因と考える。

抗MRSA薬に関しては外科、整形外科、腎臓内科・透析科、呼吸器内科が7日後の転帰で50%以上が継続となっている。その中で呼吸器内科は件数が1件のためAUD増加への影響は少ない。

残りの3診療科のうち整形外科、腎臓内科・透析科は培養提出率が100%であり、また骨髓炎や足壊疽など比較的長期投与を必要とする疾患の治療が多いことから考えると長期投与の一因にはなるが不適切な投与とは言い難いと考える。一方で外科は適切な培養提出率が70%に満たないことから、不要な抗菌薬の長期投与があったことが考えられる。

MEPMに関しては膿胸の治療に投与されたことが推測されるが胸部外科が2件とも7日以上投与、培養がとられていない結果となった。症例数が少ないとは言え、啓発が必要と考える。また長期投与を必要とする疾患が少ないと予想される循環器内科では7日後の継続が9件中8件と多い。ASTの細かな介入が必要と考える。外科に関しては7日後の継続は50%弱だが不適切な培養提出が50%ほどあり、特に抗菌薬変更に大きく影響する術中腹水培養がとられていないものが6件あった。症例数が多いことから今後の啓発が必要。

心臓血管外科や集中治療科は症例数こそ少ないものの、培養を適切にとられていることが少ない。

### 【A】

不適切な長期投与を防ぐために、適切に培養を提出する必要がある。

培養提出率の低い診療科に重点を置いて介入する必要があり、医師ごとの培養提出率を算出する。

# 薬剤感受性レポート

## I. 薬剤感受性(AMR)対策アクションプラン 達成率

指標：主な微生物の薬剤感受性率(医療分野)

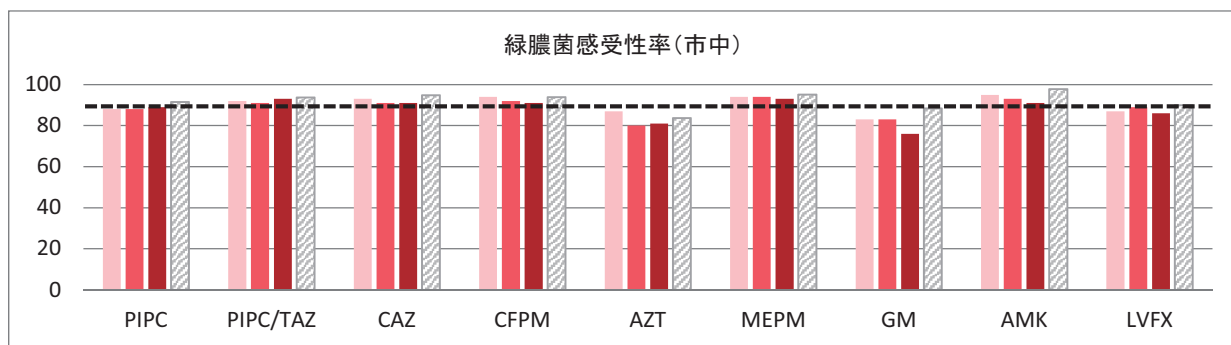
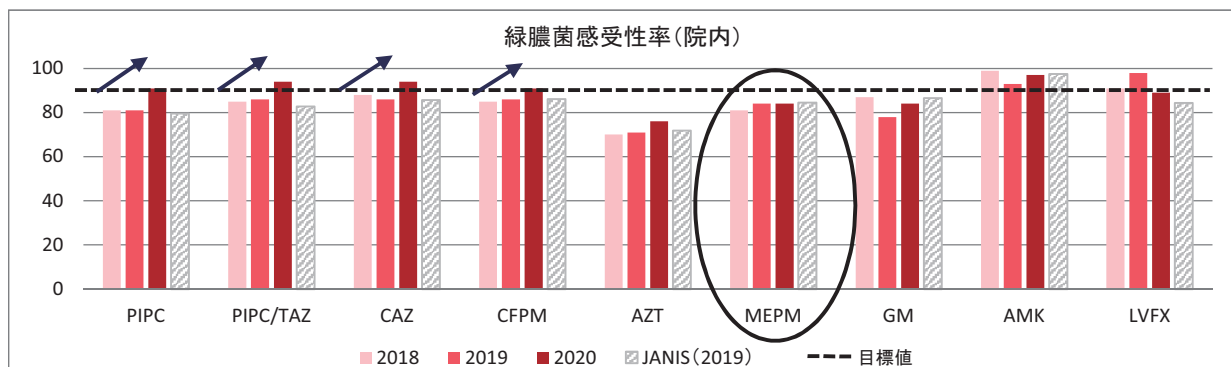
		当院(院内)			JANIS	AMR目標値
		2018	2019	2020	2019	2020までに
黄色ブドウ球菌の メチシリン耐性率 (MRSA/S.aureus) * 1	院内	33%	65%	50%	57%	20%以下
	市中	24%	35%	49%	37%	
肺炎球菌の ペニシリン耐性率 * 2	院内	0%	0%	33%	0%	15%以下
	市中	0%	0%	4%	1%	
大腸菌の フルオロキノロン耐性率	院内	49%	55%	44%	42%	25%以下
	市中	43%	44%	41%	33%	
緑膿菌の カルバペネム耐性率	院内	19%	16%	16%	16%	10%以下
	市中	6%	6%	7%	5%	
大腸菌の カルバペネム耐性率	院内	0%	0%	0%	0%	0.1~0.2%
	市中	0%	0%	0%	0%	
肺炎桿菌の カルバペネム耐性率	院内	0%	0%	2%	1%	0.1~0.2%
	市中	0%	0%	0%	0%	

\* 1 当院では血液培養分離株のみ対象とした

\* 2 2020年の肺炎球菌の株数 院内：3株中 PRSP 1株 市中：23株中 PRSP 1株  
株数が30株未満のものは、統計学的妥当性が低い

\* JANISデータ、2014は院内・市中のデータなし、2018~院内・市中で調査開始

## II. 感受性率 経年推移



【P】 目標	・ 薬剤感受性(AMR)対策アクションプランの目標に近づける
【D】 実施事項	・ 2019年4月 毎週3回AST活動開始
【C】 解釈・分析	・ S.aureusの菌血症、なかでもMRSA菌血症が増加傾向 ・ 肺炎球菌のMEPM感受性率がJANISに比べて悪い ・ 大腸菌の感受性は改善傾向・JANIS比べたら悪い ・ 緑膿菌はMEPM以外の感受性は改善傾向、MEPMは低いまま
【A】 課題	・ 肺炎球菌は院内の検出株数が少ないため統計学的妥当性は低い。 継続してチェックする

# 結核菌レポート(2018年1月～2020年12月)

定義

- \* 全検体(外来・入院)
- \* 結核菌検出患者数：重複除く
- \* 抗酸菌検査件数：重複あり

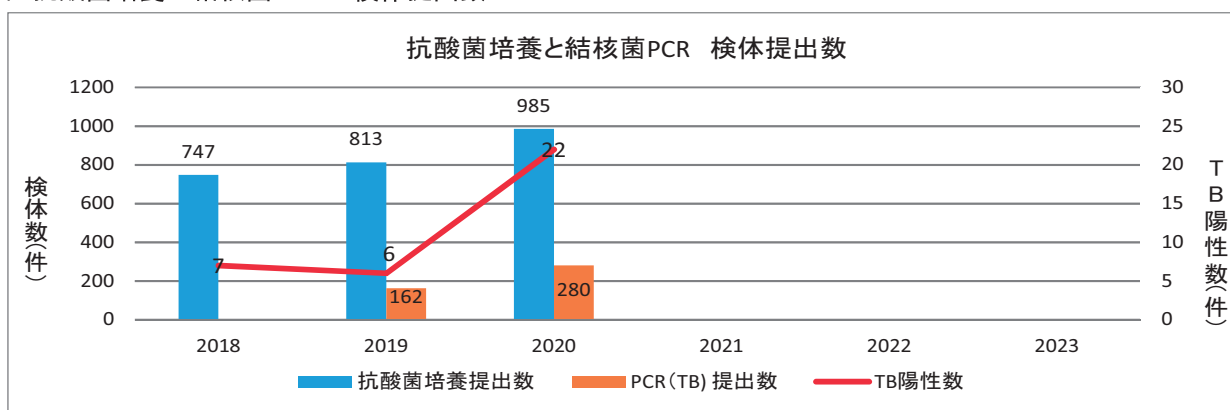
## I. 結核菌陽性数と患者一覧

	細菌番号	材料	性状	蛍光塗抹	PCR	培養
1	110905	BAL		(-)	TRC(+)	13日
2	217901	喀痰	P2	(1+)	TRC(+)	18日
3	304907	喀痰	P2	(-)	依頼なし	15日
4	406901	喀痰	P1	(-)	依頼なし	11日
5	423902	喀痰	-	(+-)	TRC(+)	12日
6	424902	胸水	-	(-)	(-)	17日
7	508901	胸水	-	(-)	(-)	17日
8	509905	喀痰	M2	(1+)	TRC(+)	11日
9	522902	喀痰	P2	(1+)	TRC(+)	8日
10	616902	喀痰	M2	(3+)	TRC(+)	5日
11	704902	喀痰	P3	(2+)	TRC(+)	5日
12	704906	喀痰	M2	(+-)	TRC(+)	5日
13	717904	胸水	-	(-)	依頼なし	19日
14	807901	喀痰	-	(-)	依頼なし	35日
15	814905	BAL	-	(-)	依頼なし	18日
16	904903	BAL	-	(+-)	TRC(+)	10日
17	910901	胸水	-	(-)	TRC(+)	29日
18	921910	喀痰	P1	(+-)	TRC(+)	15日
19	1104909	喀痰	血痰	(1+)	TRC(+)	14日
20	1202902	喀痰	P3	(2+)	TRC(+)	11日
21	1202903	胃液	-	(+-)	TRC(+)	小川培地変更
22	1223905	喀痰	P2	(-)	実施せず	14日

結核陽性患者経年推移

2018	2019	2020	2021	2022
7人	6人	22人		

## II. 抗酸菌培養と結核菌PCR 検体提出数



<b>【P】 目標</b>	TBの早期発見と感染対策につなげる
<b>【D】 実施事項</b>	2019年1月 集菌・蛍光染色開始 2019年4月 TRC(結核菌院内PCR)開始 2020年5月 材料別に報告開始 2020年11月 3連痰提出時にPCR依頼を細菌室より発信開始
<b>【C】 解釈・分析</b>	今年度は抗酸菌検査の依頼が増え、結果早期に結核患者を発見できた 塗抹陰性で培養陽性の検体は菌量が少ないせいかわ培養に日数がかかっている
<b>【A】 課題</b>	塗抹検出率をあげる 培養件数に比べてPCRの依頼が少ないので依頼件数を増やしてもらう

## 中心ライン関連血流感染(CLABSI)①

### 〈中心ラインの目的〉

- ①高カロリー輸液
- ②重症・周術期管理(中心静脈圧測定・カテコラミン投与)
- ③末梢ルート確保困難、薬剤投与(化学療法含む)

### 〈中心ライン関連血流感染のリスク〉

- ・入院期間の延長
- ・医療費の増大
- ・重症化・死亡リスクの増加

### 〈中心ライン関連血流感染の発生に影響する因子〉

- ・挿入期間(長いほど感染率上がる)
- ・挿入件数
- ・挿入部位、挿入部位の清潔管理
- ・適切な手指衛生

#### •Plan 目標設定・改善策立案

2019年のCLABSI発生率を下回る

#### •Do 改善策の実施

- 2016年6月 挿入部位の消毒を1%クロルヘキシジン含有アルコールに変更
- 2017年8月 点滴ルート側管からの薬剤投与マニュアル作成
- 2018年6月 スプリットセブタム器材の導入
- 2019年6月 挿入期間14日を超える事例への介入
- 2020年2月 PICC管理マニュアル改訂

#### •Act 改善策の見直し

- 長期挿入患者への介入
- CLABSI発生率のフィードバック
- PICC固定具の導入

#### •Check 改善策の効果確認

- CLABSI発生率の経時的変化の確認
- 対策導入前後の発生率の確認

### 2020年サーベイランス結果の分析

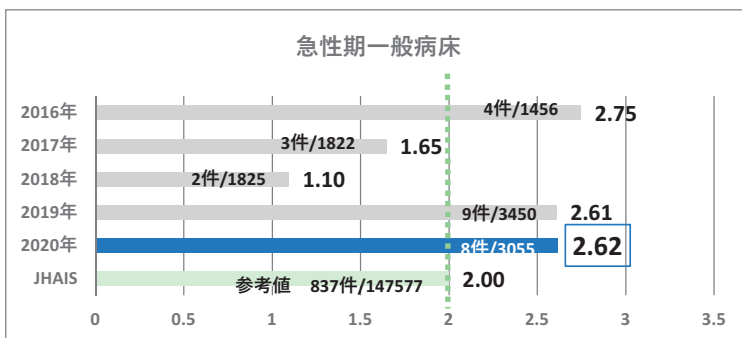
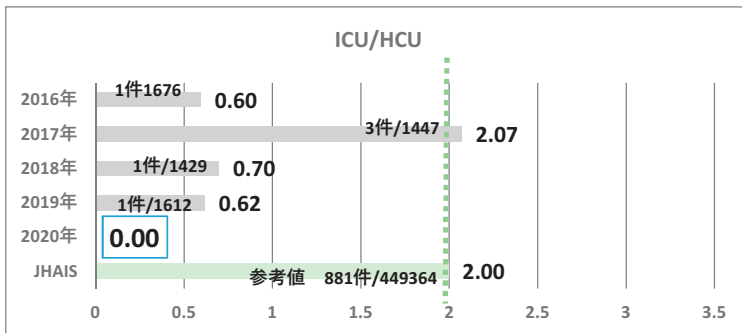
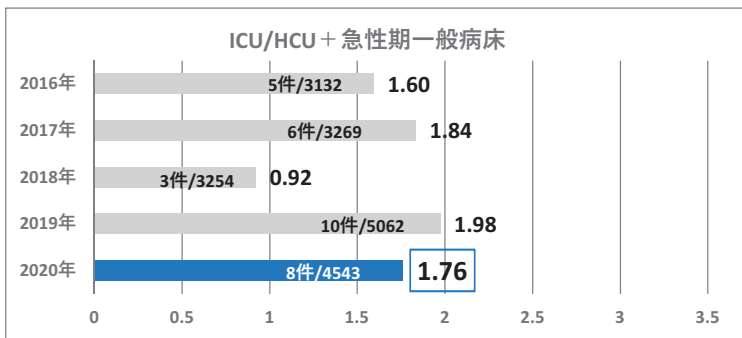
CLABSI件数は8件、感染率は1.76と前年度より低下したが、すべて急性期一般病床で発生しており、急性期一般病床への介入が必要

CVは、挿入期間が21日を超える事例の発生率が高く、早期抜去に向けた介入が必要

PICCは、挿入期間14日以内で2件発生しており、挿入部位の管理・固定方法の見直しをおこなう

## 中心ライン関連血流感染(CLABSI)②

### I. ICU/HCU+急性期一般病床発生率



対象病棟：ICU/HCU、7階、8階、11階、12階、13階  
 対象デバイス：非トンネル型中心静脈カテーテル(CV)  
 末梢挿入型中心静脈カテーテル(PICC)  
 ※ポート、HD(血流透析)カテーテルは含まない

2020年中心ライン関連血流感染は8件  
 感染率は1.76と前年度より低下  
 すべて急性期一般病棟での発生

#### 〈サーベイランスデータの指標〉

中心ライン使用比=中心ライン使用日数/延べ入院患者数  
 発生率=CLABSI発生件数/中心ライン使用日数×1,000(対1,000中心ライン使用日数)

注) 正しくは発生密度率だが、発生率と記載する

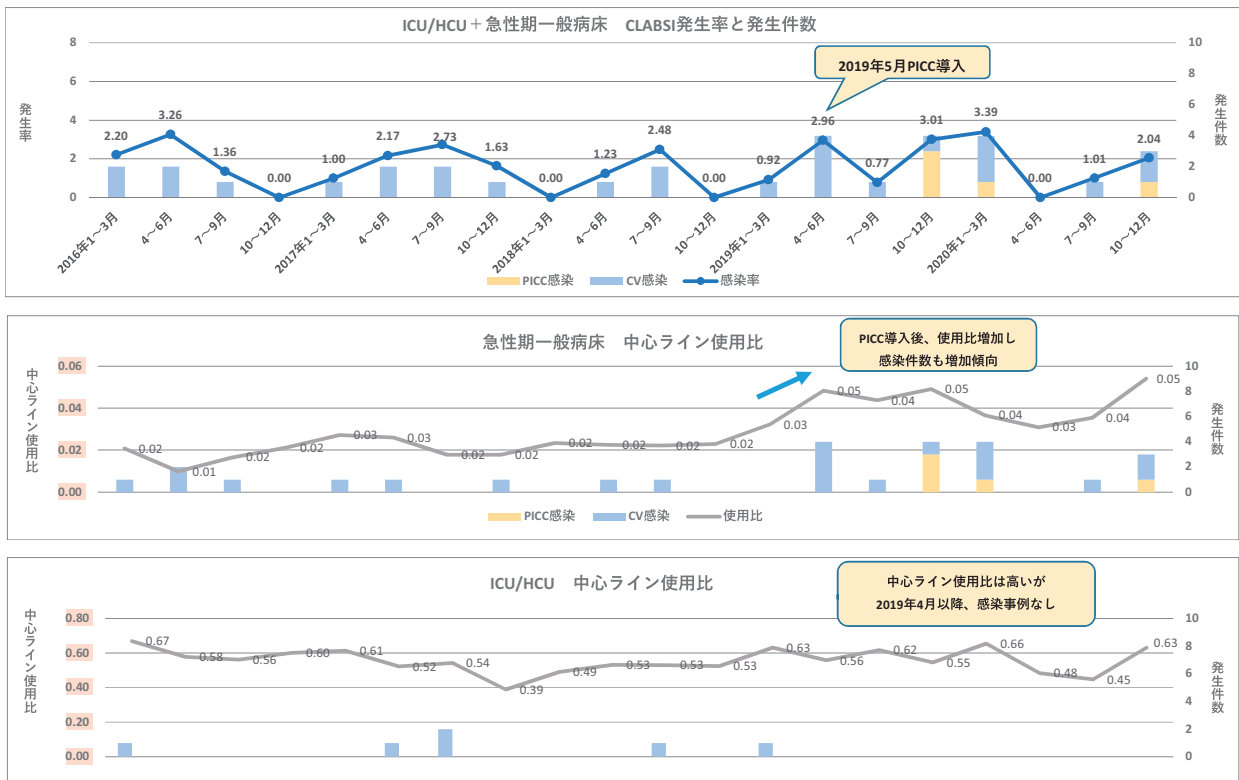
参考値：JHAIS委員会 2009年4月1日～2018年12月31日 ICU/急性期一般病床

中心ライン使用比：中心ラインの使用頻度を表す指標  
 中心ライン使用日数：挿入件数と挿入期間を反映した指標

\* 毎日、全入院患者が中心ラインを入れていた場合、中心ライン使用比は「1」になる  
 → 1に近づくほど使用比が高くCLABSIを起こすリスクも高い

# 中心ライン関連血流感染(CLABSI)③

## II. 3カ月毎 CLABSI発生率と使用比・介入の推移(2016年1月～2020年12月)



# COVID-19①

## I. 検査数と対策

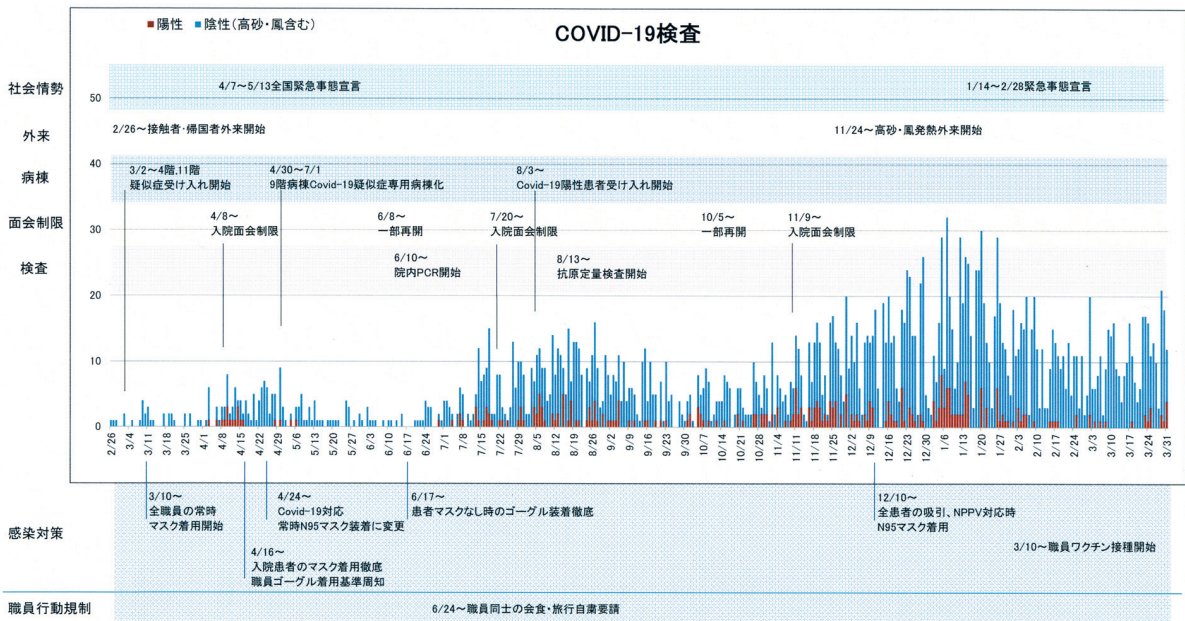
COVID-19検査 (2/26～)						
	陽性			陰性		
	耳原	高砂・風		耳原	高砂・風	
4904	580	489	91	4324	3012	1312

COVID-19入院		
	陽性	擬似症
800	132	668

フォローアップからの受け入れ	
	34

入院後転送	
	14

- 4/22～11階COVID専用病棟開始
- 4/22～緊急事態宣言
- 4/28～全入院患者スクリーニング検査開始(スクリーニング検査は含まない)

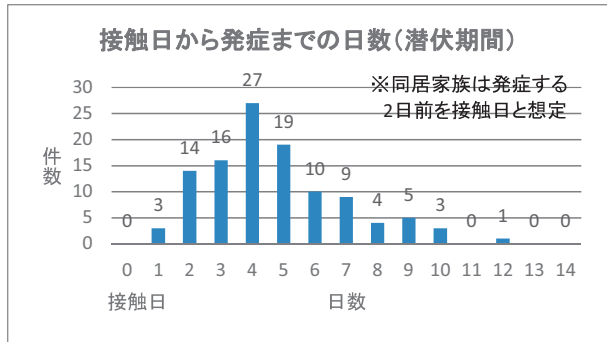
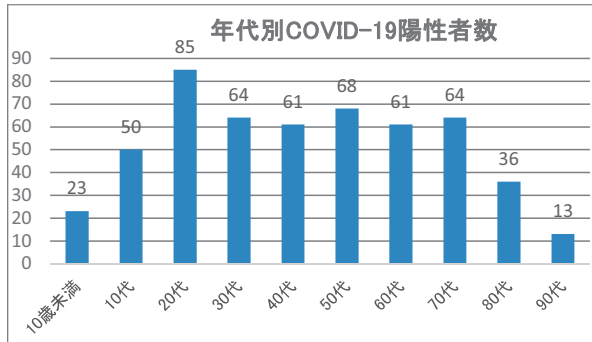
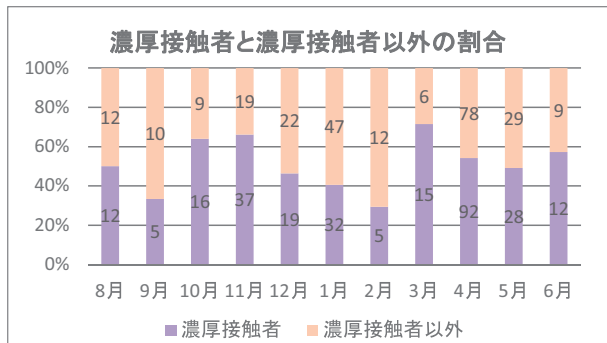
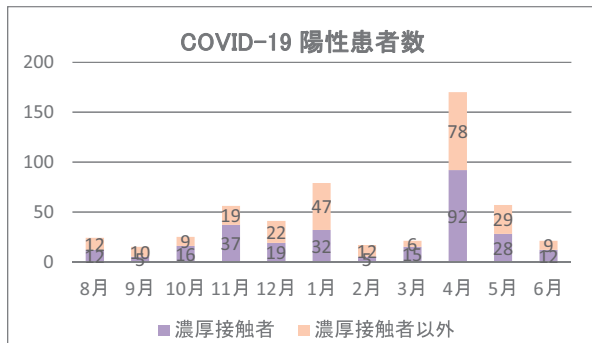


# COVID-19②

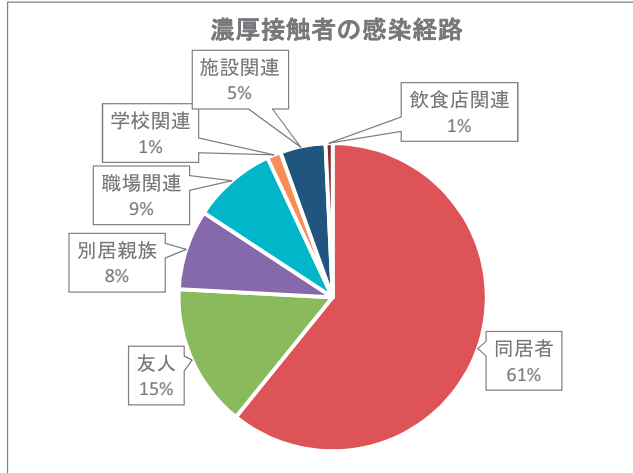
## II. 陽性者情報

陽性件数(8月14日:抗原定量検査開始～)

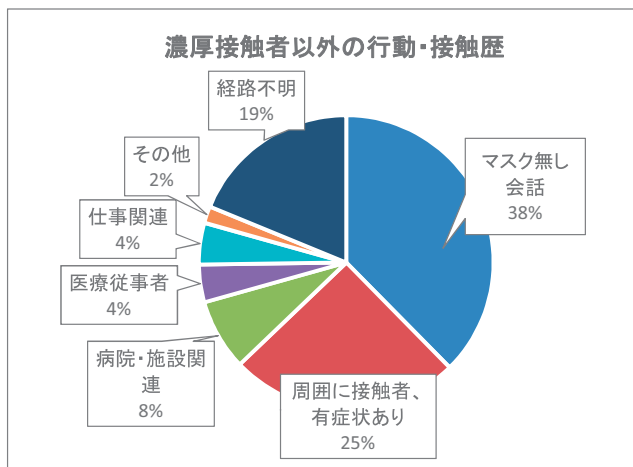
陽性件数	濃厚接触者		濃厚接触者以外	再検数
	有症状	無症状		
543	251	22	253	16



同居者	166
友人	41
別居親族	23
職場関連	24
学校関連	4
施設関連	13
飲食店関連	2
計	273



マスク無し会話	82
会食関連	39
マスク無し会話	7
カラオケ	2
周囲に接触者、有症状あり	55
病院・施設関連	17
医療従事者	9
仕事関連	10
保育業	2
ガソリンスタンド	1
スーパー店員	1
接客・営業職	2
飲食店勤務	3
タクシー運転手	1
その他	4
アメリカ渡航歴	1
パチンコ	1
格闘技観戦	1
電車通勤	1
経路不明	41



## 血液曝露①

### 2020年 血液曝露報告 エピネット日本版データより

対象EpisysAファイル： BKUPA20190423.mdb

エピネット日本版バージョン：5

患者が確定している報告のみ： いいえ

集計対象報告領域： 総合

職種区分： すべて

エピネット日本版/手術版報告を含む： はい

作成日： 2021年6月4日

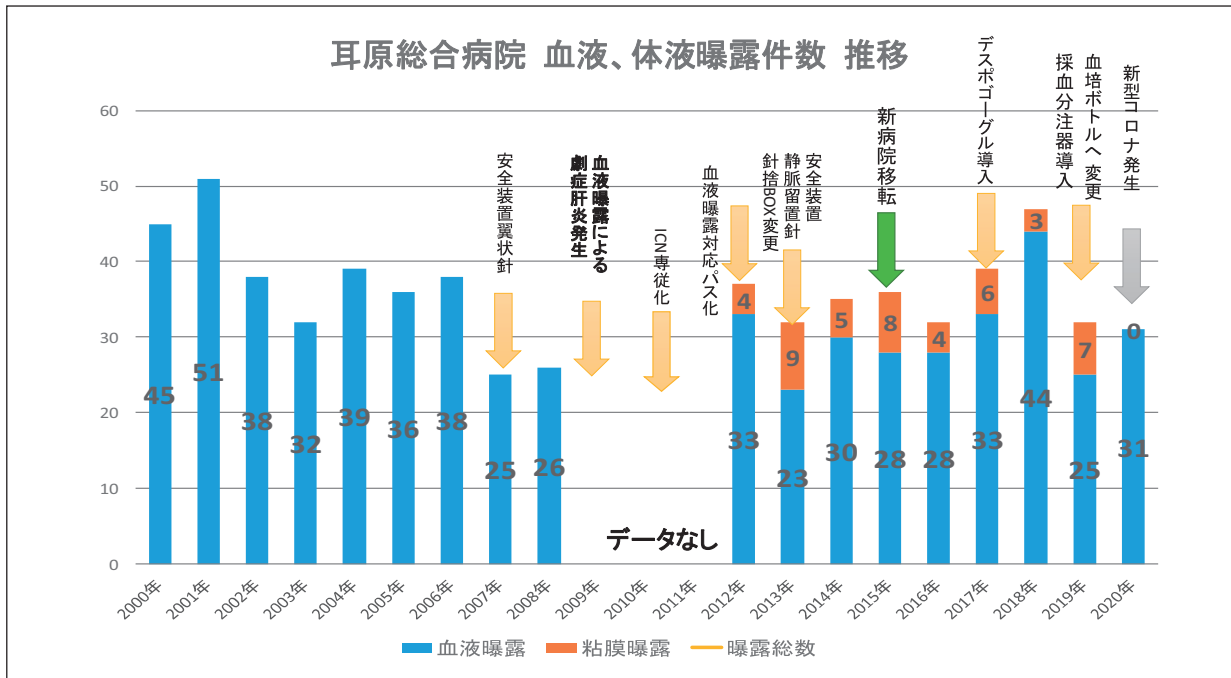
作成： 見える化君301

### 2020年 血液曝露サマリー

- ・粘膜曝露がゼロ件になった。要因は新型コロナウイルス感染症によりゴーグル着用がすすんだ
- ・インスリン針による針刺しは横ばい
- ・2年目～10年目以下の看護師への針刺しが多い

### 評価、対応

- ・2～10年未満の看護師にフィードバックを
- ・翼状針の使い方の確認が必要
- ・インスリンの安全装置付き針を検討



## 指標となる針刺し発生率

- ・100稼働あたりの発生率

$$\text{発生率} = \text{針刺し数} \div \text{稼働数} \times 100$$

- ・常勤職員100人あたりの発生率

$$\text{発生率} = \text{職種の発生数} \div \text{同じ職種の常勤職員数} \times 100$$

- ・鋭利器材別発生率

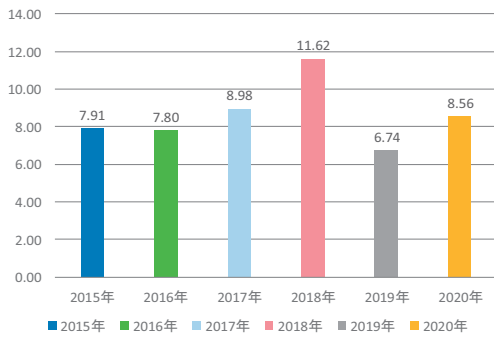
$$\text{発生率(10万あたり)} = \text{一定期間の特定の鋭利器材} \div \text{使用数} \times 10万$$

※計算式職業感染制御研究会エピネット日本版より



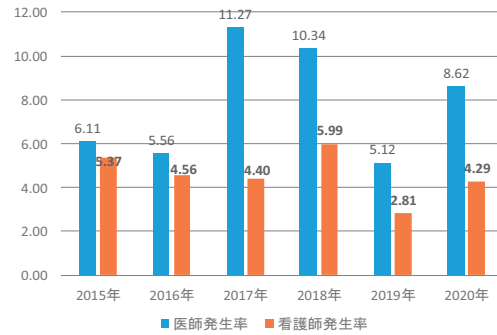
## 耳原総合病院 針刺し発生率

針刺し切創における  
100床辺り発生率



100床辺り発生率=発生件数÷稼働数(年間稼働率から病床数を算出)×100

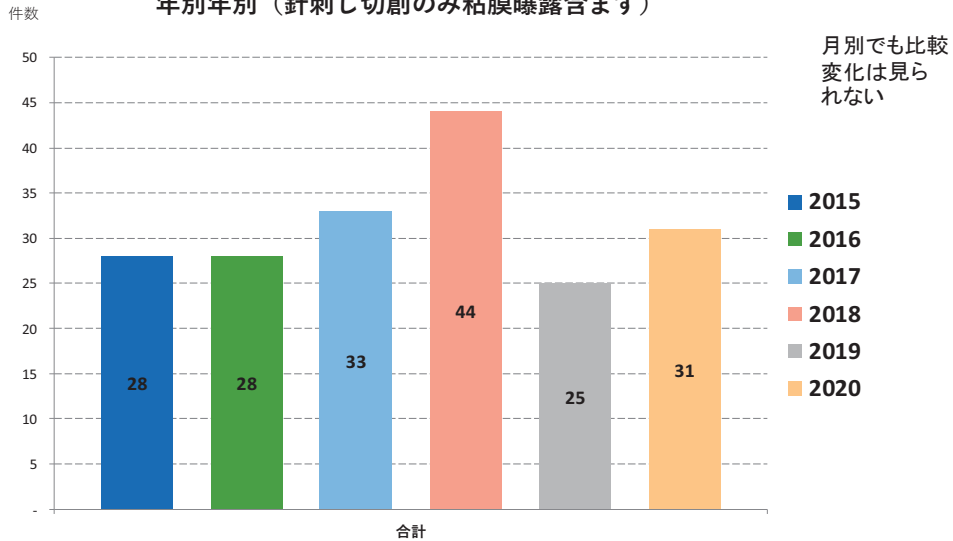
針刺し切創における  
職種別発生率



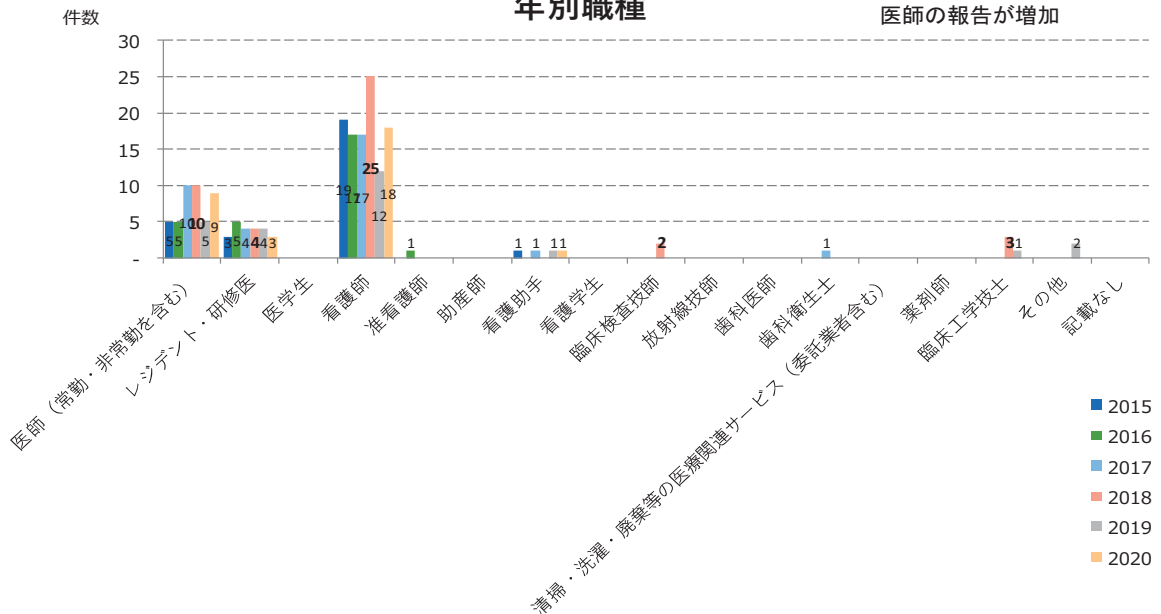
職種別発生率=職種別発生件数÷常勤職員(非常勤換算含む)×100

※計算式職業感染制御研究会エビネット日本版より

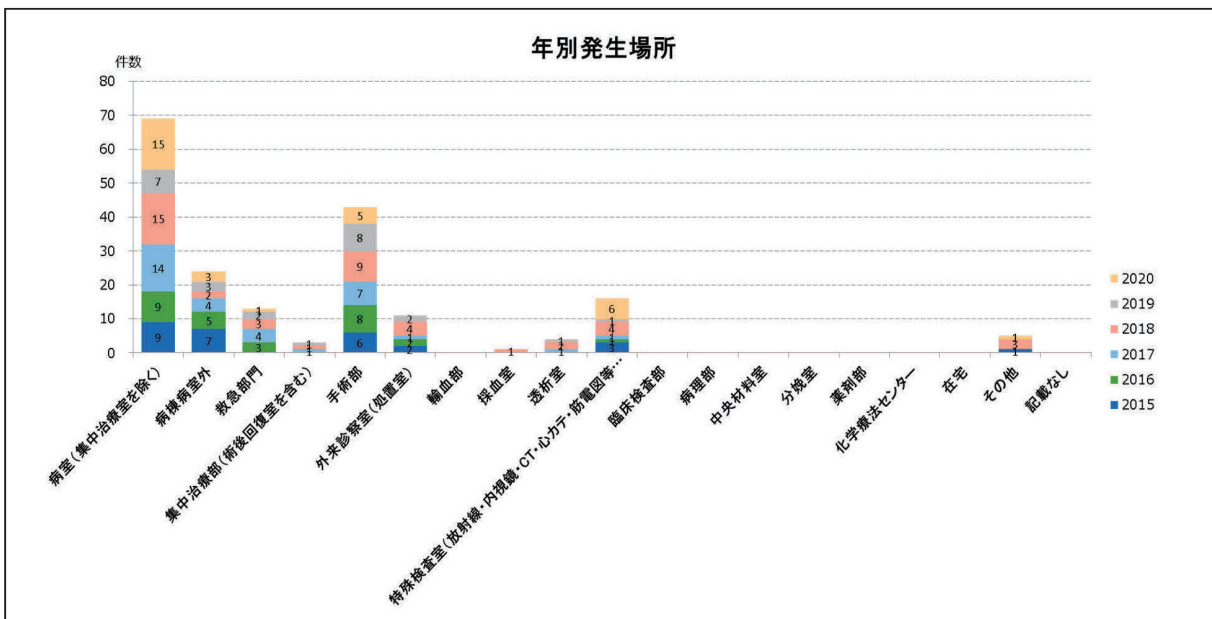
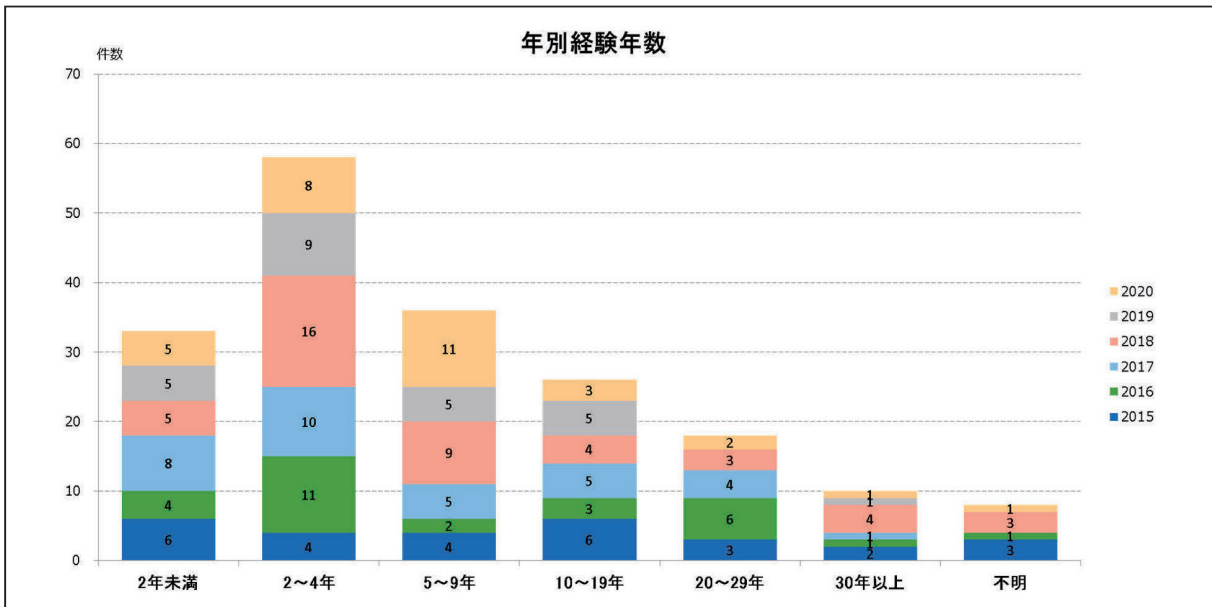
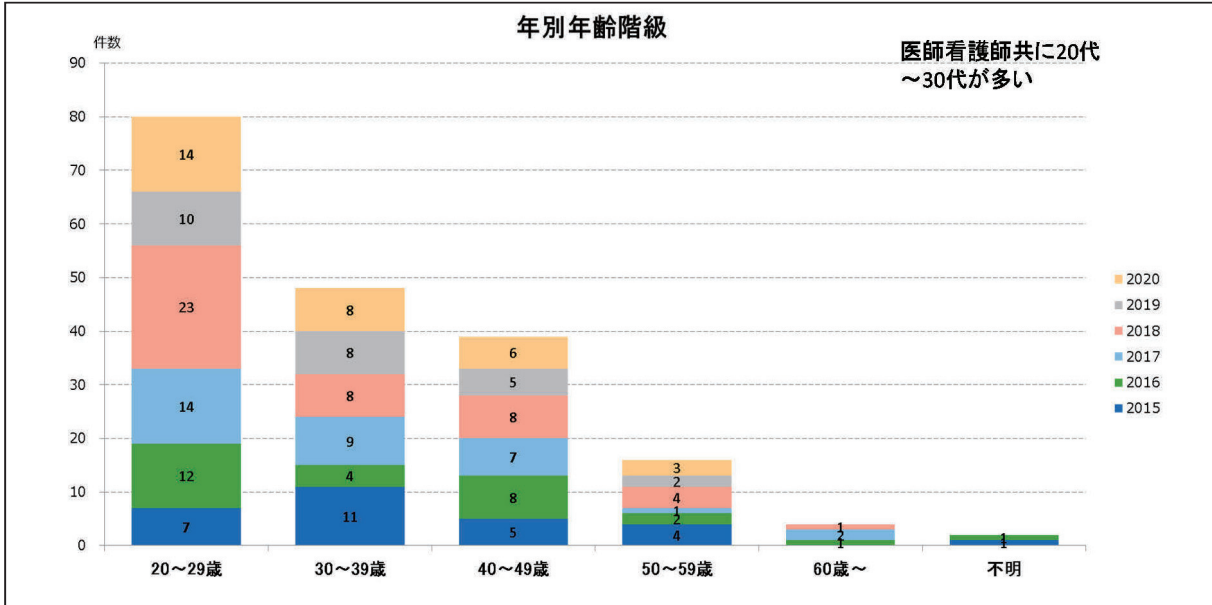
### 年別年別 (針刺し切創のみ粘膜曝露含まず)



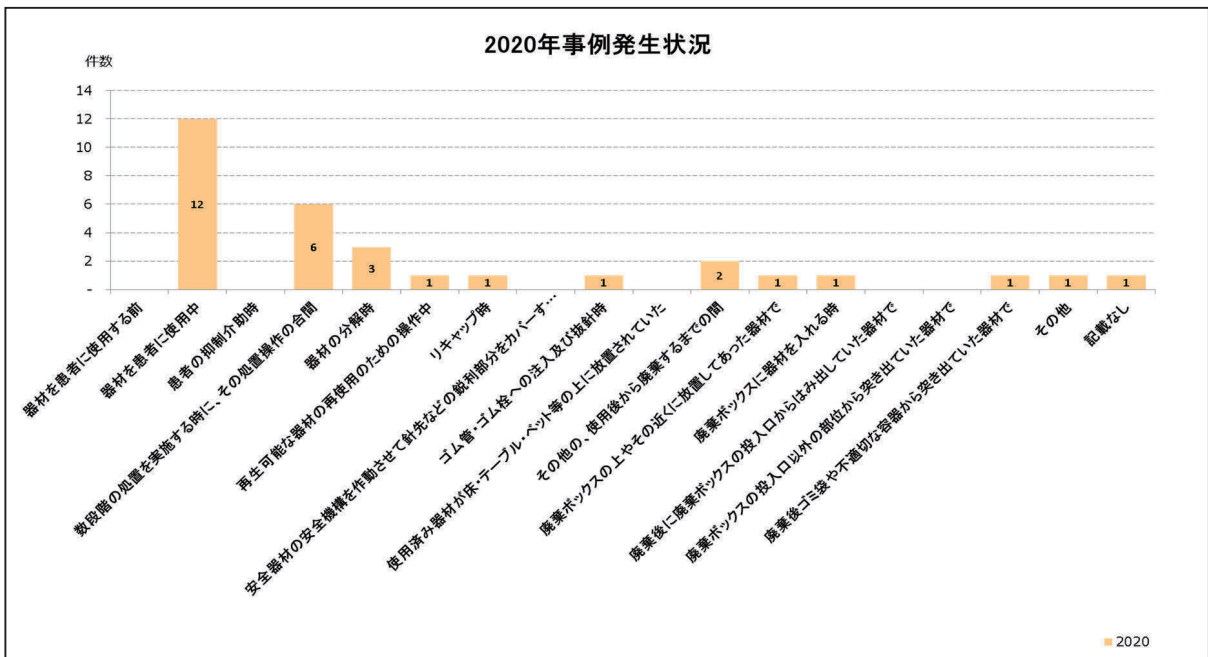
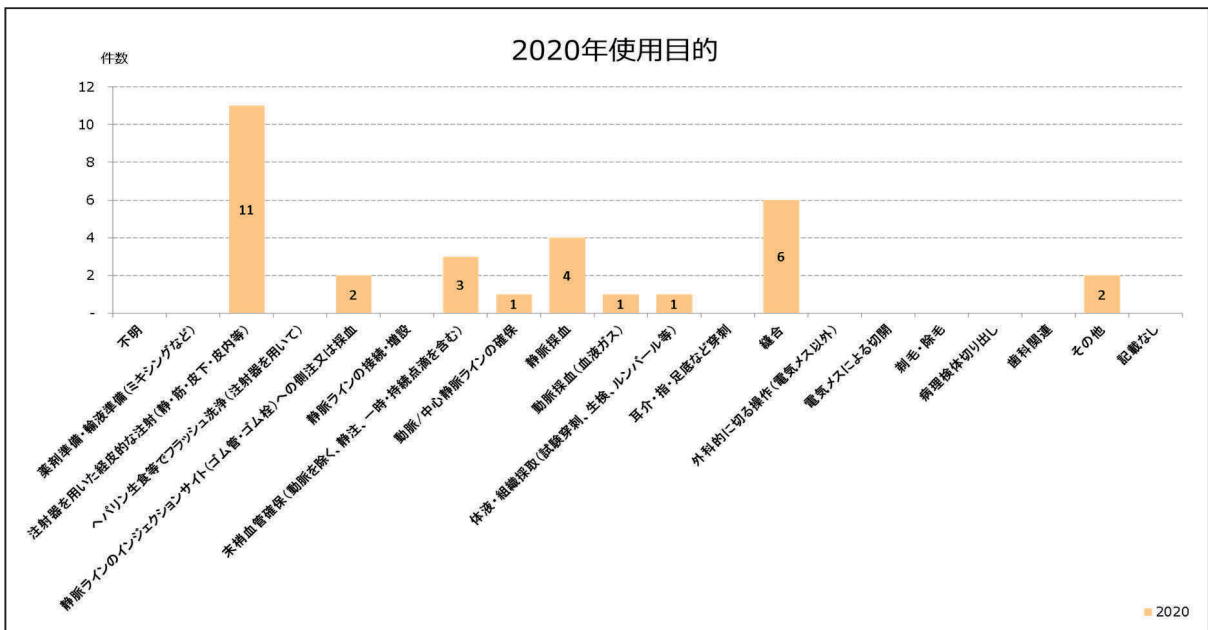
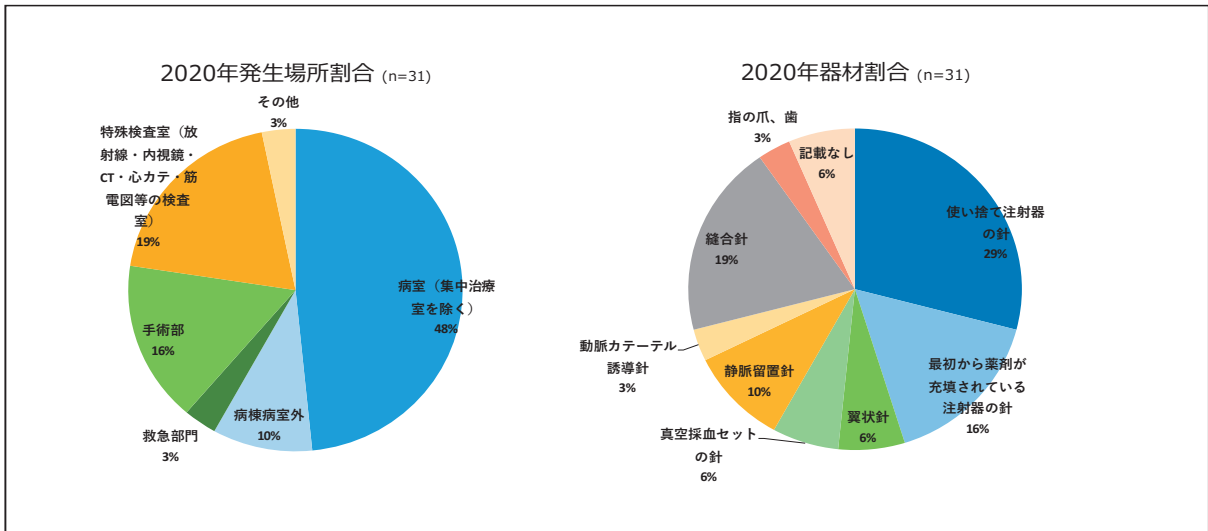
### 年別職種



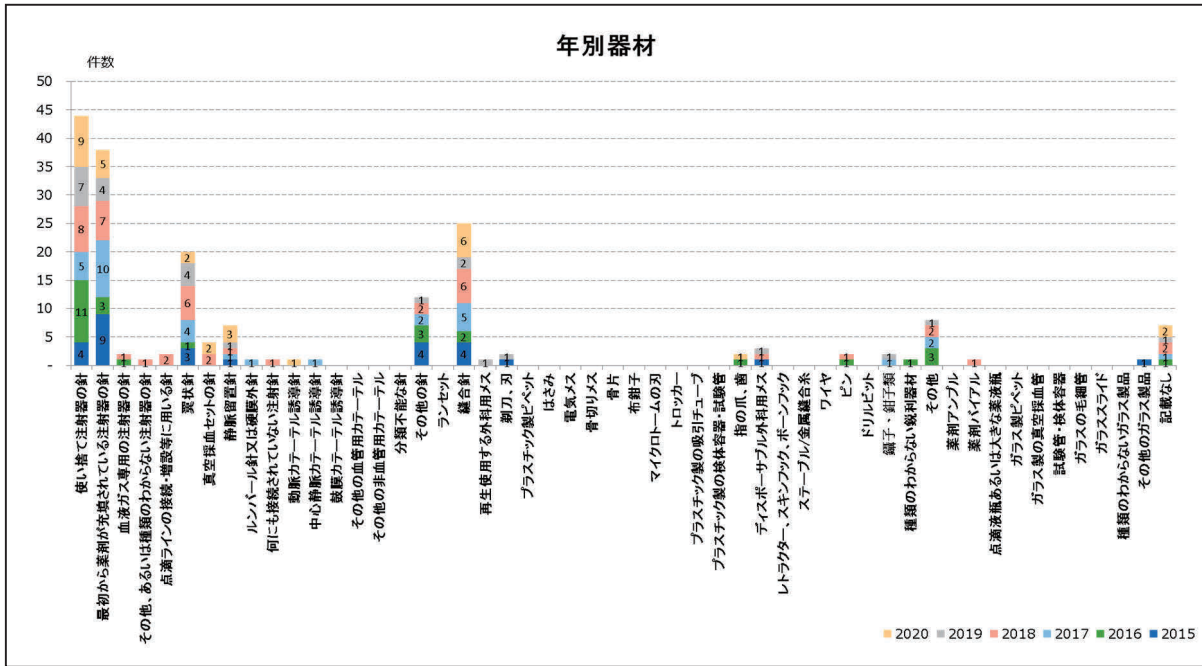
# 血液曝露③



# 血液曝露④



血液曝露⑤



# 各科活動報告



## 集中治療科

### 担当医

#### ○北山 仁士(集中治療科部長)

認定資格：日本外科学会外科専門医・指導医／日本心臓血管外科専門医・指導医／臨床研修指導医／医学博士／近畿大学心臓血管外科客員教授

#### ○吉川 健治(集中治療科医長)

認定資格：日本外科学会外科専門医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医

#### ○木村 誠志(麻酔科部長) (~2020/6)

認定資格：日本麻酔科学会麻酔科専門医・指導医／厚生労働省麻酔科標榜医／医学博士／臨床研修指導医

#### ○鎌本 洋通(麻酔科部長) (2020/7~)

認定資格：日本麻酔科学会指導医・専門医／日本心臓血管麻酔学会専門医／日本ペインクリニック学会専門医／周術期経食道心エコー認定医／臨床研修指導医

### 活動報告

ICUは全科の集中治療を担うgeneral ICUとして、人工呼吸器、IABP、PCPS(ECMO)等の生命維持装置を駆使した呼吸・循環管理、血液浄化療法による体液管理から、代謝・栄養管理まで、標準かつ最先端のICU管理を行っています。

専任医師に加え、心臓血管外科、循環器内科、呼吸器内科、麻酔科の協力のもと、多職種が一丸となり日夜良好なチーム医療を実践しています。

2020年度はCOVID-19に翻弄された一年となりました。

COVID-19感染例に関しては、HCUで疑似症例も含め中軽症例の受け入れを始めましたが、府内医療切迫に伴い、重症例も受け入れる事となりました。

PCPS、IABP、透析、呼吸器とフル装備の疑似症や、重症COVID肺炎で人工呼吸器管理を要す例もありましたが、看護スタッフをはじめ多職種の奮闘により、現時点までクラスター発生や、職員の院内感染をきたすことなく当院のCOVID治療の一翼を担っています。

COVID-19対応で制限された状況下でも、ICUでは、ECPR後PCPS離脱等、重症例治療の質を落とす事無く、一定の水準を維持した集中治療を行いました。

### 今後の展望と課題

まだまだCOVID-19感染の趨勢は不透明で、今後更に困難な状況に陥ることも予測されます。COVID-19重症例の受け入れも含め、引き続き満床運営を目標としますが、COVID-19の長期化に伴い職員の負担が過大とならないように対策をたてることが課題と考えます。

## 総合診療センター

### 担当医

#### ○藤本 卓司(救急総合診療科部長)

認定資格：ICD(Infection Control Doctor)／麻酔科標榜医／京都大学医学部臨床教授

#### ○大矢 亮(副病院長 兼 総合診療センター長 兼 救急総合診療科部長)

認定資格：日本内科学会総合内科専門医・指導医JMECCインストラクター／日本救急医学会ICLSディレクター・インストラクター／日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医・SDH検討委員会委員／大阪府医師会ACLS大阪認定ディレクター・認定インストラクター／臨床研修指導医／日本静脈経腸栄養学会TNT研修会修了／日本老年医学会高齢者医療研修会修了／HANDS-FDF2014修了／認知症サポート医／日本HPHネットワーク運営委員

#### ○川尻 英子

認定資格：日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療専門医・指導医

#### ○藤本 翼(救急総合診療科医長)

認定資格：日本内科学会総合内科専門医・JMECCインストラクター／日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医／日本救急医学会ICLSディレクター・インストラクター／大阪府医師会ACLS大阪認定ディレクター・認定インストラクター／臨床研修指導医／日本静脈経腸栄養学会TNT研修会修了

#### ○杉本 雪乃

認定資格：日本内科学会認定内科医JMECCインストラクター／日本救急医学会ICLS認定ディレクター／大阪府医師会ACLS大阪認定インストラクター／臨床研修指導医／日本静脈経腸栄養学会TNT研修会修了

## ○河村 裕美

認定資格：日本内科学会認定内科医JMECCインストラクター／日本救急医学会ICLSインストラクター／臨床研修指導医／日本静脈経腸栄養学会TNT研修会修了

### 活動報告

2020年度は新型コロナウイルスの影響を大きく受ける1年となりました。2020年2月の段階で大阪府の要請で開設した帰国者・接触者外来はERと一体となって運用し、年度末までに800人を超える患者を受け入れてきました。救急車の受け入れは5年ぶりに年間6,000台を下回りましたが、市内全体で10%以上も救急搬送数が減る中で発熱患者を含め「断らないER」を実践するための工夫を重ね、院外心肺停止は2019年度の約1.5倍、大阪市内からの救急車受け入れは例年の約2倍の実績となりました。

病棟活動では8月から軽症中等症新型コロナウイルス患者の入院受け入れを正式に開始し、年度末までに100人ほどの患者さんの治療を行ってきました。第三波に入院後重症化し重症管理病院に転院となる患者さんを何人も経験したことで、重症化させない入院管理について経験値を上げることができました。

教育面の活動として特筆すべきは第229内科学会近畿地方会において、2年目西進介先生の発表が優秀賞を受賞したことです。これまで若手奨励賞の受賞はありましたが、優秀賞受賞は初めての快挙でした。

### 今後の展望と課題

新型コロナウイルスの流行がいつまで続くのか見通しが立てにくい状況ですが、これまで通り地域支援病院として地域で求められる役割を発揮できるよう力を尽くしていきます。具体的には新型コロナウイルスの外来と入院での対応と発熱を含めた断らないERへの期待が大きいいため、他科の協力も得ながらニーズに応じていきます。

学術面・教育面では日々の診療のレベル向上に努めながら、全国学会などより大きな学会での報告や論文作成などさらなるレベルアップを進めていきます。

## ● 循環器センター(循環器内科)

### 担当医

#### ○石原 昭三(副病院長 兼 循環器センター長)

認定資格：日本内科学会認定内科医 総合内科専門医・指導医／日本循環器学会循環器専門医／日本心血管インターベンション治療学会専門医・指導医／臨床研修指導医／堺市身体障害者福祉法指定医師(心臓機能障害)

#### ○鈴鹿 裕城(循環器内科部長)

認定資格：日本内科学会総合内科専門医・指導医／日本循環器学会循環器専門医／日本心血管インターベンション治療学会専門医

#### ○具 滋樹(循環器内科医長)

認定資格：日本内科学会認定内科医／日本循環器学会循環器専門医／臨床研修指導医／心臓リハビリテーション指導士

#### ○松岡 玲子(循環器内科医長)

認定資格：日本内科学会認定内科医／日本循環器学会循環器専門医／植え込み型除細動器(ICD)・ペースキングによる心不全治療(CRT)実施医

#### ○梁 泰成(循環器内科医長)

認定資格：日本内科学会認定内科医／日本循環器学会循環器専門医

#### ○宮部 亮

認定資格：日本内科学会認定内科医／日本心血管インターベンション治療学会認定医

### 活動報告

2020年度はPCI 565件、アブレーション 85件、PTA 61件とアブレーションおよびPTAは減少したが、PCI件数は増加した年であった。COVID-19感染症のため当科から人員派遣も行いながらも各々の件数の維持ができ、大きな合併症がなく経過することができた。

COVID-19感染症のなかでも開業医訪問や地域との勉強会などによって他院との関係を密に保つことができ紹介患者さんの維持および処置件数の維持につながったと思われる。

循環器内科の処置は侵襲的なものが多く合併症が死につながることもある。そのため毎週月曜日に多職種でカンファレンスを開催し振り返りを行い、改善点を検討した。また、木曜日、金曜日は8時からカンファレンスを行うことで入院患者さん、カテーテル治療などについて医師間で情報を共有した。

### 今後の展望と課題

#### 1) カテーテル治療のレベルの維持、件数の維持

COVID-19感染症がまだまだ改善しないなか当科からも支援が必要ではあるが、引き続き開業医訪問を



継続し必要な患者さんの処置の維持をしたい。その中で合併症に注意し皆が高いレベルで治療できるように教育/指導していく。

## 2) 生理学検査および心不全加療のレベルアップ

心不全治療および生理学検査をレベルアップすることを期待する。

## 3) 若手医師の教育

後期研修医1名がスタッフ医師となり、新たに後期研修医1名が加わる予定。若手医師も例年加わっておりカンファレンスを身のあるものとし教育していくことが必要と考える。また、学会活動が2020年度は不十分であったので2021年度はもう少し力を入れていきたい。

# ● 循環器センター(心臓血管外科)

## 担当医

### ○井上 剛裕(心臓血管外科主任部長)

認定資格：日本胸部外科学会認定医/日本外科学会外科専門医/心臓血管外科専門医・指導医/堺市身体障害者福祉法指定医師(心臓機能障害)

### ○札 琢磨(心臓血管外科部長)

認定資格：日本外科学会専門医・指導医/日本心臓血管外科 専門医・修練指導医/心臓機能障害植込型除細動器・ペースメーカーによる心不全治療実施医/日本移植学会移植認定医・植込み型補助人工心臓実施医/日本血管外科学会認定血管内治療医/胸部・腹部ステントグラフト内挿術実施医・指導医/浅大腿動脈ステントグラフト実施医/臨床研修指導医/堺市身体障害者福祉法指定医師/難病指定医

## 活動報告

2020年度は手術件数が増加しました。手術・周術期治療を行ううえで、安全性の質を確保しつつ効率的な連携体制が構築できるよう医療スタッフ、地域連携、循環器センターサポートチームとの協働も強化してきました。そして、新型コロナ肺炎流行が継続するなかで不具合なく、術前からの周術期管理を安全に行えています。

心臓血管外科専門医認定修練施設(近畿大学病院)の関連施設認定を取得し、2年経過しました。大学病院からの患者さんはもちろんですが、その他の専門施設からの患者さんも含めシームレスに受け入れしています。多疾患併存した心臓血管外科患者様が多く、心不全再増悪、再入院、重症化予防が喫緊の課題と考えています。そのためにリハビリテーションを含めた多職種チームによる多面的、包括的な疾患管理が必要で、地域医療支援病院の1部門として役割を果たすよう努めています。

また日本心臓血管外科手術データベース(JCVSD)に参加登録し、各種学会発表参加も定期的に行っています。

## 今後の展望と課題

長寿化がすすみ、近年平均寿命と健康寿命の差である不健康期間は短縮し、健康寿命の格差は縮小しています。しかしまだまだ大きな開きがあり、不健康期間の短縮が求められます。また循環器疾患は介護が必要となる比率がたかく、医療費が最もかかるため、その対策強化は重要な課題です。心臓血管外科治療を行うことで、不健康期間の短縮、介護介入を軽減し、医療費の効率化に貢献できればと考えています。

2020年から新型コロナ肺炎が流行し、2021年も艱難な時期が継続するなかで、医療スタッフを含めた医療資源に負担をかけないことが必要となります。そして今後、少子高齢化、情報化社会が進み、価値観の相違や権利意識が強くなるなか、必要な時期に必要な治療、手術が受けられる環境を整えることが大切です。心臓血管外科治療が、有効性かつ継続性のある地域医療の役割を担えるよう、遠くを見据え日々の業務に粛々と取り組みたいと考えています。

# ● 消化器センター

## 担当医

- 山口 拓也(副病院長 兼 消化器センター長)  
認定資格：日本外科学会外科専門医・指導医／日本内視鏡外科学会技術認定医／日本消化器内視鏡学会専門医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 岩谷 太平(消化器内科部長)  
認定資格：日本内科学会総合内科専門医・指導医／日本消化器内視鏡学会専門医・指導医／日本消化器病学会専門医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 岡田 正博(消化器内科部長)  
認定資格：日本内科学会認定内科医／日本消化器内視鏡学会専門医／堺市身体障害者福祉法指定医師(肝臓機能障害)
- 松田 友彦(消化器内科医長)  
認定資格：日本内科学会認定内科医／臨床研修指導医
- 河村 智宏  
認定資格：日本内科学会認定内科医／臨床研修指導医／日本救急医学会ICLSインストラクター
- 平林 邦昭(大腸・肛門科部長)  
認定資格：日本外科学会外科専門医・指導医／日本消化器外科学会認定医／臨床研修指導医／堺市身体障害者福祉法指定医師(小腸機能障害)(膀胱又は直腸機能障害)
- 裕野 孝治(乳腺甲状腺外科部長)  
認定資格：日本外科学会外科専門医／日本消化器外科学会認定医／臨床研修指導医
- 吉川 健治(肝胆膵外科部長)  
認定資格：日本外科学会外科専門医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医／堺市身体障害者福祉法指定医師(肝臓機能障害)
- 戸口 景介(外科部長)  
認定資格：日本外科学会外科専門医・指導医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医／厚生労働省認可麻酔科標榜医／日本消化器内視鏡学会専門医・指導医／日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医／日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医／日本ヘリコバクター学会H.Pylori(ピロリ菌)感染症認定医／日本腹部救急医学会腹部救急認定医／麻酔科標榜医
- 外山 和隆(がん支援副センター長 兼 外科部長)  
認定資格：日本外科学会外科専門医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医／臨床研修指導医
- 中江 史朗(腫瘍内科部長)  
認定資格：日本外科学会外科専門医・指導医／日本消化器外科学会専門医・指導医／日本消化器内視鏡学会専門医／日本大腸肛門学会専門医・指導医／日本消化器病学会専門医・近畿支部評議員／日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医／臨床研修指導医／医学博士
- 中川 朋(消化器内科部長)  
認定資格：日本外科学会外科専門医／日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医／臨床研修指導医
- 富岡百合子(外科医長)(～2020/9)  
認定資格：日本外科学会外科専門医／日本救急医学会救急科専門医・ICLSインストラクター
- 土居 桃子(2020/10～)  
認定資格：日本外科学会外科専門医／日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医
- 今井 稔  
認定資格：日本外科学会外科専門医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 安田恵津子  
認定資格：日本内科学会／日本消化器病学会
- 櫻井 史歩(後期研修医)  
認定資格：日本内科学会認定内科医

## 活動報告

消化器センターは大きく前進しました。消化器センター内科では食道、胃、大腸の内視鏡検査及びESDも大きく件数をのばしております。内視鏡検査では“痛くない”を合言葉にスタッフ一同邁進しております。

また、上部、下部の出血に対しては24時間365日緊急対応できるように体制を強化しています。悪性疾患等による消化管閉塞に対してはステント治療を広くとりいれ、速やかな手術療法への移行を行い低侵襲な治療を可能にしています。胆道系疾患に対する緊急ERCPも過去最高を記録しています。

消化器センター外科では消化管外科、肝胆膵外科、乳腺甲状腺外科、ヘルニア外科などを主に行っています。腹腔鏡下手術が大勢を占めており、胃、大腸にとどまらず、肝胆膵まで腹腔鏡下手術で行うようになって

てきました。肝臓腫瘍に対しても、腹腔鏡下エコーを用いたラジオ波治療も積極的におこなっており南大阪でも指折りの件数となっております。今年度はICG対応4K内視鏡カメラへも導入しました。今後はロボットの導入に向かい準備中です。

2020年度もコロナ禍でありながら、過去最高の症例(消化管穿孔、胆嚢炎など数多い症例)をご紹介いただきました。

このように消化器センター内科、外科、専門スタッフのコラボレーションの上、患者さんには最善、最短、低侵襲を合言葉に満足度のいく質の高い治療を安全に提供できていると自負しております。

がん診療拠点病院としての使命を果たすことができるよう、ますますシームレスな医療を展開し、患者さんに対して満足度の高い、質の高い治療を提供しつづけてまいります。

### 今後の展望と課題

- がん診療をさらに充実させ、集学的治療、放射線治療導入への道筋をつけてまいります。
- 専門的な治療を拡充し専門スタッフの更なるスキルアップを行い患者さん満足度の高い医療を提供してまいります。
- 全職種横断的な総合カンファレンスが毎週開催となり、一層、患者さんやご家族の想いを充分かなえるような治療をチームで提案します。
- 上部、下部消化管、肝胆膵分野ごとのエキスパートの育成を行い、患者さんにさらに質の高い治療を提供しつづける努力をおしめません。
- 腫瘍内科、緩和ケアチームと密接に連絡をとりあい、漢方治療などの補完医療もとりいれ、質の高いケアを提供してまいります。

## 腎・透析センター(腎臓内科・透析)

### 担当医

#### ○大矢 麻耶(腎・透析センター長 兼 腎臓内科部長)

認定資格：日本内科学会総合内科専門医・指導医/日本腎臓学会認定腎臓専門医・指導医/臨床研修指導医/堺市身体障害者福祉法指定医師(腎臓機能障害)

#### ○植田祐美子

認定資格：日本内科学会認定内科医/日本腎臓学会認定腎臓専門医/日本フットケア学会認定フットケア指導士/臨床研修指導医/堺市身体障害者福祉法指定医師(腎臓機能障害)

#### ○熊澤 実

認定資格：日本内科学会認定内科医/日本腎臓学会専門医・指導医/堺市身体障害者福祉法指定医師(腎臓機能障害)

#### ○林 研(非常勤)

所属学会：日本内科学会/日本腎臓学会/透析療法学会/日本下肢救済・足病学会/日本フットケア学会/堺市身体障害者福祉法指定医師(腎臓機能障害)

### 活動報告

腎臓内科分野として、腎障害への原因検査としての腎生検が年々増加傾向となっている。2020年度も臨時を含めた腎生検は増加の一途である。また抗GBM抗体陽性腎炎など複雑な疾患もあり、選択的血漿交換も行えた。昨今ますます当院への腎臓内科としての役割が強くなっているように感じる。今後、腎病理を含め、さらなる経験の蓄積が重要と感じる。

また透析分野では、新規導入も変わらず多数あるなか、維持透析中の緊急入院が増えた。COVID-19の影響もあり、他院での受け入れ困難が続き当院での需要が高まったと考える。透析医療が様々な影響で体制が崩れる厳しいものだと感じた。維持透析中患者での発病はADLを低下させ、これまでいた自宅での生活が難しくなることが多くなった。療養病院での受け入れ体制も厳しく、今後重要な課題になってくると思われる。患者の意思にそった選択肢を増やせるように検討したい。

### 今後の展望と課題

腎臓内科として、腎生検をはじめとした腎症に対する治療について深めていく必要がある。

透析治療について、予後を伸ばし、QOLを保てるような、希望を持った透析生活をおくれるサポートをさらに追求していく。

# 代謝・膠原病内科

## 担当医

○川口 真弓(代謝・膠原病内科部長)

認定資格：日本内科学会総合内科専門医・指導医／日本糖尿病学会糖尿病専門医・指導医／リウマチ登録医／堺市身体障害者福祉法指定医師(肢体障害)

○岩崎 桂子(代謝・膠原病内科医長)

認定資格：日本内科学会認定内科医／臨床研修指導医

○松廣 有紀

認定資格：日本内科学会認定内科医

## 活動報告

関連が強い腎臓病グループと同じ病棟でチームとしてカンファレンス・回診を行い入院・外来診療にあたっています。

### 【糖尿病内科】

#### ○2020年度診療内容

- ・年間を通して教育入院患者の受け入れ
- ・糖尿病を基礎疾患にもつ重症入院患者の加療
- ・他院からの重症例の受け入れ
- ・外科系各診療科の内科マネージメント
- ・南大阪糖尿病協会糖尿病ウォークラリー共催
- ・総合病院 糖尿病紹介外来担当、サテライト診療所(高砂クリニック)での糖尿病外来を担当
- ・堺北診療所 糖尿病外来を担当
- ・開業医からの紹介を受け入れ、入院及び外来フォロー等で連携
- ・研修医の教育

## 今後の展望と課題

後期研修医もローテートで回ってくるが増え、カンファレンスも活気が出てきました。糖尿病診療のスキルを生かし急性疾患のみならず、慢性疾患を診ることのできるチーム医療を目指し、その楽しさを研修医の先生にも経験してもらえるような研修システムを作りたいと思います。

2021年度は外来通院の妊婦さんの糖尿病治療を専門医がフォローし、安全な分娩につなげるため、また開業医に受診されている妊婦さんの甲状腺異常のフォローをするため妊娠糖尿病外来が開設する予定です。外来部門との合同カンファレンスなどを通じて更なる連携を深めると共に開業医の先生との関わりも深めていくことで多くの患者さんが安心して病気と付き合っていけるよう支えていきたいと思っています。

# 呼吸器内科

## 担当医

○緒方 洋(副病院長 兼 呼吸器内科部長)

認定資格：日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医／日本アレルギー学会専門医／日本内科学会評議員・認定内科医／日本内科学会JMECCディレクター／日本救急医学会ICLS認定インストラクター・ICLS認定ディレクター・ICLS認定指導者養成ワークショップディレクター／大阪府医師会ACLS大阪認定インストラクター・ACLS大阪認定ディレクター／堺市身体障害者福祉法指定医師(呼吸機能障害)／臨床研修指導医

## 活動報告

- 1) COVID-19の蔓延により、有熟者を積極的に受け入れています。それに伴い肺炎患者の鑑別に胸部CT、気管支鏡などを積極的に用いて貢献しております。
- 2) 超音波内視鏡を用いた縦隔リンパ節生検(EBUS-TBNA)、および超音波プローブを用いた抹消病変の組織検査(EBUS-GS)では良好な成績を納めています。
- 3) 上記にともない、検査時間は従来と比較してながくなりがちになります。表面麻酔のみでは十分とは言い難く、検査を受けられる方が苦痛を感じることがないように、積極的に静脈麻酔をおこない、苦痛の軽減

に勤めております。

## 今後の展望と課題

検査手技の高度化、件数の増加に伴いより安全であることが求められており、引き続き安心安全の追求につとめて参ります。COVID-19に対する診断治療に貢献していきます。

# 呼吸器外科

## 担当医

○佐藤 泰之(呼吸器外科部長)

認定資格：医学博士／日本外科学会外科専門医／日本消化器外科学会認定医／ICD(Infection Control Doctor)／身体障害者福祉法指定医師

## 活動報告

呼吸器外科の手術件数は、2018年度5カ月間の21件(1年間換算で約50件)から2019年度55件、さらに2020年度は70件と増加しています。内訳は、肺癌などに対する肺葉切除術が30件(2019年度18件)、肺癌や肺転移などに対する肺部分切除術が18件(同11件)、気胸の手術が11件(同10件)、膿胸に対する手術が7件(同5件)、縦隔の手術が1件(同2件)、その他が3件(同9件)となります。手術件数も増加していますが、その内容的にも肺癌手術の著増など大きな手術の割合が増加しています。その内開胸手術は4件(同3件)で、他は局所麻酔手術1件を除く全てが完全鏡視下での胸腔鏡手術で行っています。術後肺瘻のため1例で再手術を要していますが、他は問題となる術後合併症はなく、再手術例を含め全て軽快退院されています。

2019年度から手掌多汗症の手術も導入し、同年に1例施行し良好な結果で順調にスタートできましたが、2020年度はコロナ禍の影響か手術例なしでした。

手術助手の定着化については、定期的水曜日に関しては週替わりながら非常勤の呼吸器外科医助手の定着により安全かつ手術時間の短縮が実現できています。

## 今後の展望と課題

現在の手術枠や助手体制の中で安全かつ適切な手術を行う上では、手術件数は現状が最大限かなと思われる。ただ、準緊急手術に関しては、固定メンバーのMEによる手術助手の安全な導入ができれば、手術件数の増加も期待できそうです。また、コロナ禍沈静後には、手掌多汗症手術も近隣広報の上積極的に行っていきたいと思っています。

# チルドレン&ウィメン・ヘルスケアセンター(小児科)

## 担当医

○藤井 建一(センター長 兼 小児科部長)

認定資格：日本小児科学会小児科専門医・指導医／臨床研修指導医／堺小児科医会理事

○金子 愛子(小児科医長)

認定資格：日本小児科学会小児科専門医／日本プライマリ・ケア連合学会認定医／家庭医療専門医

○瀬戸 司

認定資格：日本小児科学会小児科専門医

○森定 基裕

認定資格：日本周産期・新生児医学会認定新生児蘇生法専門コース認定

○瀬邊 翠

所属学会：日本小児科学会／日本小児感染症学会／日本小児神経学会

○阿曾沼良太

認定資格：日本小児科学会小児科専門医／JPLS小児診療初期対応コース修了／NCPR Aコース修了

○佐藤結衣子

所属学会：日本小児科学会／日本小児神経学会

## 活動報告

小児科医師としては、昨年度と同じ、6名の常勤医と1名の後期研修医という体制でした。9階病棟は、小児科・婦人科と内科・外科との混合病棟(33床)でしたが、COVID-19感染症の対応として、5-6月はCOVID-19感染症専用病棟(疑い患者も含む)として運用し、小児科は他病棟にて規模を縮小して入院医療を継続しました。

7月からは、元の9階病棟で小児科・整形外科・内科の混合病棟で入院医療を継続しています。小児については、外来の患者数も激減し、入院患者も昨年度より半減してしまいました。秋頃に幾分患者数の回復傾向を認めましたが、年末年始の第3波の影響で入院患者数は伸び悩んでいます。感染症を中心に患者を受け入れていますので、COVID-19感染症の影響を強く受けています。

また、6年前から始めた重症心身障害児者のレスパイト入院(スマイルケア入院)も、COVID-19感染症のリスクを避けるために、3-6月は受け入れを中止し、7月から再開しています。幸いなことに、再開後も昨年度並みの入院実績を維持し、COVID-19感染症に留意しながら継続しています。

6階の産婦人科病棟では、7月よりNICU(新生児集中治療室)を3床開設し、当院出生の新生児を状態が悪化する前に治療介入して対応しています。出産数については、月に65名前後と比較的多いため、小児科としても新生児医療には力を入れています。そして、初期研修医の小児科研修も受け入れており、病棟医療を中心に研修指導しています。

救急対応としては、2018年4月より、夜間の当直体制(日曜日を除く)に変更し、救急車や開業医・急病診からの紹介を積極的に受けて、地域の小児救急に少しでも役立てるように対応しています。

## 今後の展望と課題

2020年初頭からのCOVID-19感染症の流行から始まり、学校の休校等を受けて、急性期の小児患者は激減してしまいました。今年度もまだCOVID-19感染症の影響は強く残っていますが、救急車や開業医の先生方からのご紹介は積極的に受け入れておりますので、積極的にご紹介いただき、連携を強めていきたいと考えております。感染症だけでなく、食物アレルギーや低身長症等の検査入院も実施していますので、地域連携室の方へご相談ください。また、レスパイト入院についても、感染防御の観点から、2021年4月末より、再度受け入れを全面的に中止していますが、感染の収束を見極めて安全の確保が確認出来次第、再開していく方針としています。

外来については、法人が往診に特化した診療所を立ち上げたので、それに合わせて、在宅障害児の小児往診を開始する方針で具体的に計画を進めています。

救急対応としては、2021年4月より、365日24時間の当直体制となり、救急車や開業医・急病診からの紹介を積極的に受けて、地域の小児救急に少しでも役立てるように対応していきます。

## 2020年度 疾患別統計

小児科入院数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
2020年度	32	35	66	71	63	97	79	67	42	49	70	58	729

## 2020年度 上位疾患

疾患名	件数
妊娠期間短縮、低出産体重に関する障害	207
てんかん	94
上気道炎	52
喘息	32
脳性麻痺	24
その他の感染症(真菌を除く)	22
骨軟骨先天性異常	18
その他先天性異常	17
ウイルス性腸炎	15
急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症	5
インフルエンザ、ウイルス性肺炎	2

# チルドレン&ウィメン・ヘルスケアセンター(産婦人科)

## 担当医

### ○坂本 能基(副病院長 兼 センター長 兼 産婦人科主任部長)

認定資格：日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医／日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医／日本女性医学学会認定女性ヘルスケア専門医・指導医／日本東洋医学会漢方専門医／母体保護法指定医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医／臨床研修指導医

### ○内田 学(産婦人科部長)

認定資格：日本産科婦人科学会産婦人科専門医／母体保護法指定医／麻酔科標榜医／日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ読影認定医／産業医／堺市身体障害者福祉法指定医師(小腸機能障害)(膀胱又は直腸機能障害)

### ○松岡 智史(産婦人科医長)

認定資格：日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医／日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医／日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医／日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法専門コース修了

### ○高木 力(産婦人科医長)

認定資格：日本産科婦人科学会産婦人科専門医／母体保護法指定医／臨床研修指導医

### ○瀧口 義弘

認定資格：日本産科婦人科学会専門医／母体保護法指定医師

### ○松原 侑子

認定資格：日本産科婦人科学会専門医

## 活動報告

1年を通して、新型コロナ感染防止対策によりクラスターを発生することが無かった。

《産科》妊婦から見た当院の魅力である以下の点を特に意識して取り組みました。

- ・総合病院であり、安全、安心、信頼がある  
帝王切開率は一般病院と比較して低いが、新生児仮死が少なく、安全・安心・信頼のお産を実現できている  
無痛分娩を安全に管理出来るように、ガイドライン安全基準を満たしている  
超緊急帝王切開・母体救命処置法・新生児蘇生処置法を訓練し、実施できている  
NICUが設備され運営されている
- ・分娩費が他院と比較して安く、良心的である  
分娩一時金内に分娩費用を設定
- ・母子同室 全室個室化(差額室料は無料)  
家族のふれあいの実現が達成できている⇒新型コロナ感染防止対策で制限  
休養をとりやすい環境を提供できている
- ・立ち会い分娩 陣痛期、分娩期を通して、家族とともに過ごせる環境づくり⇒新型コロナ感染防止対策で制限
- ・小児科との連携強化

## 《婦人科》

- ・婦人科3分野、腫瘍、内分泌、ウィメンズヘルスケアを網羅している
- ・腫瘍  
がん：婦人科がん全ての癌手術が可能。放射線療法は他院と連携  
内視鏡下手術(腹腔鏡・子宮鏡)：婦人科手術の約60%は視鏡下手術
- ・不妊症は保険適応内診療が可能
- ・ウィメンズヘルスケア 専門医による診療  
女性心身症、更年期障害、適応障害、不安障害、産後うつ病、骨粗鬆症  
婦人科内分泌学、心身医学、東洋医学をバランス良くミックスし、幅広い治療を行っている

## 今後の展望と課題

- ・医療の質をさらに高める努力をします。
- ・新たな命の誕生を祝福できる環境の整備を継続します。
- ・医師・助産師・看護師の数・質ともに向上させます。
- ・2021年度も新型コロナ感染防止対策を徹底します。

# 泌尿器科

## 担当医

○田原 秀男(泌尿器科部長)

認定資格：日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定教育医／堺市  
身体障害者福祉法指定医師(膀胱又は直腸機能障害)／医学博士

○沖 貴士(泌尿器科医長)

認定資格：日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医／日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医／日本がん治  
療認定医機構がん治療認定医

○松村 直紀(泌尿器科医長)(2021/1～)

認定資格：日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医

○大森 直美

認定資格：日本病態栄養学会NSTコーディネーター／日本医師会認定産業医・健康スポーツ医

○浜口 守(2021/1～)

所属学会：日本泌尿器科学会

## 活動報告

2020年度の手術件数は425件であった。例年に比べて約70件ほど減少した。コロナの影響によって医療機  
関への受診控えによる紹介数の減少、および急を要さない良性疾患の手術治療を待機としたことが原因と考  
えている。

## 今後の展望と課題

- ・泌尿器科医の4人体制
- ・MRI標的生検に対する紹介患者の獲得
- ・結石治療機器の充足による、対象患者の獲得

# 整形外科

## 担当医

○河原林正敏(副病院長 兼 整形外科部長)(2020/10～病院長)

認定資格：日本整形外科学会整形外科専門医／臨床研修指導医／堺市身体障害者福祉法指定医師(肢体不自由)

○吉岡 篤志(整形外科部長)

所属学会：日本整形外科学会／中部日本整形外科災害外科学会／日本骨粗鬆症学会

○小松 俊介

所属学会：日本整形外科学会／中部日本整形外科災害外科学会

○守津 汀

所属学会：日本神経学会／中部日本整形外科災害外科学会

## 活動報告

- ・当院整形外科では、骨折を主とした外傷の手術に加え、脊椎手術や人工関節置換術にも力を入れています。  
脊椎の手術は、大半の症例を顕微鏡視下で行っております。人工関節置換術には侵襲の少ないアプロ  
ーチ法を導入しております。治療を受けられる患者さんの身体への負担を極力減らすべく、当科では低侵襲手  
術の導入と実践に引き続き取り組んでいきます。
- ・高齢化・併存疾患の重症化に伴い、近年は手術リスクの高い患者さんが増加しております。麻酔科、内科、  
循環器内科と連携し、必要時には他科との合同カンファレンス、他職種を含めた倫理カンファレンス等  
を行い、患者様にとってベスト、ベターな治療を提案しております。
- ・2020年度の総手術件数は456件で、前年度の477件からやや減少しました。脊椎手術は105件でした。

## 今後の展望と課題

2020年度は2名の後期研修医を受け入れます。京都民医連中央病院との連携を行い、新しい低侵襲手術・  
腰椎側方椎体間固定術(OLIF)の導入を進め、整形外科診療のさらなるレベルアップを図っていきたく  
と考えます。



# 脳神経外科

## 担当医

○田中 禎之(脳神経外科部長)

認定資格：医学博士／日本脳神経外科学会脳神経外科専門医・指導医／日本脳神経外科学会近畿支部学術評議員／日本脳卒中学会脳卒中専門医・指導医／日本救急医学会認定ICLS・BLSコースディレクター／日本救急医学会・日本神経救急学会認定ISLSディレクター／臨床研修指導医／共用試験医学系OSCE評価認定講習会修了／回復期リハビリテーション専従医研修会修了

## 活動報告

2020年7月26日：第69回耳原総合病院・西淀病院共催二次救命処置コース 参加  
2020年10月11日：第70回耳原総合病院二次救命処置コース 開催  
2020年12月13日：第71回耳原総合病院二次救命処置コース 参加  
2021年2月14日：第72回耳原総合病院二次救命処置コース 開催

## 今後の展望と課題

かかりつけ医と地域連携をはかり、紹介・逆紹介患者数を増やします。  
脳外科連携病院に、緊急治療が必要な患者さんを速やかに紹介します。  
将来を見据え脳神経外科専門医、脳血管内治療専門医、脳神経内科専門医の獲得を目指します。  
脳神経外科専門医が1名でも獲得できれば手術を開始します。  
脳血管内治療専門医が1名でも獲得できれば脳血管内治療を開始します。  
脳神経内科専門医が1名でも獲得できれば一次脳卒中センター(PSC)を申請します。  
複数名のスタッフが揃えばSCUを設置、24時間体制で堺市の脳卒中急性期治療を行います。

# リハビリテーション科

## 担当医

○田中 禎之(脳神経外科部長)

認定資格：医学博士／日本脳神経外科学会脳神経外科専門医・指導医／日本脳神経外科学会近畿支部学術評議員／日本脳卒中学会脳卒中専門医・指導医／日本救急医学会認定ICLS・BLSコースディレクター／日本救急医学会・日本神経救急学会認定ISLSディレクター／臨床研修指導医／共用試験医学系OSCE評価認定講習会修了／回復期リハビリテーション専従医研修会修了

## 活動報告

【総スタッフ数】理学療法士34名、作業療法士19名、言語聴覚士9名  
【入院からリハ処方までの日数】平均0.98日 2日以内の処方割合97.5%  
【回復期リハビリ病棟】50床  
【回リハ専従スタッフ数】理学療法士21名、作業療法士9名、言語聴覚士2名  
【回リハ平均提供単位数】5.9単位(脳血管疾患8.3 運動器4.1 廃用3.1)  
【回リハ平均在院日数】53.0日  
【在宅復帰率】93.0%  
【実績指数】平均56.3点

ICUの超急性期から一般病棟、回復期リハ病棟、緩和ケアと多方面にリハビリを提供しています。  
リハビリは2日以内に処方、早期介入による廃用症候群予防、合併症予防に取り組んでいます。  
心臓リハビリテーション指導士による心臓リハビリを提供しています。  
呼吸療法認定士による呼吸リハなど専門分野に取り組んでいます。  
がんリハビリテーションにも取り組んでいます。  
一般病棟では集団レクや認知症・せん妄対策に取り組んでいます。

## 今後の展望と課題

2025年問題に向け、今後益々回復期リハビリ病棟の需要が高まると考えられます。  
回復期リハビリ病棟では、提供単位数確保のため休日リハビリを導入、継続していきます。  
術前呼吸器リハビリテーションが開始され、さらに多くの患者さんに介入していきます。  
患者さんに必要なリハビリ単位数を受けて頂くために、さらにスタッフの増員に取り組めます。  
脳外科専門医としてスタッフを教育・指導し、質の高いリハビリ医療の提供を目指します。

# 緩和ケア科

## 担当医

○奥村 伸二(病院長) (~2020/10)

認定資格：日本外科学会外科専門医／日本麻酔科学会麻酔科認定医／厚生労働省麻酔科標榜医／プライマリケア連合学会指導医／堺市身体障害者福祉法指定医師(呼吸機能障害)／産業医／緩和ケア指導者研修会修了

○坂本 能基(緩和ケア科部長) (2020/11~)

認定資格：日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医／日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医／日本女性医学学会認定女性ヘルスケア専門医／日本東洋医学会漢方専門医／母体保護法指定医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医／臨床研修指導医／緩和ケア研修会修了

○金島 正幸(緩和ケア科医長)

認定資格：日本内科学会認定内科医／緩和ケア指導者研修会修了

○坂本 英代

認定資格：日本緩和医療学会認定医／緩和ケア指導者研修会修了

## 活動報告

- ・緩和ケア外来の新設(週1単位)
- ・緩和ケア病棟24床(全個室)、患者数320名/年
- ・ボランティア活動、遺族会はコロナ禍のため休止

## 今後の展望と課題

- ・コロナ禍による面会制限が緩和ケア病棟医療に与えた影響は大きい。面会制限により、入院での看取りから在宅での看取りにシフトしている。
- ・緊急入院受け入れや短期間での症状コントロールなど「在宅医療を支える」医療が今後重要になるとと思われる。

## 緩和病棟関連資料

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
入院数	297	306	199	379	317
延べ患者数	7,563	7,274	8,209	8,295	7,608
病床利用率	89%	87%	96%	94%	87%
平均在科日数	22.6日	20日	24日	21.8日	23.7日

## 紹介先のリストと紹介数

紹介元	入院件数	面談件数
院内・法人内	168	186
堺市立総合医療センター	41	123
大阪労災病院	9	25
大阪国際がんセンター	3	11
近畿大学医学部付属病院	6	17
大阪急性期・総合医療センター	8	22
大阪市立大学医学部付属病院	7	16
その他	75	91
合計	317	491

持続オピオイド使用人数 229名  
 持続鎮静使用人数 9名  
 調節型鎮静使用人数 46名

## 入院してから1週間ごとの死亡数

	日数	死亡数
第1週	1~7	52
第2週	8~14	58
第3週	15~21	41
第4週	22~28	24
第5週	29~35	18
第6週	36~42	17
第7週	43~49	14
第8週	50~56	8
第9週	57~63	4
第10週	64~70	6
第11週	71~77	0
第12週	78~84	2
第13週	85~91	0
第14週	92~98	0
第15週	99~105	0
第16週	106~112	0
第17週	113~119	2
第18週	120~126	0
第19週	127~133	0
第20週	134~140	0
第21週	140~147	1
合計		247

緩和ケア研修会修了者 2020.4月 現在 82名

緩和ケア科	奥村 伸二	消化器内科	岡田 正博	麻酔科	杉山 円
緩和ケア科	坂本 英代	消化器内科	松田 友彦	麻酔科	南方 綾
緩和ケア科	金島 正幸	消化器内科	河村 智宏	放射線科	岩本 卓也
総合診療センター	藤本 卓司	消化器内科	櫻井 史歩	放射線科	榎谷 和紘
総合診療センター	松瀬 房子	産婦人科	坂本 能基	病理診断科	木野 茂生
総合診療センター	安田恵津子	産婦人科	内田 学	循環器センター	石原 昭三
総合診療センター	大矢 亮	産婦人科	松岡 智史	循環器センター	鈴鹿 裕城
総合診療センター	藤本 翼	産婦人科	高木 力	循環器センター	具 滋樹
総合診療センター	杉本 雪乃	産婦人科	岩田 隆一	循環器センター	松岡 玲子
総合診療センター	河村 裕美	産婦人科	瀧口 義弘	循環器センター	梁 泰成
腎・透析センター	大矢 麻耶	産婦人科	松原 侑子	循環器センター	宮部 亮
腎・透析センター	植田祐美子	代謝・膠原病内科	川口 真弓	小児科	藤井 建一
呼吸器内科	緒方 洋	代謝・膠原病内科	岩崎 桂子	小児科	阿曾沼良太
呼吸器外科	佐藤 泰之	代謝・膠原病内科	松廣 有紀	小児科	森定 基裕
整形外科	河原林正敏	外科	山口 拓也	小児科	瀬戸 司
整形外科	吉岡 篤志	外科	平林 邦昭	小児科	佐藤結衣子
整形外科	小松 俊介	外科	外山 和隆	小児科	金子 愛子
整形外科	守津 汀	外科	吉川 健治	専攻医	北川 綾美
泌尿器科	田原 秀男	外科	戸口 景介	専攻医	坂本 祥大
泌尿器科	沖 貴士	外科	中川 朋	専攻医	成田 亮紀
泌尿器科	大森 直美	外科	今井 稔	専攻医	池田 響
脳神経外科	田中 禎之	外科	碓野 孝治	専攻医	河村 明子
歯科口腔外科	柳澤 高道	外科	玉田沙也香	専攻医	小川 萌
歯科口腔外科	長谷川淳子	外科	富岡百合子	専攻医	南里 直実
心臓血管外科	井上 剛裕	組織健診科	矢野 佳子	専攻医	重原 良平
心臓血管外科	札 琢磨	精神科	森田 大樹	初期研修医2年	梶本 興平
腫瘍内科	中江 史朗	精神科	金 詩園		
消化器内科	岩谷 太平	麻酔科	木村 誠志		

# 精神科

## 担当医

- 森田 大樹(非常勤)  
認定資格：精神保健指定医／日本精神神経学会精神科専門医
- 杉田 義郎(非常勤)  
認定資格：精神保健指定医
- 大野 草太(非常勤)  
認定資格：精神保健指定医／日本精神神経学会精神科専門医
- 金 詩園(非常勤)  
認定資格：精神保健指定医
- 鈴木 基之(非常勤)  
認定資格：精神保健指定医

## 活動報告

外来診療において、精神疾患全般の診療に当たりました。初診患者数は年間43人でした。受診年齢層は思春期から高齢層まで幅広くなっています。対象症例としては、家庭内や職場のストレス、トラブルが原因の神経症圏が最も多く、次にうつ病、続いて認知症症状、精神病の急性期や慢性期などでした。他の医療機関からの紹介患者も多く、年間19件ありました。

当院が総合病院である為、院内他科からの診療依頼も多く、コンサルテーション・リエゾン活動も活発に行いました。

また、当院のリエゾンチームには当科医師も加わっております。このため上記のような精神科医師への直接の診療依頼に応じる形だけでなく、せん妄の患者さんを中心にリエゾンチームとして依頼を受ける形もっております。この場合には「せん妄ラウンド」と称して、週に1回のラウンド(カルテラウンドを含む)も継続して実施しております。

更には、介護老人保健施設みみはらに入所されている方の精神症状が顕著となった場合の診察や、月1回の往診も継続しました。

## 今後の展望と課題

当院の精神科外来診療の特色と致しましては、当院が総合病院であるため、地域の精神科クリニックとは異なり、「他科との併診」という形の多さが挙げられます。つまり、「当院他科も受診している患者さん」の当科受診希望に対応していくことは、地域のニーズに応えるために欠かせないポイントであると考えており、今後も実践していく所存であります。

また、当科は病床を有しておりませんが、他科入院中の患者さんが様々な精神症状を呈した際に、主治医や病棟スタッフと共にアプローチを講じていく、いわゆる「リエゾン・コンサルテーション」にも重点をおいていきます。上述の通り、精神科医師が直接対応する形と、リエゾンチームが対応する形で今後も継続する必要があると考えております。

更には老人保健施設みみはらへの定期的な往診を継続して実施し、施設入所者さんの精神症状に対するアプローチにも取り組んでいきます。

# 麻酔科

## 担当医

○木村 誠志(麻酔科部長)(~2020/6)

認定資格：日本麻酔科学会専門医・指導医／厚生労働省麻酔科標榜医／医学博士／臨床研修指導医

○鎌本 洋通(麻酔科部長)(2020/7~)

認定資格：日本麻酔科学会専門医・指導医／日本心臓血管麻酔学会専門医／日本ペインクリニック学会専門医／周術期経食道心エコー認定医／臨床研修指導医

○杉山 円(麻酔科医長)

認定資格：日本麻酔科学会麻酔科専門医／厚生労働省麻酔科標榜医／日本周術期経食道心エコー認定医／日本心臓血管麻酔専門医(正式認定)／臨床研修指導医

○中村 佳世

認定資格：日本麻酔科学会麻酔科専門医／新生児蘇生法(Aコース)修了

○南方 綾

認定資格：日本麻酔科学会麻酔科専門医／日本小児麻酔学会小児麻酔認定医／日本周術期経食道心エコー認定医

## 活動報告

当麻酔科は2014年度から日本麻酔科学会認定病院となり、2015年度から麻酔科専門医研修プログラムに基づく近畿大学の病院群の基幹研修施設となりました。現在4名の常勤医と近畿大学麻酔科からの応援医師で手術室管理を行っています。新病院に移行してから6年たちますが、手術件数は2,178件、そのうち全身麻酔症例は1,310件と順調に増加しています。麻酔科の主な業務は臨床麻酔のほか、術前術後診察、研修医指導、緩和ケアや院内ペインクリニック関係のコンサルト、など多岐にわたりますが、一番の仕事は安全な手術麻酔管理により中央手術部門を円滑に運営することだと考えています。手術麻酔管理・集中治療はともに中央部門である為、他科の医師だけではなくコメディカルの方たちとのチーム医療が重要であり、良いチーム医療を遂行することは安全性の向上のみならず、医療の質の改善にもつながるものと思ひ、日々努力しております。

## 今後の展望と課題

当院での手術(特に全身麻酔下での手術)件数は今後も増加していく事が予想され、それらにより安全に対応し、患者さんにとっても快適な手術を受けていただくよう努力していきたいと考えております。

# 病理診断科

## 担当医

○木野 茂生(副病院長 兼 病理診断科部長)

認定資格：日本病理学会病理専門医・指導医／日本臨床細胞学会認定細胞診専門医／臨床研修指導医

## 活動報告

患者さんが病院に来られて、適切な治療を受けていただく為には、まず、適切な診断がなされることが必要です。その際に、しばしば「病理診断」が最終診断として大きな役割を果たしています。病理診断科の主な業務は 1. 細胞診断 2. 生検組織診断 3. 手術材料組織診断 4. 手術中迅速検査 5. 病理解剖の5つで、特に、がん死亡の2次3次予防について重要な役割を果たしています。

当科では、通常の染色や特殊染色に加え、一定の免疫組織化学的検索(50種以上)を活用し、正確な組織診断がなされる為の努力を行っています。さらに、診断に難渋する場合は、他施設の病理医を含めた検討や学会コンサルテーションなどの積極的活用を行っています。対象疾患は、内科系・外科系あるいは腫瘍・非腫瘍を問わず全ての疾患ということになります。特に、外科系であれば、消化器一般、呼吸器、婦人科、泌尿器の検体が多く、内科系では、肝生検、腎生検、皮膚生検、肺生検、骨髄生検をはじめ一般内科が取り扱う非腫瘍性病変全般も取り扱っています。また、各臓器の一般的な塗抹細胞診や吸引細胞診はもとより、細胞診断が重要な子宮がん、肺がん、膀胱がんなどのスクリーニング検査も行っています。

## [主な検査機器]

1. 自動染色装置
2. 自動包埋装置
3. 自動尿標本作製装置

## [カンファレンス等]

毎週行われる消化器外科、乳腺甲状腺外科、婦人科の術前術後カンファレンスに、病理医が直接参加し、総合的に患者さんの診断や治療方針に関する検討を行っています。また、解剖症例については、定例の院内臨床病理カンファレンス(CPC)を開催しています。

### 診断方法：

HE染色による病理組織診断、各種の特殊染色、酵素抗体染色による補助的組織診断。パパニコロウ染色およびギムザ染色による細胞診断、各種の特殊染色、酵素抗体染色による補助的細胞診断。セルブロック作製による診断。外注検査として、PDL-1、EGFR遺伝子変異解析、RAS-BRAF遺伝子変異解析、ROS-1、Her2/neu(FISH)やALK-IHC、MSI、蛍光抗体染色などの検査を利用しています。

### 今後の展望と課題

新専門医制度に対応するべく、専門医研修病院としての要件を満たす為に、協力いただける基幹型研修病院である大阪市立大学との連携を早期に実現していくことが求められています。初期研修の中で、選択研修としての病理診断科での研修の必要性をアピールし、総合的な意思の育成に寄与していきたいと思っております。

一方、現在、受託を行っている院所については、診断についてのさらなる精度管理、迅速性を追求し、的確な病理診断を提供できるように、随時、努力していきたいと考えています。一方、一人病理医の欠点を補うための方策として①嘱託病理医との連携②基幹型病院が行うカンファレンスへの参加③病理学会コンサルテーションや近隣の病理医のコンサルテーションの積極的活用などを追求していきます。

また、現在参加している婦人科、乳腺外科、一般外科系のカンファレンスのみならず、呼吸器科や泌尿器科など他科のカンファレンスへの参加を具体化していく必要があります。

## 放射線科

### 担当医

○岩本 卓也(放射線科部長)

認定資格：日本医学放射線学会放射線診断専門医／日本インターベンショナルラジオロジー学会IVR専門医／日本核医学会PET核医学認定医

### 活動報告

2020年度のCTおよびMRIの総所見数は25,911件となり、翌診療日にはそれぞれ62.8%、90.4%の所見の返却を達成することができた。またIVR件数は年間140件であり、TACEやシャントPTA、中心静脈ポートを中心に各科の依頼に対応できている。

また院内の学習会として主任看護師研修において“中心静脈ポート留置術”の講演を10月と11月の2回おこなった。

今後より一層、各科の診療に貢献したいと考えている。10月には放射線科看護師に対し、“TACEについて”の勉強会を、12月には院内の勉強会で、主任看護師研修において“中心静脈ポート留置術”の講演をおこなった。

### 今後の展望と課題

和歌山医大放射線科との遠隔読影システムの運用をうまく行い、一層の所見時間の短縮や内容の充実を目指し、読影量の増加にも対応したいと考えている。また日本医学放射線学会認定の修練機関としてさらなる増員を希望している。

# 歯科口腔外科

## 担当医

○柳澤 高道(歯科口腔外科部長)

所属学会：日本口腔外科学会専門医・指導医／日本口腔感染症学会院内感染対策認定医・インフェクションコントロールドクター／臨床研修指導医／日本レーザー医学会安全教育講習修了

○岸本 裕充(非常勤医師)

兵庫医科大学歯科口腔外科学講座 主任教授

## 活動報告

2020年4月1日より常勤歯科医師1名、常勤歯科衛生士1名が赴任し、歯科医師3名(常勤2名、非常勤1名)、歯科衛生士3名(常勤3名)体制で診療を開始する。赴任にあたり①同仁会の歯科診療所との連携強化②全麻下手術症例の増加③退院時カンファレンス(多職種連携)の強化を託される。

新型コロナウイルス感染症の急速な増加にともない2020年4月7日に大阪など7都府県に緊急事態宣言が発出された。その影響で緊急性を必要としない手術(全麻・局麻とも)は中止、周術期患者も含め来院患者が激減する。

5月22日に緊急事態宣言が解除されたがすぐには手術ができず、7月1日より4月から手術を再開するも、手術室の体制(手術器具などの問題も含む)から週1例の実施に留まる。手術予定の待機患者が2カ月におよぶことから、8月より週2例の全麻下手術が可能となり、その後2021年3月末まで、ほぼ2例の予定手術を組むことができ、今年度の全麻下手術件数は62例となった。

歯科診療所との連携は順調で、かつ同診療所からの紹介患者の入院化率は、紹介患者数が多いにもかかわらず高率であった。

今年度から新たに退院時カンファレンスへの参加を開始、退院時カンファレンス(多職種連携)参加件数はこの1年間で173件であった。

## 今後の展望と課題

当科の診療の主体は周術期口腔機能管理であるが、今後これに振り分けられた保険点数が削減されることが予想される。したがって経営的な観点を考慮した場合、今後は院外紹介患者の診療への比重を増やしつつ、診療の幅を拡げる必要がある。また、院内の全麻手術症例が増加している現状で、全麻手術患者全員の周術期口腔機能管理を担っているため、就業時間内に診療が終わらない日も多々ある。当科の課題は、診療のボリュームに比して狭小となった診療スペース、ハード面の改善である。





# 各委員會活動



2020年度 活動状況

<遺伝学的検査に関わるルールの整備>

チームメンバー：木野・松本

6月・7月委員会で情報整理(この間、がん遺伝子検査の増加、小児科より新生児染色体検査の相談)

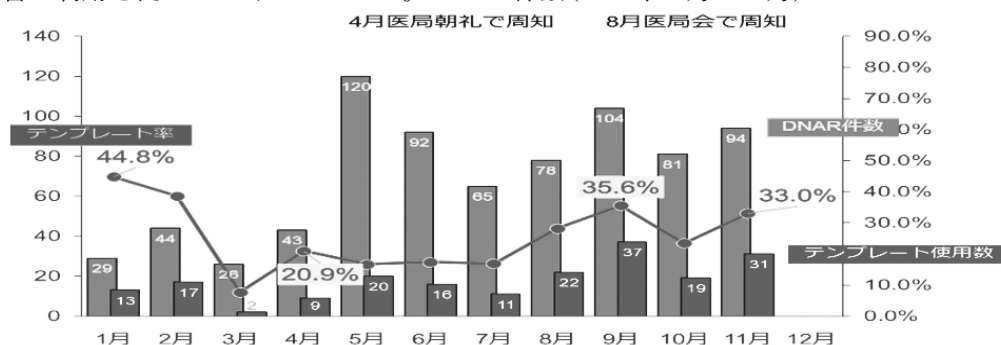
7月より「遺伝学検査に関する倫理」チーム始動

フロー図作成、検査会社・関連部署とのすり合わせを経て「倫理指针对象項目に該当する遺伝学的検査を依頼する手順」、2月・3月委員会で承認⇒3月24日常務委員会承認

<DNAR同意について>

毎月委員会で、同意書数・カルテ重要度「DNAR」登録うち、テンプレート使用件数を把握。全日本民医連倫理委員会より出された「DNARミニマムガイドライン」について委員会で論議。その中で当院の課題として、DNARとコードの混在が挙げられた。

今後カルテの重要度を「コード」に変更(情報委員会へ上申中)し、「DNAR」の場合は、テンプレート・同意書の利用を促していくこととした。DNAR件数(2020年1月～11月)



<時間外倫理カンファレンス>

チームメンバー：松廣・渡邊・川畑

7月委員会にて、委員より、当直帯での倫理的な判断について問題提起された。時間外においても、倫理委員が参加しなくとも、限られたメンバーが集まって倫理カンファレンスを開催する枠組み作成に着手した。非常勤医師を含む当直医をメンバーとすること、翌診療日には、主治医らによる、再度の倫理カンファレンスを行うこと、等を盛り込んだ手順を作成し、12月管理者会議で周知を行った。

<倫理カンファレンスの質向上取り組み・倫理コンサルテーション研修伝達>

病院全体で倫理カンファレンスを定着させることと同時に、1回ごとのカンファレンスの質を高めることが重要である。そこで、進行役が学習し、経験を共有できる場を設ける目的で模擬倫理カンファレンスを年間定期開催した。8月11月2月の計3回開催し、延べ55名の職員が参加した。各回では、MPQC4分割に対する疑問について感想が出されるなど、今後のカンファレンスに活かすことのできる取り組みとなった。

- ① 8/19 15名 誤嚥覚悟で飲食を希望する患者の事例
- ② 11/18 17名 輸血を拒否する患者の事例
- ③ 2/17 23名 呼吸器装着で家族の意見が対立している事例

<院外研修>E-FIELD参加

参加者：藤本翼医師・松田友彦医師・松本薬剤師・田中

日時：11月23日(月)9:00-18:00

<倫理審査>

委員会月	部署	責任者	研究など名称
4月委員会	地域連携室	出口係長	がん相談支援センター利用者のアンケート調査
	サポートセンター	野田師長	日本看護学校看護管理学会集 抄録「地域と連携した病床管理を構築する」
5月委員会	医局	大矢亮医師	多施設共同研究 臨床研究「先天性GPI欠損症をはじめとする先天性糖鎖異常症の診断のためのバイオマーカーの探索研究と病態解析」
8月委員会	CWHCセンター	奈良次長	新NICU/病児室への監視カメラ設置について
9月委員会	健診科	宅田課長	人間ドック学会
	HPH	鈴木	腰痛に関する調査
10月委員会	HPH	鈴木	遺伝子関連情報取り扱いアンケート
	小児科	藤井医師	染色体検査 説明同意書
	CWHCセンター	林師長	無痛分娩に関する満足度アンケート
	CWHCセンター	林師長	職員分娩の満足度実態調査アンケート
	産婦人科	小川医師	若年女性に発症した卵管捻転に対して腹腔鏡下卵管切除術を施行した1例
	消化器センター	田村師長	学会への発表に関する承諾文を現在の承諾書に追加
	泌尿器科	松村医師	尿路性器治療における多施設後ろ向き研究
緩和ケア	坂本英代医師	緩和ケア病棟入棟申し込みをしていた患者が肺結核であった3症例	

## <倫理カンファレンス件数>

倫理カンファレンス：10件 周術期センターより依頼：10件 計：20件

## 2021年度 活動予定

- ①倫理カンファレンスの質向上・件数の増加を目指す。  
開催前チェックリスト活用し、治療方針・倫理的検討、何を検討するのかを明確にする。  
開催を呼びかけるアナウンス。
- ②DNARガイドライン、カルテ記載ルールの周知。
- ③模擬倫理カンファレンス企画 ファシリテーターを増やす、時間外カンファの対応力も上げる。
- ④意思決定に関する学習会開催(2020年度からの継続課題)

# 医療安全対策委員会

## 2020年度 活動状況

重大課題：医療介護の2つの柱を実現するために『医療安全管理体制の確立を促進し、安心、安全、信頼の医療を提供』できるよう支援する

スローガン：患者・職員を守る 『記憶』より『記録』に残す 安全文化

### ①質改善の取り組み

- ・転倒転落 全体の件数と骨折事例のカウント、現状把握→データ収集と当該部署へのヒヤリングを行った  
転倒転落566件(2019年度425件)、骨折17件(2019年度11件)、頭部外傷2件。転倒転落の総数は、昨年より140件以上、上回っている。骨折は6件増及び頭部外傷2件で同じであった。全体件数に占める割合は19.7%。全日本民医連QIベンチマークの転倒転落で比較すると中央値より高かった。12月に硬膜下血腫によりレベル5の事象発生により、転倒転落初期対応フローシートを作成し実施。2021年度は転倒転落件数増加であり高齢者委員会と共同にて対策課題として取り組むとする
- ・ヒヤリハット3,000件/年、GoodJob150件/年目標→ヒヤリハット2,869件(2019年度2,851件)、Goodjob120件(2019年度110件)、昨年度より報告数は若干増加した。医師報告割合は5%(2019年度6.5%)と減少した。
- ・オカレンス事例や影響度の高い事例の振り返り→振り返り件：17件、周術期センターと一緒にカンファレンスを実施する事で、追跡を可能としている。
- ・医療安全管理室メンバーのラウンド→Covid-19対策により集団でのラウンドを控え、MRでのラウンド実施。医療安全管理室メンバーのラウンドは、MICU開設に伴って実施し提言を出した(2回)。ラウンド人数を検討し来年度も実施する。
- ・QMS活動のサポート→全職場からのヒヤリハット報告事例報告ができた。学習会も毎回の会議で実施しQMS委員の医療安全知識をつける一助となった。特に事務部門のヒヤリハット事例の学習を実施した。
- ・医師への学習会提供：12月にCVCマニュアル改訂し、CVC指導医レクチャーを2回開催(25名CVC指導医認定)
- ・研修医への医療安全の意識の向上への支援→研修医の医療安全担当者に医師部門からのヒヤリハットの情報提供を行った。研修医会議での共有に繋げた
- ・誤接続コネクタの切り替え→RMで麻酔分野と経腸栄養分野を担当した。経腸栄養分野は業者と共同で説明会実施(18回開催)し参加者が職場でレクチャーを実施した。主任がマネジメントをしてスムーズな導入を目指した。経腸栄養接続についての手順動画を作成しイントラネットに掲載実施。麻酔分野は、2019年3月で切り替え実施済。
- ・ICLS委員会事務局会議へ参加し共同で蘇生処置の質向上を図る取り組み：Drハート時の記録の情報交換を実施。挿管時のディスポスタイレット変更提案があり、金属スタイレットに切り替え、管理手順を作成した。使用回数管理は安全管理室で実施とした。

### ②研修・教育

『考える職員づくり』を目標に、全職員対象に以下の研修を行った。

前期：『窒息冤罪はなぜおきたのか』(Web)98%、後期：e-ラーニング『患者誤認』『医療ガス安全』受講率88%

法人医療安全大会はCovid-19感染にて中止、各事業所のCovid-19感染対策の取り組みを動画にて報告  
医師医療安全大会(3/13)：33名医師参加(総合病院医師28名、Web参加含む)

学習の提供：看護部門1～3年目、看護助手研修の講義

メディエーター研修についてはCovid-19の影響にて近畿地協開催無し(厚生労働省も対面式が基本としている)

暴言暴力の院内学習：取り組みが出来なかった

医療ハンドブックの改訂作業を開始

医師医療安全管理者研修：副病院長2名受講終了

医薬品関連学習会：1回開催

医療機器学習会：1回開催 eラーニングでの受講(受講率70.4%)

医療機器研修会：13回 128名参加

診療放射線安全学習会：1回/年 被ばくに関する学習をeラーニングでの受講(受講率44.7%)

呼吸器ケア認定制度：Covid-19感染対策にて未開催

医療安全管理者研修：日本看護協会(平井、西端、谷口、小池、谷)

国際医療リスクマネジメント学会：不参加

医療事故紛争対応研究会 近畿セミナー：不参加

医療安全に関するシンポジウム：不参加

医療の質安全学会：不参加

大阪民医連学術運動交流集会発表：なし

### ③定期フォロー

院内死亡事故事例のモニタリング：665件

Drハートのモニタリング：33件

画像要追跡所見フォロー：488件

相談業務：63件

医療安全地域連携加算に関する取り組み(I-I連携：ベルランド総合病院(2月)西淀病院(1月)、I-II連携：大仙病院(-)堺山口病院(-)今年度より開始：高石加茂病院(2月) Covid-19対策にて紙面とWebにて開催

日常ラウンド：ヒヤリハット事象時にヒヤリングと共に現場確認を行った

医療安全分野のニュースの発行：16件 デジタルサイネージを見て情報収集実施

### 【医薬品安全】

<総括>

- ・持参薬のPJを立ち上げ実施、改善をおこなった。
- ・期限切れ薬剤管理で期限の見える化を実施。
- ・ハイリスク薬及び麻薬の適正管理を実施。
- ・ポリファーマシー対策を実施し改善に取り組んだ。(継続的に実施する)
- ・医薬品に関する学習会は、コロナ影響にて病棟開催であったが難しかった。

### 【医療機器安全】

「2020年度振り返り」

1. ～継続～人工呼吸器ラウンド・MEニュース・機器点検・院内学習会  
機器の保守点検のスケジュール化が実施できた。  
呼吸器ケア認定はCovid感染対策にて実施できなかった。
2. 医療安全と一緒に事象からの調査、改善対策を実施。  
ヒヤリハットからの改善を実施できた1年であった。  
(機器ラウンド時にカルテ記載と注意喚起を実施し、在宅患者の呼吸器機器にも介入を実施できた。)  
good job報告の件数増加も2件から6件に微増。

### 【医療放射線安全】

1. 医療放射線安全管理責任査をの配置と届け出を実施。
2. 医療放射線の利用に関する安全研修を実施。(eラーニングにて 受講率44.7%)
3. 放射線の被ばく管理に関するデータと資料作成及び患者への説明用紙を作成。

## 2021年度 活動予定

スローガン

### ①質改善の取り組み

1. 転倒転落のアセスメント及び対策の現状把握 3b以上の件数を減少させる

2. ヒヤリハット報告の分析を医療安全管理室会議で行う 目標 1 件/月 合計12回
3. 法的に耐えうるカルテ記載(記録)
4. 患者誤認対策
5. 医療安全HAND BOOK改訂
6. 術前後、振り返りなどの他職種でのカンファレンス定着

## ②研修、教育

1. 心理的安全性とSafety-II、good jobの理解を深める

# 安全衛生委員会

## 2020年度 活動状況

### 1. 疾病別新規発生状況(診断書、妊娠証明)

新規の診断書発生では、精神疾患系29件、筋骨格筋系28件、婦人科13件、一般疾患29件(休業94件と制限勤務13件) 合計107件、妊娠証明15件 一般疾患、妊娠証明確認は通年より減少した。

毎月新規発生、継続者についての報告を実施し、対応が必要なものについては面談依頼をおこなった。

### 2. 職場ラウンドを実施し、改善が必要があれば検討を実施。

4. 5. 6. 8. 9. 2月はコロナの感染状況を鑑み、ラウンドは中止とした。7月：12階病棟 9月：組織健診科 10月：サポートセンター、がん相談センター 11月：5階フロアー 12月：病理検査室、手術室 1月：歯科口腔外科、検査室 薬局 3月：14階病棟

### 3. 針刺し事故報告を受け、情報共有をおこなった。

針刺し発生数36件、内医師13件、看護師20件、その他 3 件 HCV追跡対応 2 件

### 4. 労災報告では、通勤 8 件、業務14件(内 7 件コロナ感染症)であった。

### 5. 職員健康診断の100%受診を目指し取り組み、対象者841名中全員期日内に終了となった。健診結果判定後に要医療以上と出た人295名(35%)の内60名(20%)のみ精査受診済との報告に留まった。

### 6. 入職時に母子手帳の確認も実施し、定期ワクチン接種に取り組んだ。

### 7. 長時間勤務者について、名簿で確認の上、法人委員会へ面談依頼をおこなった。

## 2021年度 活動予定

### 1. 疾患別発生状況(診断書)については、毎月新規発生、継続者についての報告をおこない、対応が必要なものについては産業医、産業保健師と連携を図っていく。

### 2. 職場ラウンドを実施し、必要な点についてはすばやく改善していく。

### 3. 血液暴露事故報告を受け、情報共有し、必要があれば関連委員会等と協力し改善提案をおこなう。

### 4. 職員健康診断の100%受診を目指し、要医療判定者には2次精査受診促進の取り組みをおこなう。

### 5. 長時間勤務者について名簿で確認の上、法人委員会への面談依頼をおこなう。

### 6. HB、4種感染症抗体価、予防接種歴について、派遣職員、研修医等についても確認を実施していく。

### 7. ストレスチェックの結果を踏まえて、職場長対象の学習会を開催していく。

# 災害対策委員会

## 2020年度 活動状況

### 【レジリエンス認証の更新】

- ・2018年に新規受審したレジリエンス認証(社会全体のレジリエンスの向上を進めるという観点で国土強靱化に貢献する団体を認証する制度)において、BCPへの取り組みの継続性が認められ、認証資格の更新を果たすことが出来た

### 【BCPIに関する職員研修】

- ・COVID-19対応により従来のような集合研修やワーク、模擬訓練を開催することが出来なかったため、研修動画を作成してeラーニングシステムに掲載し、独自学習を促した・研修内容は「大規模災害発生に備え、必ず理解しておくべき事」とし、職員の参集基準や参集場所、病院の周辺環境などに関する情報を盛り込んだ

### 【管理者向けBCP研修】

- ・病院長交代に伴う管理者体制の変更があった事に基づき、BCP適用時に災害対策本部及び診療調整部門の担当となる管理者を対象に、大規模災害発生を想定した動画による机上訓練を実施した・当院のBCM

(Business Continuity Management)を再確認すると共に、現状のBCPについて課題の共有を図った

#### 【消防訓練の実施及び防災体制の更新】

- ・訓練会場がコロナワクチン接種対応のため行えず、自衛消防隊員だけによる消防訓練を実施した
- ・屋外消火栓について、実際に放水する点検を行った(初めての試み)
- ・院内の消防設備について動画での撮影・解説を行った。動画は職員の誰もが視聴しやすいよう、イントラサイトの災害対策専用ページにアップロードした
- ・防災管理者を更新した

#### 2021年度 活動予定

- ・事業継続上ボトルネックと考えられる事象(エレベーターの利用・院内外の情報管理・患者トリアージ)について具体的な改善策を立案する
- ・各部署のBCPへの取り組み状況や業務継続上の課題を把握し、組織全体の課題と絡めて改善策を検討する
- ・大規模災害発生を想定し、病院に来院した患者や患者家族、地域住民をスピーディに振り分ける「トリアージ訓練」を実施する
- ・e-ラーニングやデジタルサイネージ、イントラネット等を活用し、職員に対する防災やBCP教育を強化する

## 情報管理委員会

#### 2020年度 活動状況

当委員会は、院内で取り扱われる各種の情報について、その運用が円滑に行われている事をモニタリングすると共に、課題を抽出して上位委員会へ改善を提言するため2020年7月に新設された

#### 【イントラサイトの整備】

- ・HIS(Hospital Information System)系ネットワーク上に設置された、法人全体での情報共有システム「イントラサイト」について、ページデザインや構成を大幅にリニューアルした。アイコンを活用し、必要な情報がどこにあるか一目で分かるよう工夫したことにより、ユーザーフレンドリーな画面デザインにすることが出来た・イントラサイトの主な更新担当者に対して専用ソフトを付与。更新の手間を軽減出来る他、ビジュアル面での改善も容易に行えるようになった事で、更新頻度が上がった

#### 【ホームページサーバーのhttps化】

- ・総合病院のホームページを設置しているサーバのプロトコルがhttpのままだったが、サイトの安全性を強化するため、SSLサーバ証明による暗号化通信(https)に対応出来るようにした

#### 【イントラサイトのサーバ更改】

- ・イントラページを運用しているサーバの更改を行ったこれに伴い、長期に更新されていないコンテンツや、更新担当者が不明になっている部署・委員会等を洗い出し、イントラページ内の管理のスリム化を図った

#### 【病院広報チームの発足】

- ・病院ホームページに掲載するコンテンツについて、新たな視点やアイデアを取り入れるため、院内の若手スタッフから「院内広報チーム」を募った

#### 2021年度 活動予定

- ・個人情報保護の重要性、及び情報漏洩のリスクについて、デジタルサイネージやeラーニングシステムを活用した職員教育を強化する・現行のイントラサイトを「院内の情報発信基地」とすると共に、職員の帰属意識を高めるインターナルブランディングの拠点となるよう、既存コンテンツの充実、及び職員に対するイントラサイトの利用促進を図る
- ・「医療情報システム安全管理ガイドライン」に沿った適切な運用管理が出来るよう、課題の抽出と改善策の立案に継続して取り組む

# クリティカルパス委員会

## 2020年度 活動状況

2020年度パス委員会は二つの目標を設定し活動を行なった。下記にて報告を行う。

### 1. 新規パス作成(10パス) を行いパス適用率の向上を目指す

2020年度新規パスの作成は26パスであった。(表1参照)

パスの適用率は62.3%となり前年度に比べ2.4%上昇した。また、2020年度予定入院のパスの適用率は87.9%となり年度比+2.6%、緊急入院のパス適用率は40.6%となり前年比+8.3%となった。(表2参照)

表1: 2020年度新規パス一覧

稼働日	パス番号	パス名	診療科	稼働日	パス番号	パス名	診療科
2020/4/6	320005	みぞ肺がん：胸腔鏡下肺切除術	呼吸器外科	2020/11/2	40140	整形外科手術：腰椎麻酔（P.M）（3日）：糖尿病	整形外科
2020/4/6	320006	ひだり肺がん：胸腔鏡下肺切除術	呼吸器外科	2020/11/2	40141	整形外科手術：腰椎麻酔（P.M）（3日）：パーキンソン病	整形外科
2020/8/26	10219	糖尿病教育入院 新規	内科	2020/11/2	40142	整形外科手術：腰椎麻酔（P.M）（3日）：糖尿病とパーキンソン病併用	整形外科
2020/10/30	350051	抜歯（全身麻酔）パス	歯科口腔外科	2020/11/2	40143	大腿骨頭部/転子部骨折：糖尿病	整形外科
2020/11/2	40131	整形外科手術：全身麻酔（A.M）（3日）：糖尿病	整形外科	2020/11/2	40144	大腿骨頭部/転子部骨折：パーキンソン病	整形外科
2020/11/2	40132	整形外科手術：全身麻酔（A.M）（3日）：パーキンソン病	整形外科	2020/11/2	40145	大腿骨頭部/転子部骨折：糖尿病とパーキンソン病併用	整形外科
2020/11/2	40133	整形外科手術：全身麻酔（A.M）（3日）：糖尿病とパーキンソン病併用	整形外科	2020/11/2	40146	みぞ 大腿骨頭部・転子部骨折：糖尿病	整形外科
2020/11/2	40134	整形外科手術：全身麻酔（P.M）（3日）：糖尿病	整形外科	2020/11/2	40147	みぞ 大腿骨頭部・転子部骨折：パーキンソン病	整形外科
2020/11/2	40135	整形外科手術：全身麻酔（P.M）（3日）：パーキンソン病	整形外科	2020/11/2	40148	みぞ 大腿骨頭部・転子部骨折：糖尿病とパーキンソン病併用	整形外科
2020/11/2	40136	整形外科手術：全身麻酔（P.M）（3日）：糖尿病とパーキンソン病併用	整形外科	2020/11/2	40149	ひだり 大腿骨頭部・転子部骨折：糖尿病	整形外科
2020/11/2	40137	整形外科手術：全身麻酔（A.M）（3日）：糖尿病	整形外科	2020/11/2	40150	ひだり 大腿骨頭部・転子部骨折：糖尿病とパーキンソン病	整形外科
2020/11/2	40138	整形外科手術：腰椎麻酔（A.M）（3日）：パーキンソン病	整形外科	2020/11/2	40151	ひだり 大腿骨頭部・転子部骨折：糖尿病とパーキンソン病併用	整形外科
2020/11/2	40139	整形外科手術：腰椎麻酔（A.M）（3日）：糖尿病とパーキンソン病併用	整形外科	2020/12/23	10169	CKD教育入院：（7日）	内科

表2: 2020年度パス適用率

全体		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度比
2020年度	パス適用患者数	479	434	493	578	575	540	580	567	581	464	525	561	6377	2.5%
	退院患者数	810	737	808	941	937	864	930	856	929	749	781	893	10235	
	パス適用率 (%)	59.1%	58.9%	61.0%	61.4%	61.4%	62.5%	62.4%	66.2%	62.5%	61.9%	67.2%	62.8%	62.3%	
2019年度	パス適用患者数	562	598	527	587	540	524	567	533	530	489	540	508	6505	
	退院患者数	995	988	881	923	909	892	869	880	947	848	872	866	10870	
	パス適用率 (%)	56.5%	60.5%	59.8%	63.6%	59.4%	58.7%	65.2%	60.6%	56.0%	57.7%	61.9%	58.7%	59.8%	

予定入院		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度比
2020年度	パス適用患者数	315	247	318	379	365	357	395	384	370	291	342	365	4128	2.6%
	退院患者数	373	275	368	438	418	412	443	422	413	328	390	414	4694	
	パス適用率 (%)	84.5%	89.8%	86.4%	86.5%	87.3%	86.7%	89.2%	91.0%	89.6%	88.7%	87.7%	88.2%	87.9%	
2019年度	パス適用患者数	388	408	391	407	378	361	384	363	380	322	373	343	4498	
	退院患者数	504	501	433	464	439	422	433	415	457	383	432	390	5273	
	パス適用率 (%)	77.0%	81.4%	90.3%	87.7%	86.1%	85.5%	88.7%	87.5%	83.2%	84.1%	86.3%	87.9%	85.3%	

緊急入院		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度比
2020年度	パス適用患者数	164	187	175	199	210	183	185	183	211	173	183	196	2249	8.3%
	退院患者数	437	462	440	503	519	452	487	434	516	421	391	479	5541	
	パス適用率 (%)	37.5%	40.5%	39.8%	39.6%	40.5%	40.5%	38.0%	42.2%	40.9%	41.1%	46.8%	40.9%	40.6%	
2019年度	パス適用患者数	76	88	136	180	162	163	183	170	150	167	167	165	1807	
	退院患者数	495	488	448	459	470	470	436	465	490	464	439	476	5600	
	パス適用率 (%)	15.4%	18.0%	30.4%	39.2%	34.5%	34.7%	42.0%	36.6%	30.6%	36.0%	38.0%	34.7%	32.3%	

### 2. 既存パスの修正、見直し作業を行う

既存パスの修正作業はパス委員、システム担当者を中心に変更作業を行った。変更点は下記の内容であった。(表3参照)

表3: 2020年度パス変更数

変更項目	食事	検査	薬剤	文章	看護計画・看護指示	その他	合計
件数	40	44	86	445	18	35	668

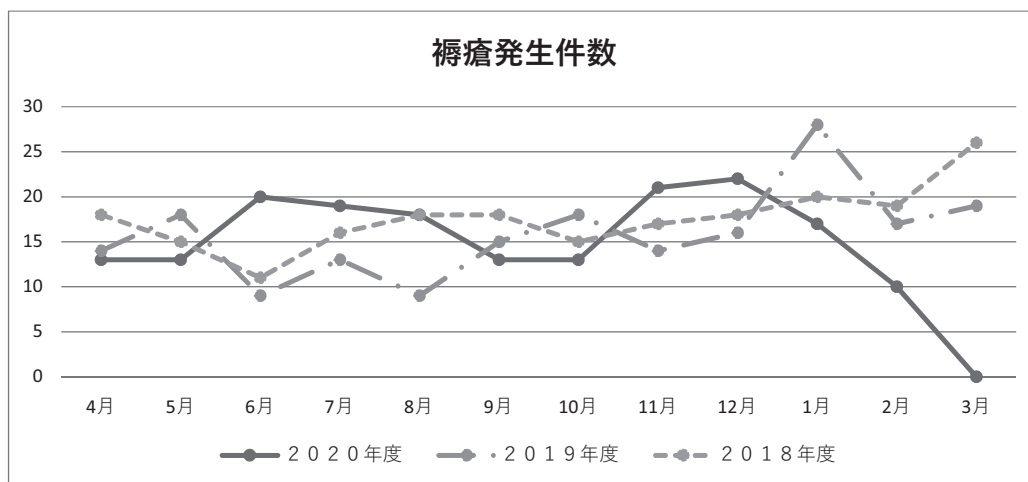
## 2021年度 活動予定

- 新規パス作成を行いパス適用率の向上を目指す
- 既存パスの修正、見直し作業を行う



## 2020年度 活動状況

- 6月：褥瘡診療計画書の入力方法
- 8月：DESIGN-Rと評価管理の入力方法
- 9月：褥瘡理解度チェック  
：創傷被覆材の選択、薬剤の選択
- 10月：ポジショニング  
体圧分散寝具の特徴と選択方法
- 1月：スキン-ケア
- 3月：医療機器関連圧迫創傷



## ○2020年度の目標達成状況

- 会議中止：4月・5月・11月・2月
- 9月：エアーマットのアドバンが契約終了 エアマット病院内管理33台へと変更  
褥瘡理解度チェックの実施
- 1月・2月：クッション購入

会議開催時に学習会を行い、褥瘡理解度チェックで部署の現状把握を行った。昨年開催に比べ、褥瘡処置を選択する部分の点数が上昇しており、褥瘡対策委員から部署への啓蒙の結果と考えられる。褥瘡診療計画書も見入力は減少しており、入力する事の啓蒙は出来ているが不備が見られており引き続き働きかけは必要である。

褥瘡発生に関しては1月までの平均0.11%、2月までの発生件数179人と昨年度と同じ状況で維持している。

COVID-19の影響で病棟運営方法が変わり、日勤のスタッフ数が減少した影響と考えられる。発生数が多い月と病棟へは直接褥瘡対策委員への指導を行い、年始は減少傾向となり昨年度と同じ推移となったと考えられる。しかし、全国平均の発生率0.07%と比較すると、当院の褥瘡発生率は高いため、予防への働きかけが不十分と考える。ポジショニングクッションの購入を年度末に行っており、次年度は発生件数(発生率)の減少に繋げていけるように予防に対して直接的な働きかけを行っていく。

## 2021年度 活動予定

- 褥瘡診療計画書の必要性を理解し、入力不備が減少する
- 褥瘡発生件数(発生率)の減少  
年間総数190人未満(昨年度208人)、発生率は0.1%未満

## ◆◆◆◆◆ NST・給食委員会 ◆◆◆◆◆

### 2020年度 活動状況

#### NST

- ・病院全体としての目標件数：300件/月 未達成は3回(4月299、11月296、1月284)
- ・前年度にNST回診算定要件について見直し、周知を行った。それにより、前年度NST回診非算定件数は203件であったが、今年度は102件と減少した。損失は20,400点。
- ・学習会は採用中の栄養剤について委員会内でのみ、2回の開催となった。
- ・新規栄養剤(アイソカルクリア)を採用。それに伴いYHフローレを採用中止。

#### 給食

- ・給食システム変更に伴い、調整や病棟への周知を委員会メンバーに担って頂いた。  
朝食絶食依頼のメールに関しては、まだ間違いが見られるため、継続して委員会内で発信していく。
- ・クォーター食(緩和ケアの方のみ)の試験運用を開始。
- ・食事、栄養剤の写真や特徴を電子カルテより閲覧できるよう変更。今後紙媒体は廃止。

### 2021年度 活動予定

#### NST

- ・NST目標件数に達していない事例が数件あったため、積極的にNST介入を行い目標達成につなげる。
- ・部署によっては、NST有資格者が少なく、回診参加が難しい病棟もあるが、引き続き現在の算定要件に基づいたNSTを実施・周知していく。
- ・新人教育、有資格者の質の向上を図るために、学習会の開催方法・内容・回数を検討していく。
- ・新規栄養剤採用後の評価を行い、次回の栄養剤採用につなげる。
- ・当院は教育施設になっているため、資格取得がしやすいためNST加算算定を積極的に行っていく。

#### 給食

- ・給食システム変更後の調整は現在も続いているため、引き続き変更・調整があれば周知していく。  
朝食絶食依頼の間違いはヒヤリハットにもつながり兼ねないため、強化して行っていく。
- ・クォーター食開始後の評価を行っていく。
- ・次年度も給食やイベントに関する様々な声をあげて頂き、活発な討論が出来る場としていきたい。

## ◆◆◆◆◆ 呼吸ケア委員会 ◆◆◆◆◆

### 2020年度 活動状況

#### ○RCTラウンド

ラウンド回数39回 実患者数141人 延べ患者数183人

呼吸ケアチーム加算 算定人数98人 算定患者数108件(150点/件)

ラウンド対象者のIPPV人数70名 NPPV人数107名

担当者不在などの影響でラウンド中止週が増え(祝日などによる中止も含み13週中止)、延べ患者数は前年度比-15%となったが、算定患者数は増加している。これは前年度はラウンド対象患者が少なかったためICUなどの算定対象外患者のラウンドを増やしていたことが影響している。ICUの勤務体制が担当者不在によるラウンド中止に直結するため、ラウンド体制の確保が今後の課題である。

#### ○委員会活動

昨年度までのグループに分けた(安全管理、標準化、職員教育グループ)活動から、月別のテーマを掲げた委員会活動を行った。8月より委員会を再開し、下記の内容を委員会内で学習会形式も用いながら委員へ伝達・共有した。

各部署の委員会出席率：73%

#### 安全管理

- ・サーボairの運用・COVID-19時の対応について(8月)
- ・成人ネーザルハイフローAIRVO 2 導入に向けて(12月)

#### 自己研鑽

- ・委員会内学習会「呼吸数測ってますか」講師：原之園集中ケア認定看護師(9月)
- ・人工呼吸器における加温加湿について(1月)

## 標準化

- ・人工呼吸器回路閉塞を防ぐために(10月)
- ・成人用ネーザルハイフローAIRVO 2 導入の経過報告と追加情報(2月)

## 職員教育

- ・COVID-19患者の呼吸ケアの原則(11月)

## 2021年度 活動予定

### ○呼吸ケア委員会の運営

委員会規定に基づき、院内の呼吸ケアにおける安全管理、標準化、職員教育、自己研鑽の観点に基づく運営とする。

### ○RCTラウンド

現状通り毎週木曜15時より週1回のRCTラウンドを継続する。対象患者は、呼吸ケアチーム加算算定患者に加え、HCU入室患者とする。小児科患者に関しては、スマイルケア入院以外の患者に限定する。また、呼吸ケア委員会担当者を中心とした各部署のスタッフから依頼を受けた患者に関しては、呼吸チーム加算算定の有無は問わずにラウンドを検討する。

ラウンド時は人工呼吸器の離脱に向けた人工呼吸器設定の変更や人工呼吸器の適切な管理のための援助及び助言を行う。また、離床に向けた援助及び助言、呼吸器に関連した医療関連機器圧迫創傷(以下MDRPU)予防への援助及び助言を中心に行い、対象患者が快適に人工呼吸器管理を受けることができ、速やかに離脱できることを目標とする。

RCTラウンドにおける活動成果を示すためにはデータの集積が不可欠であり、来年度も継続して人工呼吸管理中の体位管理やMDRPUの現状を把握する。また、MDRPUに関しては、皮膚排泄ケア認定看護師との連携を積極的に図る。

## 輸血療法委員会

## 2020年度 活動状況

ヒヤリハット報告とその対応策。輸血副作用報告とその把握。血液製剤廃棄を意識して、その廃棄率の低下に努めた。

今年度も輸血による大きな副作用やトラブルなどは無く、不適正な使用も無かった。

7月より、T&Sのオーダー時は交差試験用採血が前日に出るように変更した。意義のある不規則性抗体が検出された時は輸血検査室で”輸血関連情報カード”を発行して患者様に説明する事にした。9月より、輸血後感染チェック採血は推奨しない事にした。オペ室へのアルブミンの運用を変更した。

2020年度の購入金額は約4,720万円の前年より450万円増加している。廃棄率は1.5%と前年2.0%より減少している。

【2020年度年間合計】 パック数

購 入	RBC	1,631
	FFP	269
	PC	99
	パック数合計	1,999
	購入金額	¥47,256,298

平均廃棄率  
1.5%

パック数

廃 棄	RBC	16
	FFP	10
	PC	0
	パック数合計	26
	廃棄金額	¥527,538

## 2021年度 活動予定

引き続き、安全な輸血業務の遂行と血液製剤廃棄の減少に向けた取り組みを続けていく。

臨床輸血看護師中心に輸血の安全教育に取り組みたい。

## 2020年度 活動状況

法令遵守、業務改善、医療の質、診療記録の質の観点を中心に置き、活動を進める。

### 1. 退院サマリー記載

医師退院サマリー：2019年度下半期開始時より診療マネジメント会議へ発信、対策を強化、記載率月平均97.0%となり前年比1.3ポイント上昇した。(2019年度記載率月平均95.7%) 7日以内記載率は月平均80.4%と前年度より4.4ポイント上昇。研修医の記載率が低下傾向にあったため2019年度より医局事務課協力を得て研修医の記載率向上を目指す取り組みを行っている。今後も医局事務の協力を得ながら早期記載率上昇を目指す。

看護サマリー：毎月未記載リストを病棟ごとに作成し月1回師長会議へ記載率を報告、毎月の記載率は90%前後を推移している。

### 2. 診療録監査

○量的監査：重要度登録状況(問題点リストor入院時サマリー、病状説明、カンファレンス)、職業歴記載状況を、毎月診療マネジメント会議で報告。重要度登録状況においては、すべての項目が上昇傾向にあり今年度もモニタリングを行っていく。

○質的監査：昨年度、監査報告フォーマットを統一(診療部門以外)、2020年度も各部門年2回の監査を実施予定であったが上半期はCOVIDの影響もあり関係部門への周知が遅れたため看護部・リハビリテーション科のみ2回実施できた。

看護部37項目、リハビリテーション科30項目、そのうち、標準項目として設定している、看護部3項目、リハビリテーション科3項目、を分析した。

今年度の監査結果を比較した結果、看護部は上昇、リハビリテーション科も上昇傾向となっている。両部門とも対策・改善に取り組む体制が整っており記録に関する一定の周知が出来ていると考えている。

今後も監査結果を踏まえ必要であれば対策を検討、改善を図る促しを委員会として行う。

### 3. 文書管理ワーキンググループの発足

現在、病院内で発行されている文書類は、各部門で作成されており、書式が統一されていない、必要な項目が記載されていない、保存方法、など、様々な課題がある中で運用されている。文書の中でも同意書については、医療安全管理上も重要となるもので有り、一元的な管理が必要と考え診療情報委員会のもとに文書類の整備を行いたいと考えワーキングチームを結成し一定の整理を行う事とした。

### 4. 診療情報データの活用

知識の森にQI指標を掲示、その他病院に関する指標等を掲載した。

(インシデント報告件数、2020年度DPC医療機関別係数を掲載)

### 5. 拡大診療情報委員会

必要に応じて開催する→今年度は開催せず。

### 6. カルテ記載の質向上を目指し、昨年度に引き続き取り組みを行う。

学習会の開催(年1回以上)→今年度は実施せず。

カルテ記載の注意点について各部門へ発信した。

### 7. 診療情報委員会ニュース

今年度はサイネージでの発信のみ行った。(タブ登録の重要性)

## 2021年度 活動予定

法令遵守、業務改善、医療の質、診療記録の質の観点を中心に置き、活動を進める。

### 1. 退院サマリー記載

医師サマリーは退院後14日以内100%、7日以内90%記載完了を目指し、看護サマリーは退院後14日以内90%以上の記載を目指す。医師・看護サマリー共に、全退院患者100%記載完了まで追跡を行う。

### 2. 診療録監査

量的監査：同意書や入院診療計画書などの帳票の整備、監査、重要度項目の活用を推進する。

昨年度実施した監査項目に対し改善されているか再監査を行う。

量的監査の仕組みを構築する。

質的監査：各部門年2回実施する。

診療部門の監査について、当委員会でも別途実施する。

重要度登録の記載内容監査を行う。

### 3. 診療情報データの活用

QI活動周知のために各部門の指標を作成し知識の森へ掲示、QI指標を活用した業務の改善・見直しを行い、医療の質向上を目指す。

QIセミナーへ他職種の参加を促す。

その他、病院に関係する指標等を随時知識の森へ掲載していく。

### 4. 拡大診療情報委員会

必要に応じて開催する

### 5. カルテ記載の質向上を目指し、取り組みを行う。

学習会の開催(年1回以上)

### 6. 診療情報委員会ニュース

当委員会からの周知事項等を定期的に発行する。

### 7. PDCAサイクルを回し進捗をモニターする。

### 8. 文書管理ワーキングチームと随時情報共有し円滑に作業が行えるようサポートする。

## ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 外 来 診 療 委 員 会 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

### 2020年度 活動状況

#### 会議開催

- ・毎月第3火曜日を定例に、2020年4月から全11回開催。
- ・毎月の外来動態より予算を確認
- ・各外来部門より課題や共有事項を報告、議論

#### 収入報告

実患者数：5,659人(月平均) ※透析除く

透析含む：5,897人(月平均)

2020年度の総収入は予算比96%(透析除く)。新型コロナウイルスの影響で4月、5月、6月の予算未達の影響が大きいと考えられる。

#### 各科の動向

麻酔科外来 27番エリアで開設

CT入替

妊娠糖尿病外来開設準備

COVID職員ワクチン接種

職員家族にインフルエンザ予防接種

上記動向を確認した。

### 2021年度 活動予定

患者数増、患者満足度の向上、収益増を目標として活動する。

各科で具体的対策を検討し、総括していく。

## ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ コー ディ ング 委 員 会 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

### 2020年度 活動状況

#### \* 活動実績

偶数月第4木曜日 PM3:00~4:00 2020年6月~2021年2月まで5回開催

#### \* 症例検討実績

症例 内科6件・循環器内科1件

#### \* 検証実績

- ・敗血症の件数推移、SOFAスコアの点数状況
- ・うっ血性心不全の心不全の件数推移、BM、医療資源の比較など
- ・ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症のBM
- ・腎生検とコーディングの関連性

#### \* 活動指標

- ・部位不明 詳細不明ICDコード率(10%以上は減点対象)→クリア ※別紙参照
- ・未コード化傷病名の使用割合(2%以上は減点対象)→クリア ※別紙参照

\* 年4回以上は診療部門の医師・薬剤師・請求担当事務・診療情報担当事務を交え、多職種にて症例検討を

開催 することがDPC病院である要件として施設基準に記されている。

コロナの影響により委員会が開催できない時期もあったが、2020年度も、上記基準を満たした症例検討を行うことが出来た。症例検討は、厚労省の「DPC/PDPS傷病名コーディングテキスト」に照らし合わせながら行った。

\*本年度は、エラーチェックシステムを活用した症例検討を行った。

システムにより、医療資源が一目瞭然となり、症例検討をするうえで、大きな助けとなった。

\* girasolを活用することにより、視点を変えた症例検討や、敗血症とSOFAスコア点数の状況、うっ血性心不全(I500)のBMや件数推移などの確認を行えた。

\* 外山委員長より

・詳細不明コート率が年々低下しているのは、評価できる。

・引き続きコーディングの精度を上げるために、委員会としても活動を強化していく必要がある。

## 2021年度 活動予定

### 【役割と目標】

1. 診断群分類の適切なコーディングを行う分析と精度の高いデータベース構築を目指す

2. 標準的な診断群分類決定方法に関する事項の周知徹底と情報共有

委員会の掲げる役割・目的から逸れる事なく運営する。

委員会メンバーのコーディング能力を向上させ、関係職員に学習伝達できる力をつける。委員会の在り方は診療報酬上の要件が変更ない限り要件を満たす運営を行う。

【課題】 引き続き、コーディングの精度をあげるとともに、平準化をすすめる。

【活動方針】 本年度も、引き続き、コーディンエラーチェックシステムやgirasolを活用して、分析や検証を行う。

【年間計画】

4月	総括・方針
6月	症例検討①
8月	症例検討②
10月	症例検討③
12月	症例検討④
2月	2021年度総括・2022年度方針

# 高齢者医療対策推進委員会

## 2020年度 活動状況

### 1. 課題、目標

- ・せん妄ハイリスクケア加算の算定開始
- ・医療安全との連携強化(まずは転倒転落事例のアセスメント)
- ・外科系 OPE後の異常時指示変更(パス委員会と協力)
- ・看護部、高齢者委員会と連携を図り情報の共有を行う
- ・医師体制の強化(複数配置)
- ・事務局機能の確立
- ・訪看、在宅、老健その他事業所との事業連携(学習会、その他)

### 2. 活動

①医療の質への貢献 ガイドラインの策定～普及

- ・2019年に策定した「せん妄ケアガイドライン」の普及、病棟での実践
- ・外科系/整形外科OPE後の異常時指示を推奨薬剤に変更(パス委員会と連携)  
2021年4月15日～稼働開始
- ・認知症サポート医研修を終了したスタッフ医が加わり2名体制となる。

②学習・研修

- ・コロナの影響で集合形式で研修会は開催できなかった。
- ・全ての病棟で個別レクチャーを実施『せん妄時の異常時指示の使い分け』  
薬剤師から病棟スタッフを対象にレクチャー、各病棟、ER、ICUで実施。

③医療安全との連携

- ・品質管理部管理師長が事務局委員となり、個別症例カンファレンス(転倒・転落 3Bクラス以上)計2回

実施。

- ・事例検討の継続、患者家族教育に取り組むこと、QMS委員会との協力

#### ④加算算定状況

- ・せん妄ハイリスクケア加算(100点)  
今年から新設された。

病棟ごとの算定状況を委員会でモニタリングし、リンクナース等で現場にフィードバック

#### ⑤オレンジカフェ

- ・コロナの影響から、従来形式の定例会は開催せず。
- ・参加歴のある方々およそ50名弱にお便りを夏と冬の2度送付。
- ・次年度はコロナ過での開催のあり方を検討し、実践する。

### 2021年度 活動予定

- ・全職員を対象とした研修会の実施。  
ユマニチュード学習会 松瀬医師
- ・オレンジリング研修への参加
- ・2019年に策定した「せん妄ケアガイドライン」の普及の周知学習
- ・転倒転落症例検討の継続と内容の現場へのフィードバック。  
介入して良かった点/問題点などを整理し、現場の医療室の向上につなげる。
- ・リンクナース会議で事務局委員を講師とした研修会の実施(毎月持ち回り)。参加したスタッフが持ち帰って各病棟でミニ学習会を実施する。
- ・認知症ケアラウンドの内容・役割の整理、見直しを図る。

## ◆◆◆◆◆◆ 身体拘束ゼロ委員会 ◆◆◆◆◆◆

### 2020年度 活動状況

#### ●身体拘束ラウンドの実施

10月20日、11月17日、12月22日、1月26日、2月16日

今年度は、身体拘束に対する意識啓発、各病棟で拘束患者の状況把握する方法を確認しました。

ラウンド結果から、リハビリ目的の10階病棟での拘束が多いことが判明しました。

また、拘束のオーダーない診療科も判明。入力マニュアルを再度、配布しました。

2月のラウンドにて、各病棟での拘束患者さまの確認方法を調査。今後、とりくみの共有をはかります。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、患者家族が病棟内に入ることができないため、同意書の記入もれが多くありました。ご家族への電話の際に確認、カルテ記載などを残すことを確認しました。

2020年度	HCU	ICU	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	合計
10月	1	3	0	0	0	0	5	3	0	1	0	13
11月	3	3	0	0	1	0	5	2	3	6	0	23
12月	3	1	0	1	4	0	8	1	2	2	0	22
1月	0	3	0	0	0	0	6	5	3	3	0	20
2月	0	2	0	0	1	1	5	2	2	0	0	13
合計	7	12	0	1	6	1	29	13	10	12	0	91

#### ●身体拘束ゼロに向けたとりくみ

これまでの身体拘束の考え方を考えるためにも学習をすすめることを確認しました。

股ベルトの入力もれが多く、「拘束具かどうか」など、考え方のずれがあるため、明確な基準が必要。

#### ●学習会の実施

新型コロナ禍の中で、セーフティプラスを利用した学習会を2回実施。

学びを深めるため、金沢大学付属病院の取り組み(DVD、ダイジェスト版)を視聴することを確認しました。

小林委員がリハビリスタッフ向けに行なう学習会を看護担当者にも行なうことを確認しました。

## 2021年度 活動予定

### ●今年度の活動目標

今年度は学習会の充実をはかり、「身体拘束とは」を病院全体で考えていただく1年とします。

当院では本来、体を動かす回復期リハビリ病棟での拘束が多く、「安全のための拘束」、「拘束具を外す基準」、「ケアの工夫」など、学習を通して、深めていきます。

昨年も配布した「身体拘束について(金沢大学付属病院作成)」の冊子を病棟に再度配布し、新しいスタッフにもお渡しします。

### ●委員の変更

富澤看護師長 → 井上看護師長

### ●身体拘束ラウンドの実施

昨年度に引き続き、病棟ラウンドを行ない、拘束患者さまの把握、意識の啓蒙につとめます。

現在、患者把握の方法、各病棟によって異なる報告用紙などの統一するなど、をすすめていきます。

### ●学習会の実施

金沢大学付属病院の身体拘束ゼロのとりくみなど、外部講師を招いての学習会を検討します。

小林委員を中心に事務局、担当者会議で定期的に学習会を行ないます。

## がん診療推進委員会

## 2020年度 活動状況

### ■大阪府がん診療拠点病院として大阪府・堺市の部会への参加

・大阪府がん診療連携協議会及び堺市がん診療ネットワーク協議会における、各部会(緩和ケア部会、がん相談支援部会、院内がん登録部会、地域連携パス部会、放射線部会、ゲノム医療部会)に参加し、大阪府下及び堺市地域で連携体制を構築しながら、がん医療の水準向上を図ってきた

(緩和ケア)

・当院開催予定であった、医師等を対象とした緩和ケア研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大の為、中止となった。

・「堺市医療圏の緩和ケアの活性化・連携について(主催：堺市がん診療ネットワーク協議会緩和ケア分科会)」オンラインシンポに、当院の緩和ケア医がシンポジストで参加し、がん地域緩和ケアの活性化に取り組んだ。

(がん検診)

・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い4月～6月の期間、がん検診の受け入れを一時期ストップした。

(施設認定)

・「日本臨床腫瘍薬学会 がん診療病院」の施設認定に向けて準備を進めている

(がん相談支援)

・「両立支援コーディネータ」研修に当院より5名参加し、就労支援の充実化に取り組んだ

### ■院内活動

・院内のがん診療レベル向上とがん難民を無くすことを目的に、8つのワーキンググループ(集学的治療、緩和ケア、病病連携・病診連携、研修・教育、相談支援センター、検診、PDCAサイクル)を設置し、院内のがん診療に関する取り組み状況を報告した。

(集学的治療・標準的治療の提供)

・がんの治療方針を検討する、カンファレンス(カンサーボード)を計52回(毎月1回以上)開催した。

(がんサロン)

・がんサロン(ラパンジィ)は、新型コロナウイルス感染症拡大の為、中止となった。

(研修・教育)

・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、がん薬物療法認定薬剤師研修等多くの外部研修が延期・中止となった。がん治療をサポートするスキルを習得する機会が減少した。

・多職種の職員向けに各部署持ち回りで、がんミニ学習会を開催した(毎月1回)。

## 2021年度 活動予定

・引き続き、大阪府及び堺市主催の、がん診療拠点病院の部会に参加し、がん診療拠点病院として、提起される取り組みに対応していく。

・引き続き、職員向けミニ学習会を、定例開催していく。



- ・医師等を対象とした緩和ケア研修会の自院開催については、感染対策を万全にして開催を目指す。
- ・がん検診受講率アップの取り組みを強化する(日曜ドックに女医&女性技師を配置し、乳がん検診及び子宮がん検診を実施等)
- ・行政から、地域でのがん検診活動や学習会講師等の要請などがあれば積極的に参加し、がんに関する普及啓発に努める
- ・院内に「がん診療拠点病院」整備チームを立ち上げ、がん医療を充実させるための具体策について検討する。



## HPH委員会



### 2020年度 活動状況

4月～6月は感染対策のため中止

#### \* 取り組み

##### ○階段音楽

職員階段促進のために階段アートおよび、階段での音楽再生を継続して実施した。音楽は職員から音楽CDを借用して随時再生している。自身や知り合いの選曲した音楽が鳴っている事で関心を高めて利用の促進をはかる。

##### ○眼の体操

職員の眼精疲労緩和のための眼の体操パワポをサイネージに掲載。

##### ○J-HPHカンファレンス、スプリングセミナーランション上映会

オンライン開催となり後日配信期間があったためランション上映会を院内で開催した。

##### ○ノーリフト講習会

腰痛予防に関する職員アンケートを実施。アンケート回答270件。約4割が腰痛あり。ストレッチ方法を知りたいとの要望もあり。

コロナ禍での開催のため参加者を各病棟1名の看護師に絞って開催。ノーリフト講習の講師資格をもった丸山PTがメイン講師として参加。

##### ○HPH公式キャラクター

HPHを職員に啓蒙するために公式キャラクター【アキラちゃん】を作成。HPHの活動を知ってもらうこと、身近に感じてもらうことを目的とする。今後の広報に使用していく。

##### ○フードバンク

大阪健康福祉短期大学より留学生への食糧日用品提供依頼があり院内と友の会で物品をつのり提供した。

##### ○HPH川柳「NEW WAY」

コロナ禍でのストレスや変化を言葉で表現することでメンタルヘルスケアをはかる取り組みとして共済会と合同で実施。同仁会全体で川柳を募集。入賞者には賞品を贈呈し、入賞作品を院内に複数掲示した。3事業所、30職場から94件の応募あり。

##### ○HPH公式LINE

公式LINEからHPH委員会の活動報告や健康増進につながる情報を毎週発信する。

登録者を増やす課題あり。

##### ○J-HPHホームページへ取り組み掲載

コロナ禍での地域住民を対象とした健康づくり特集へ耳原の活動を報告。

##### ○やさしい日本語ワークショップ

やさしい日本語研究会とコラボでワークショップを委員内で開催。教育委員会へも参加を要請し事務局が参加。

関西の日本語教師の方など5名がファシリテーター、大阪健康福祉短期大学の留学生らが協力してくれた。外国人が医療にかかりやすくするために院内でやさしい日本語の普及が求められる。

### 2021年度 活動予定

○やさしい日本語ワークショップを院内で展開していく

○HPHの院内啓もう活動(公式LINEやホームページ掲載の工夫)

○地域に対するアプローチ

○国際カンファレンスに向けて目的を持った活動

## 医療材料委員会

### 2020年度 活動状況

- ①医療材料の新規提案
- ②新規購入材料・サンプル材料の検証・承認
- ③既存材料の変更及び同類品の選定と価格検証
- ④医療材料のリスクマネージャーからの報告
- ⑤デモ機器申請の承認決定
- ⑥ICNからの報告・医療材料変更提案

主に、上記の内容の検討を行い医師・看護師・RM・ICN・事務それぞれの観点から論議を行い検証・決定を行ってきた。10月より委員長が田原副病院長から石原副病院長へ変更になっています。

2020年度の医療材料削減結果においては、コロナ関係の影響で、業者の出入りの制限もあり、交渉がほとんど出来なかった。逆に材料不足で、ニトリル、プラ手袋、マスク、環境クロスなどが高騰した。補助金で少しは賄えるが、どこまで高騰が続くか不透明である。

また、最悪の事態に備えて、院内備蓄としてPPE関連の在庫を約1カ月ぐらいを確保している。

医療機器購入委員会については、2020年度はコロナの影響により、凍結となったがコロナ補助金で申請できる機器については可能な限り購入している。

### 2021年度 活動予定

2021年度は、コロナがどこまで影響を及ぼすか、まだ不安定な状況ですが、落ち着いた段階で値段交渉も再開していきたい。

また、昨年度凍結になった医療機器購入委員会に関して、今年度は予算化されているので枠内で収まるよう値段交渉も例年通りやっていきたいと思えます。

また、国際基準化される栄養関連のコネクタの変更を、当院では今年度4月より行いますが現場に影響・混乱をまねかない様、医療安全担当者・医材メンバーとともに取り組んでいきたいと思えます。

## 教育学習委員会

### 2020年度 活動状況

#### 【「7つの学習項目」開催状況】

- \*①感染 ②医療安全 ③接遇 ④病院方針 ⑤患者の権利／倫理 ⑥個人情報 ⑦医療法規等のべ開催回数66回(のべ参加者総数8,930名 昨年度比102%)

#### 【当委員会主催学習会】

⇒COVID対応のため中止、Eラーニングへ 72%視聴

#### 【MBO・育成面談 実施確認・促進】

- ・MBO面談 実施率98% 【4月13日現在】
- ・育成面談 実施率93% 【4月13日現在】
- 制度教育 参加率75%
- 研修システムの構築にむけて取り組み開始

### 2021年度 活動予定

#### ①「7つの学習項目」→質向上にむけて

- ・研修システムの構築 2021年度下半期トライアル 2022年度本格導入
- ・ポイント(シール)獲得の見える化で、自己研鑽を重ねる風土の醸成
- ・社会人基礎力を上げるための教育を充実させる

#### ②MBO、BSC、育成面談の有機的結合と活用

## ◆◆◆◆◆◆◆◆ 拡大CS委員会 ◆◆◆◆◆◆◆◆

### 2020年度 活動状況

- ・コロナによる院外委員を含む委員会の開催制限により、6/24・8/26・10/31の3回の開催となった。
- ・9月より病院長が交代すること。送迎バスの経路とダイヤを見直すことを報告。
- ・コロナ禍における友の会活動の共有と感染予防対策のアドバイスがされた。
- ・入院患者からの窓から見える山の名を知りたいとの要望に対し、記したサインを作成。
- ・病棟のゴミ箱をスチール製から水洗いができるプラスチック製に変更。
- ・患者用フリーwi-fiを透析センターで試行開始。

### 2021年度 活動予定

- ・コロナの感染状況を見ながら再開を検討する

## ◆◆◆◆◆◆◆◆ 学術委員会 ◆◆◆◆◆◆◆◆

### 2020年度 活動状況

委員会 全2回開催

①文献複写…他機関への依頼119件、総経費48,007円(病院負担45,777円・個人負担2,230円)

他機関からの依頼7件 入金計2,222円

\* 昨年180件の依頼があったが今年度は34%減だった。コロナの影響か？

②2019年度耳原活動報告の作成…今年度よりHPへ掲載

・20冊発行(昨年550冊発行)≪管理事務、品質管理部、看護部、医局、地域連携室≫

・経費341,000円(昨年429,000円)

③新規図書購入6冊 31,471円

④年間購読雑誌の購入を削減

≪経緯≫

施設認定に必要な和雑誌6誌・洋雑誌5誌以外全ての年間購読を中止する事を決定⇒購読の継続を希望する声が多かったため購読復活申請書の提出を依頼(和雑誌25誌・洋雑誌3誌)⇒継続希望申請が多数となり、主にメディカルオンラインに掲載されている雑誌等について再度検討を依頼⇒最終的に昨年の50%に経費削減

2020年 年間購読雑誌の購入

2021年 購入

和雑誌…66タイトル 1,884,688円 ⇒ 和雑誌…27タイトル 843,242円

洋雑誌…9タイトル 1,481,257円 ⇒ 洋雑誌…7タイトル 862,146円

⑤書籍の展示販売会は中止

⑥書籍の貸出件数…71冊

⑦紛失書籍・雑誌の搜索件数…雑誌6冊 その内5冊返却あり

⑧オリエンテーションの実施…医師14回

### 2021年度 活動予定

- ・2019年度活動報告の作成
- ・文献複写の取寄せ代行
- ・感染対策をしっかりと実施し、全職員の学術・情報活動の支援を行う

## ◆◆◆◆◆◆◆◆ アート委員会 ◆◆◆◆◆◆◆◆

### 2020年度 活動状況

■COVID-19にまつわるアート・デザイン

- ・各種広報物 ⇒面会、患者配布物など
- ・Clear Sky Project ⇒全国、海外から空の写真を収集、メッセージも寄せられる  
該当エリアに飾り定期的に入れ替え
- ・みみはらアマビエ ⇒スタッフ専用廊下に思いを表出する寄せ書き
- ・14階緩和病棟 10階回復期リハビリ みみはらの木 ⇒屋上庭園前に季節にちなんだモチーフを装飾

- ・「みみはら便り」⇒ 食事トレーを作成、週1で配布 栄養科に協力いただく
- ・ERから救急隊にエール⇒ ERスタッフ、救急隊へ相互へエール・メッセージの交換 ベースを作成
- ・ひかりの子(ラジオ)プロジェクト⇒ 面会なくなり、患者・職員からのリクエストを毎週金曜日にお昼に放送
- ・7/29 法人企画新入職員 後期オリエンテーション 冒頭にチェロ演奏・新作ダンス披露
- ・9/15・16 全職員向け「どら焼きとコーヒー」400名分配布
- ・11/13 ER&ICU連動企画 ラテアート開催(100名限定) 70名来場
- ・12/29 全職員向けJazzピアノコンサート+ぜんざい 300名来場

#### <院内アート>

- ・ICU パンデミック対策 ゾーニング喚起の床・目線のアート
- ・サポート クレーム相談室 2部屋 壁面 アート+ガラス面 フィルム施工
- ・ACP(アドバンス・ケア・プランニング)について  
スタッフとペットとの実話を元に絵本化企画 絵本デザイン

#### <動画制作>

- ・看護部⇒採用用 栄養管理科⇒配膳カート扱い 感染制御室⇒PPE着脱

#### <啓発活動>

- ・なごやヘルスケアマネジメント 8/19(水)「病院運営におけるアートの役割」 奥村前病院長 zoomで200名ほどが講演に参加
- ・関西大学と堺市連携事業「ホスピタルアートのある街」堺のブランド力向上と堺市民の健康意識向上への貢献連続講演会  
バーチャル病院見学バーチャル病院見学
- ・5月8日 ちちんぷいぷい ミント(MBS) コロナにまつわるアート 10分ほど
- ・日経BP系ネットサイト「Beyond Health」4月8日掲載 「ヒューマンキャピタルオンライン」「未来コトハジメ」
- ・マイドなニュース(関西地域のネットニュース) クリア・スカイ・プロジェクトについて
- ・ONTOMO(音楽の友 ネットニュース) 病院の音環境について

### 2021年度 活動予定

#### ■COVID-19にまつわるアート・デザイン

- ・各種広報物
- ・クリアスカイプロジェクト・みみはらアナビエ・14階緩和病棟 みみはらの木
- ・食事トレー「みみはらだより」
- ・ERから救急隊にエール・ひかりの子(ラジオ)プロジェクト
- ・職員慰労イベント

#### ■みみはら実費診療所 70周年記念史 ディレクション

#### ■院長交代にまつわるデザイン 病院案内 ホームページ等

#### <動画作成>

- ・医局 研修医採用・研修医指導用動画

#### <アート依頼>

- ・NICU 新設にともない、アート導入
- ・透析 廊下活性化は保留⇒デイルーム 透析室の柱にアート希望
- ・リハビリ庭園 活性化
- ・内視鏡室 5室 緊張を和らげるアート希望

#### <啓発活動>

- ・6月 国際会議 デジタルカンファレンス イギリスより依頼  
CULTURE,HEALTH AND WELLBEING INTERNATIONAL CONFERENCE  
健康と芸術の国際会議 パンデミック下でのアートについて

## ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 治 験 審 査 委 員 会 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

### 2020年度 活動状況

#### 1. 審議事項

臨床治験(一部変更)	2件	①②
臨床研究	3件	③④⑤⑥
適応外使用	2件	⑦⑧⑨

- ①多剤併用療法が適さないRAS野生型切除不能進行再発大腸がんに対する一次治療としてのパニツマブ単剤療法—第Ⅱ相試験—(OGSG1602)
- ②Ramucirumab抵抗性進行胃癌に対するramucirumab+Irinotecan併用療法のインターグループランダム化第Ⅲ相試験(RINDBeRG trial)
- ③ETERNAL研究(大矢 麻耶医師)の実施状況が報告され、本研究の継続承認
- ④「COACH(臨床口腔内評価指標)の信頼性、妥当性の検討」
- ⑤核磁気共鳴画像-経直腸的超音波画像融合画像ガイド下前立腺標的の生検のSignificant cancer検出における有用性と安全性に関する国内多施設共同研究
- ⑥血流量、透析液流量変動プログラム使用についての臨床評価研究
- ⑦新型コロナウイルス感染症治療における既存薬の適応外使用について
- ⑧婦人科手術における出血量軽減のための子宮・卵管・卵巣へのバツプレシン局所注入法
- ⑨絨毛癌に対するEMA/CO療法におけるオンコビン(成分名ビンクリスチン)の適応外使用

#### 2. 確認事項

委員長の交代 木野医師から山口医師に変更

規程・業務手順書の改訂及び新規作成

治験審査委員会規定 第2版(2021年1月より実施)

治験審査に係る 標準業務手順書 初版(2021年1月より実施)

保険適用外医療に係る業務手順書 新規(2021年1月より実施)

### 2021年度 活動予定

- 臨床研究等に関する倫理審査規定の改定にそって、倫理委員会、治験審査委員会の役割分担の調整
- 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に対応した研究教育(倫理委員会と合同)
- ホームページの改善

## ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 虐 待 防 止 委 員 会 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

### 2020年度 活動状況

- ・毎月の委員会開催
- ・個別ケース対応(院内外情報収集、地域カンファレンスへの参加、必要時臨時カンファレンス招集し通告検討)①
- ・マニュアル・フロー図・チェックリストの見直し(適宜)
- ・電子カルテ整備(MA欄の設定)②
- ・院内外への啓発活動(年2回講演会・学習会企画、サイネージUP、職員研修講師)③
- ・委員の自己研鑽・力量向上(学会や学習会への参加)④・行政機関等との懇談⑤

#### ①個別ケース数(前年度数)

通告14(7)、一時保護7(4)、児童75(62)、妊産婦105うち特定妊婦18(106)、高齢者26(24)、障害者4(3)、DV9(11)、CF30うち地域CF19・院内CF11(29)、訪問1

通告や一時保護、特定妊婦数が増加、コロナ対応の影響かERからの発信が減少している印象

- ②電子カルテ整備：イントラネットの活用やMA欄見直し、虐待発見時の写真撮影取扱いについて流れを整備した
- ③啓発活動：コロナ禍で一度も行えず。サイネージにて3回周知を行った。新任医師や主任看護師への研修講師を行った。
- ④委員の自己研鑽・力量向上(学会・研修会などへの参加)

9/26	児童虐待防止協会WEBセミナー 「虐待してしまう親の理解と対応」	参加	牧
11/28-29	日本子ども児童虐待防止学会学術集会 いしかわ金沢大会(WEB)	参加	牧
1/13	院内ケースシュミレーション		藤井、春木、吉本、林、則本、 玉置、外山、牧
3/19	医療機関における児童虐待防止体制 整備フォローアップ事業 「当院の特定妊婦への支援」(WEB)	参加	吉本、外山、牧

⑤行政機関との懇談：11/13堺市地域包括ケア推進課(吉本、牧)、12/15堺市子ども相談所(吉本、則本、外山、牧)

## 2021年度 活動予定

- ・虐待マニュアルやフロー図、チェックリストに沿った日常的な運用を全職員に周知していく
- ・産婦人科・小児科だけでなく内科・外科等他科外来・病棟・他院・診療所との連携強化(特に医師の委員会参加)
- ・院内や地域での講演会・学習会企画、啓発活動の継続(WEB活用)
- ・行政機関だけでなく、教育委員会、警察、救急隊等との定期的な懇談の機会をもち、ケースの共有や振り返りを行う
- ・「虐待ゼロのまち、堺」を目指した地域ネットワークを構築する

2021年度は委員内でチーム分けし活動を展開していく予定

①院内周知チーム ②院外連携チーム ③学会など発表チーム

※自己研鑽研修参加は各自年1回以上※新メンバーへのBEAMS受講推奨していく

高齢者虐待防止学会(大阪)9/26

子ども虐待防止学会(かながわ)12/4-5

## 2020年度 開催オープン学習会 一覧

No	名 称	開催日	内 容	院外	院内	Web 参加	全体
1	医療介護連携すすめる会	7月17日	「地域で見守る認知症高齢者」 堺第4地域包括支援センター西村所長	17	6		23
2	第24回 地域医療連携をすすめる会	9月19日	『周術期管理の強化と地域医療の展望(仮)』 耳原総合病院 河原林病院長代行 『プライマリ・ケアで必要なCOVID-19の知見と当院の取り組み』 耳原総合病院 総合診療センター 大矢亮部長・河村裕美医師	29	53		82
3	メディカルカンファレンス (臓器別センター/他 共催)	10月3日	CKDトータルケアレクチャーInみみはら 『CKD診療の治療戦略～腎性貧血治療薬の新たな選択肢～』 講師：大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 水井理之先生 ※会場参加+Web参加の併催	21	11	13	45
4	医療安全を学ぶ研修会	11月4日	誤嚥と窒息の違いを学ぶ(ウェブ) 健和会病院 福村直毅先生	2	64		66
5	CWHC研修会	11月20日	「婦人科救急腹痛傷病者の鑑別ポイント」 小川 萌医師 「小児科救急搬送時の識別ポイント」 佐藤結衣子医師	18	40		58

# 2020年度「7 大学習項目」参加者数 教学委員会

①感染／②医療安全／③接遇／④病院方針／⑤患者の権利・倫理／⑥個人情報／⑦医療法規等

	ジャンル	タイトル	担当委員会	参加者のべ人数				
				医師	看護	技師	事務	合計
4月	⑥個人情報	○4/1 同仁会新人オリエンテーション	法人 実行委員会	7	47	17	9	80
	①感染②医療安全③接遇	○4/2 同仁会新人オリエンテーション	法人 実行委員会	7	47	17	9	80
	④病院方針	○4/3 同仁会新人オリエンテーション	法人 実行委員会	7	47	17	9	80
	⑦医療法規等	○4/4 同仁会新人オリエンテーション	法人 実行委員会	7	47	17	9	80
	②医療安全	○4/6 研修医オリエンテーション	医局	7				7
	①感染	○4/6 看護部新入職員オリエンテーション	看護部		46			46
	②医療安全	○4/7 輸液ポンプとシリンジポンプ	看護部		47	3		50
	①感染	○4/9 看護部新入職員オリエンテーション	看護部		46			46
	④病院方針	○病院方針学習会奥村病院長	教学委員会	32	435	176	117	760
	①感染	○4/14 COVIDについて全職員学習会	BCP対策本部	70	480	203	147	900
	③接遇	○4/21 患者待遇ロールプレイ	サポートセンター				27	27
6月	②医療安全	○6/2・10 PCIで使用するデバイス	ME	1	12			13
	①感染	○6/8～6/19 あなたが測定する感染対策の実施 WHO手指衛生直接観察法	感染制御室	11	33	2		46
	②医療安全	○6/25 グレードAシミュレーション	CWHC	7	16	3	3	29
	①感染	○6/26 主任会議「新型コロナウイルス感染症」	看護部		25			25
7月	②医療安全	○標準予防策学習会	栄養管理科			19		19
	②医療安全	○7/14 QMS学習「SafetyPlus II の概念や具体的なイメージを深める」	医療安全管理室		11	9	8	28
	①感染	○7/6 11F職員対象「COVID-19入院ケアの注意点」	感染制御室		14			14
	①感染	○標準予防策学習会	栄養管理科			19		19
	①感染	○7/16 COVID-19の院内感染を防ぐ～自分が感染しない・他患者に移さない～	感染制御室		28	15	1	44
	②医療安全	○7/26 ISLSコース養成(2次救命処置コース)	ライフサポート委員会	15	2		2	19
	①感染	○7/31 主任会議「新型コロナウイルス(COVID-19)の院内感染対策」	看護部		21			21
8月	②医療安全	○8/1-30 重症度、医療・看護必要度 理解度チェック	看護記録委員会		449			449
	⑤権利・倫理	○8/19 模擬倫理カンファレンス	倫理委員会	1	8	3	5	17
	②医療安全	○8/11 QMS学習「医療安全とQI～データから何を読み取るか」	医療安全管理室		12	8	6	26
	①感染	○8/12 11F職員対象「COVID-19の院内感染を防ぐ～自分が感染しない・他患者に移さない～	感染制御室		14			14
	①感染	○8/20 リンクスタッフ合同会「コロナ時代の院内感染対策新ルール」	感染制御室		17	5	1	23
9月	②医療安全	○9/1-31 重症度、医療・看護必要度 事前学習	看護記録委員会		399			399
	①感染	○9/1 新生児の感染管理	感染制御室		13			13
	①感染 ②医療安全	○9/3、9/24 3年目看護研修	看護部		30			30
	②医療安全	○9/8 QMS学習「思い込みのエラーとアナフィラキシーとアドレナリンの基本」	医療安全管理室		14	8	6	28
	①感染	○リンクスタッフ合同会「新型コロナウイルス最新知見」	感染制御室		15	3	1	19
	②医療安全	○9/15 IVUSを読み解く	医療安全管理室			2		2



①感染／②医療安全／③接遇／④病院方針／⑤患者の権利・倫理／⑥個人情報／⑦医療法規等

	ジャンル	タイトル	担当委員会	参加者のべ人数				
				医師	看護	技師	事務	合計
10月	①感染	○10/9 1年目看護 感染対策研修	看護部		35			35
	②医療安全	○10/11 ISLSコース養成(2次救命処置コース)	ライフサポート委員会	4	17	5	2	28
	②医療安全	○10/14 QMS学習「QIの紹介、逆紹介をみる」	医療安全管理室		12	8	8	28
	①感染	○10/15 リンクスタッフ合同会「PPE着脱の確認」「N95正しいフィット」	感染制御室		14	4	1	19
	②医療安全	○10/15 ACH-Σ 学習会	ME			6		6
	②医療安全	○10/26 グレードAシミュレーション	CWHC	7	16	3	3	29
	②医療安全	○10/27 心電図	ME		10			10
	②医療安全	○10/1-30 重症度、医療・看護必要度	看護記録委員会		406			406
11月	②医療安全	○10/14、11/11 CVポート管理研修	看護部		12			12
	②医療安全	○11/4～2021.1/25 2020年度第1回全職員対象医療安全研修「窒息冤罪はなぜ起きたのか」	医療安全管理室	70	480	203	147	900
	②医療安全	○11/12・13 IPPV	医療安全管理室		16			16
	⑤権利・倫理	○11/18 模擬倫理カンファレンス	倫理委員会	5	7	0	5	17
	⑤権利・倫理	○11/18 J-HPHカンファレンス	HPH委員会					42
	②医療安全	○11/20 NPPV V60について	ME		6			6
	②医療安全	○11/30 除細動器	ME		4	1		5
12月	⑥個人情報	○個人情報についての学習	教学委員会					710
	⑤権利・倫理	○12/1～25 身体拘束学習	身体拘束ゼロ委員会	32	374			406
	②医療安全	○全職員BCP研修	災害対策委員会	25	410	183	120	738
	②医療安全	○12/8 QMS学習「正しい患者データの管理」「QIデータ活用 シリーズ0」	医療安全管理室		14	8	8	30
	②医療安全	○12/10 AIRVP2の成人使用について	ME			6		6
	②医療安全	○12/11 1年目看護研修	看護部		30			30
	①感染	○12/17 リンクスタッフ合同会「見逃しているかも知れない感染対策のピットフォールを探せ」	感染制御室		14	5		19
	②医療安全	○12/17 BLS講習	技術部			6		6
1月	②医療安全	○1/12QMS学習「ヒヤリハット報告数QI事業」	医療安全管理室		15	7	8	30
	②医療安全	○1/12 NNPV 人口呼吸器 カテ室	ME		6			6
	①感染	○1/21 リンクスタッフ合同会「WHO手指衛生直接観察法の実施ガイダンス」	感染制御室		13	5	1	19
	②医療安全	○1/26-2/28 ネーザルハイフローAIRVO2(成人)Safty Plus	臨床工学科・呼吸ケア委員会					337
	③接遇	○1/27 「がん患者のこころ模様 ～どうつきあうか・どう支えるか」	がん診療委員会	1	3	10	3	17
2月	⑤権利・倫理	○2/17 模擬倫理カンファレンス	倫理委員会	9	1	0	13	23
	②医療安全	○2/4 2年目研修	医療安全管理室		27			27
	②医療安全	○2/8～3/8 全職員対象 医療安全研修 e-ラーニングツールSaftyPlus 「医療ガスの安全」「患者確認指差し呼称」	医療安全管理室	34	449	180	140	803
	②医療安全	○2/19 PCPS	ME			5		5
3月	⑤権利・倫理	○3/11 ACPシンポジウム	品質管理部	5	8	2	15	30
	②医療安全	○3/13 医師医療安全大会	大阪民医連	28	1	14	4	47
	④病院方針	民医連総会学習	法人教育委員会					839
	④病院方針	法人制度教育	法人教育委員会					690
総 計				392	4,775	1,207	838	9,830

## 実習及び見学受入状況(インターシップ含む)

職 種	学校名	実習人数	見学人数
診 療 部	愛媛大学		4
	大分大学		2
	大阪医大		4
	大阪市大		10
	大阪大学		3
	岡山大学		2
	香川大学		3
	鹿児島大学		1
	金沢医大		2
	川崎医大		3
	関西医大		4
	京都大学	5	1
	京都府立		1
	近畿大学		6
	熊本大学		1
	高知大学		1
	神戸大学		5
	滋賀医大		5
	島根大学		4
	徳島大学		2
	鳥取大学		2
	富山大学		2
	長崎大学		1
	奈良医大		6
	新潟大学		1
	兵庫医大		4
	広島大学		1
	福井大学		6
	宮崎大学		1
	山形大学		1
琉球大学		1	
和歌山医大		4	
	合 計	5	94
看 護 部	泉州看護専門学校	50	
	千里金欄大学(助産科)	1	
	合 計	51	
薬 剤 部	武庫川女子大学	1	
	大阪医科薬科大学	1	
	大阪大谷大学	1	
	兵庫医療大学	1	
	摂南大学	1	
	合 計	5	
リハビリテーション技術部 (理学療法士)	畿央大学	1	
	合 計	1	
総 計		62	94

## 2020年度 原著・総説・著書

論 文 名	著者・共著者	雑誌名
What's your diagnosis?(第209回)機関車トーマスダンカンに会いに行く	杉本 雪乃、重原良平、 藤本卓司	総合診療30巻5号 Page512-515(2020.05)
音が変わると空間も変わる—音デザインの現場から ⑩患者とスタッフを元気に……耳原総合病院	室野 愛子	「人と空間が生きる音デザイン」 小松正史(著)(2020.05)
カテReport 見せて！魅せて！わくわくカテ室訪問	浜矢 早苗	ハートナーシングvol.33 No.6
【真夏の診察室】熱中症 熱中症ミミック	河村 裕美、志水 太郎	Medicina 57巻8号 Page1265-1269(2020.07)
【もう見逃さない、見誤らない！頻用薬の気づきにくい副作用】 一見しただけでは気づきにくい「薬の副作用」家族が通販で購入した抑肝散による低K血症	河村 裕美	薬事 62巻9号 Page1734-1737(2020.07)
敗血症の今とこれから(第11回) 一般病棟での敗血症の早期発見に向けて いかにして呼吸数を測定してもらうのか	原之園公太郎、劔持 雄二	重症集中ケア19巻3号 Page85-87(2020.08)
「マイ・ファシリティ」コロナ下でのアートについて	虎頭 加奈	「病院羅針盤」 第11巻第174号(2020.11)
集学的治療が奏効した胃癌同時性多発肝転移の1例	中川 朋、占部翔一郎、 林 覚史、波多 豪、 道浦 俊哉、林 伸泰、 山邊 和夫	癌と化学療法47巻13号 Page1759-1761(2020.12)
What's your diagnosis?(第216回) 型にはまりません	神山 雅喜、重原 良平、 大矢 亮、河村 裕美、 杉本 雪乃、藤本 卓司	総合診療30巻12号 Page1440-1444(2020.12)
不明熱を契機に発見された上行結腸炎症性筋線維芽細胞性腫瘍の1例	矢野 佳子、平林 邦昭、 木野 茂生	日本外科系連合学会誌45巻6号 Page807-816(2020.12)
救急外来における「地域トリアージ」の取り組みとケア移行の課題	大矢 亮	ジェネラリスト教育コンソーシアム vol.15 Page110-114(2020.12)
全腹腔鏡下子宮全摘出術後に遅発性の膀胱損傷を生じ偽性腎不全を呈した1例	後藤 剛、高木 力、 三武 普、松岡 智史、 坂本 能基	日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 36巻2号 Page262-267(2020.12)
Transanal total pelvic exenteration in the prone jackknife position for rectal cancer invading the bladder, seminal vesicles, and small intestine.	Yamaguchi T, Uematsu D, Imai M, Akiyama G.	Asian J Endosc Surg. 2021 Jan; 14(1):90-93
膀胱・小腸浸潤にイレウスを合併した直腸癌に対し、ジャックナイフ体位での経肛門の内視鏡下骨盤内臓全摘術を施行した1例	山口 拓也、今井 稔、 戸口 景介、外山 和隆、 中川 朋、吉川 健治	手術 75巻3号 Page375-380(2021.03)
【コロナ禍で受療権を守る民医連のとりくみ】国民健康保険法44条第1項を広く活用できる社会保障制度に コロナ禍での無料低額診療事業適用事例から考える、無低診の一步先へ	大平 路子	民医連医療 582号 Page24-25(2021.03)
乳癌術後の不定愁訴に対して漢方療法を施行した3症例	坂本 能基、高木 力、 内田 学、三武 普、 松岡 智史、後藤 剛、 小川 萌、嶋田 真弓	産婦人科漢方研究のあゆみ 37号 Page130-134(2021.03)

## 2020年度 学会・研究会等発表

演 題 名	演 者	学会・研究会名	開催地	開催年月日
<b>救急総合診療科</b>				
特発性好酸球増多症のステロイド開始後にD-dimerが増加し微少な肺血栓塞栓症が疑われた1例	梶本 興平	第229回日本内科学会近畿地方会	WEB	2020.9.26
胸腔鏡検査によって確定診断に至った結核性胸膜炎の1例	神山 雅喜	第229回日本内科学会近畿地方会	WEB	2020.9.26
膿瘍形成を伴う精巣上体炎に対し保存的治療を行った1例	中森 滉二	第229回日本内科学会近畿地方会	WEB	2020.9.26
救命し得た抗MDA5抗体強陽性のclinically amyopathic dermatomyositis(CADM)合併間質性肺炎の1例	池田 響	第229回日本内科学会近畿地方会	WEB	2020.9.26
巨細胞性動脈炎の臨床症状を伴った多発血管炎性肉芽腫症の1例	西 進介	第229回日本内科学会近畿地方会	WEB	2020.9.26

演 題 名	演 者	学会・研究会名	開催地	開催年月日
意識障害の原因がTrousseau症候群であった1例	横内 聡	第229回日本内科学会近畿地方会	WEB	2020. 9.26
アウトブレイク調査	河村 裕美	第22回日本感染症学会 免疫学トレーニングコース	京 都	2020.11.13
ニボルマブ使用後に特発性血小板減少性紫斑病(ITP)を発症した1例	三世川宗一郎	第231回日本内科学会近畿地方会	WEB	2021. 3.13
皮膚筋炎様の持続性皮疹を伴った成人Still病の1例	中川友香梨	第231回日本内科学会近畿地方会	WEB	2021. 3.13
<b>循環器センター</b>				
Spiral saphenous vein graft による静脈再建術の中期成績	井上 剛裕	第50回日本心臓血管外科学会学術集会	WEB	2020. 8.17
抗血栓療法における尽きない悩み	石原 昭三	第25回C5研究会 @ ARIA2020	WEB	2020.11.20
How do I manage complications in the cath lab?	石原 昭三	21st PanAfrican Course on Interventional Cardiology 2020 (PAFCIC 2020)	WEB	2020.12.17
Usefulness of 7&4Fr system in DCA procedure	石原 昭三	第29回日本心血管インターベンション治療学会； CVIT 2020 学術集会	WEB	2021. 2.18
Severe epicardial channel perforation bailed out with various embolization during retrograde CTO PCI	石原 昭三	第29回日本心血管インターベンション治療学会； CVIT 2020 学術集会	WEB	2021. 2.18
急性下肢動脈閉塞に対して外科的血栓除去術と内科的インターベンションで救済し得た1例	鈴鹿 裕城	第29回日本心血管インターベンション治療学会； CVIT 2020 学術集会	WEB	2021. 2.18
<b>消化器センター</b>				
小腸穿孔を来した好酸球性胃腸炎の1例	戸口 景介	第56回日本腹部救急医学会総会	WEB	2020.10. 8
腹腔内膿瘍を合併した虫垂癌の1例	西 進介	第56回日本腹部救急医学会総会	WEB	2020.10. 8
神経鞘腫により横行結腸重積をきたした1例	山本 沙羅	第56回日本腹部救急医学会総会	WEB	2020.10. 8
胃瘻造設が功を奏した慢性突特発偽性腸閉塞の1例	富岡百合子	第56回日本腹部救急医学会総会	WEB	2020.10. 8
教えられる側から教える側へ	山口 拓也	第18回日本ヘルニア学会学術集会	WEB	2020.11. 3
妊娠中に発症した穿孔性急性虫垂炎に対して腹腔鏡下虫垂切除術を施行した2例	戸口 景介	第57回日本腹部救急医学会総会	WEB	2021. 3.11
レジオネラ肺炎に急性腎障害を合併した1例	山口 諒也	第231回日本内科学会近畿地方会	WEB	2021. 3.13
<b>産婦人科</b>				
卵巣癌術後に肺血栓塞栓症を発症した1例	岩田 隆一	第142回近畿産科婦人科学会総会	WEB	2020. 6.27
若年女性に発症した卵管捻転の1例	小川 萌	第142回近畿産科婦人科学会総会	WEB	2020. 6.27
成熟嚢胞性奇形腫に対する腹腔鏡下手術後の化学性腹膜炎に対して再手術を施行した1例	高木 力	第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	WEB	2020.12.14
<b>小児科</b>				
LCMが発作制御に効果的だった乳児けいれんの1男児例	佐藤結衣子	第62回日本小児神経学会学術集会	WEB	2020.8.19
IgA血管炎に尿路結石症を併発した2例	佐藤結衣子	第123回日本小児科学会学術集会	WEB	2020.8.22
<b>代謝・膠原病内科</b>				
ビタミン欠乏に起因した多発骨折貧血患者に生じた両側化膿性耳下腺炎の1症例	川口 真弓	第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会	京 都	2020.7.18

演 題 名	演 者	学会・研究会名	開催地	開催年月日
アミロイドーシス、リンパ増殖性疾患治療中にサイトメガロ感染症をきたした症例	川口 真弓	第64回日本リウマチ学会総会・学術集会	WEB	2020.8.17
高齢の末端肥大症合併糖尿病患者の治療と血糖インスリン分泌の変動	川口 真弓	第57回日本糖尿病学会近畿地方会	WEB	2020.10.17
両側横隔神経麻痺を認めた糖尿病患者の1症例	川口 真弓	第63回日本糖尿病学会年次学術集会	WEB	2020.10.18
急性自律性感覚性ニューロパチー(acute autonomic and sensory neuropathy;AASN)と考えられた自己免疫性ニューロパチーの1例	山本 沙羅	第231回日本内科学会近畿地方会	WEB	2021.3.13
<b>泌尿器科</b>				
MRI-TRUS弾性融合画像ガイド下前立腺生検における辺縁領域PI-RADS v2 Assessment Category score5での癌未検出例の検討	沖 貴士	第16回狭山泌尿器科研究会	堺	2020.10.31
Pembrolizumab中断後44カ月目にステイブンス・ジョンソン症候群を発症した右尿管癌の1例	大森 直美	第70回日本泌尿器科学会中部総会	WEB	2020.11.12
MRI-TRUS弾性融合画像ガイド下前立腺生検における辺縁領域PI-RADS v2 Assessment Category score5での癌未検出例の検討	沖 貴士	第108回日本泌尿器科学会総会	兵庫	2020.12.24
<b>呼吸器外科</b>				
有癥性膿胸開窓術後に局所陰圧閉鎖療法が著効した1例	佐藤 泰之	第43回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	誌上 開催	2020.6.26
<b>放射線科</b>				
左下横隔動脈が栄養血管であった原発性横隔膜神経鞘腫の1例	楨谷 和紘	第88回和歌山医学会総会	WEB	2020.12.13
<b>緩和ケア科</b>				
膀胱がんの腫瘍出血による血尿が放射線治療により止血され在宅看取りが可能となった1例	金島 正幸	緩和・支持・心のケア合同学術大会2020(第25回日本緩和医療学会学術大会)	WEB	2020.8.9
メサドン内服で施設へ戻る事が可能になった仙骨部脊索症の1例	坂本 英代	緩和・支持・心のケア合同学術大会2020(第25回日本緩和医療学会学術大会)	WEB	2020.8.9
<b>臨床工学科</b>				
臨床工学技士の生涯教育を整備する「認定臨床工学技士制度の取得者から見た課題」	河原 俊介	第30回日本臨床工学会	名古屋	2020.5.23
アーチループ回路における検討	長尾 一希	第65回日本透析医学会学術集会	WEB	2020.11.2
前希釈On-line HDFのLow-volumeとHigh-volumeにおけるABH-22PAとABH-22LAの性能比較	吉村百合菜	第65回日本透析医学会学術集会	WEB	2020.11.2
<b>看護部</b>				
重症心身障害児の終末期看護 母の思いに寄り添って	富満裕美子	第25回日本緩和医療学会学術大会	WEB	2020.8.9
がん支援センターの多職種連携「チーム医療4つの要素」から考察する	西嶋 綾	第22回日本医療マネジメント学会学術総会	京都	2020.10.6
カテ室における医療安全への取り組み「Final check」を始めました	浜矢 早苗	第22回日本医療マネジメント学会学術総会	京都	2020.10.6
災害に対する意識を高める	野田由貴子	第22回日本医療マネジメント学会学術総会	京都	2020.10.6
院内褥瘡エキスパートナース育成について	齊藤 綾乃	第22回日本医療マネジメント学会学術総会	京都	2020.10.6
外来から始まるカテ室看護	浜矢 早苗	第29回日本心血管インターベンション治療学会；CVIT 2020 学術集会	WEB	2021. 2.18 -21
<b>事務部</b>				
地域医療支援病院・がん診療拠点病院における無料低額診療事業の意義と課題	大平 路子	第22回日本医療マネジメント学会学術総会	京都	2020.10.6

## 2021年 大阪民医連 学術運動交流集会(2021/2/11 オンライン開催)

演 題 名	演 者
<b>看護部</b>	
血糖コントロールが難しい患者の退院指導で学んだこと	吉村 玲奈
自己管理が難しい糖尿病患者とその家族との関わり ～糖尿病教育入院を繰り返さないために～	堤田 瞳
腎不全増悪せずすごせるように、退院に向けての看護	山下 奈々
腹膜透析(PD)導入される対象への関わり	玉置明日香
地域連携室の看護師としての取り組み ～スムーズな院内連携を目指して～	田中 孝美
退院後も仕事復帰できますか ～壮年期患者の退院後を見据えた生活指導～	森野 瑞希
静脈留置ポート研修インストラクター養成研修の実施	西嶋 綾
COVID-19の重症肺炎と診断され気管内挿管となった患者の家族ケア	木下優紀奈
<b>リハビリテーション科</b>	
入院後より早くより安全に食事を開始するために ～食事開始・形態選択時のマニュアル作成～	朴 暁香
内服困難により経口摂取不良となった症例に対するアプローチについて	天宮 瑞樹
ストラテジー法と環境設定が有効性を認めた失行症事例 ～スマートホン操作の再獲得に向け～	神谷 克貴
訓練内と退院時の移動レベルの違いの原因 ～恐怖心がADLに与える影響～	茶谷 将広
障害受容に難渋し精神的ケアアプローチを必要とした症例	元山 育実
脳腫瘍再発を不安に思う症例に対し、目標設定や退院調整で気をつけたこと	濱田 智実
ADL低下の原因を機能面以外に着目した症例 ～在宅復帰後を想定することの重要性～	玉井 里子
退院調整を進めていく中で本人とセラピストの思いに違いが生じた事例での取り組み	高中 麻里
自殺企図歴があり離床拒否が続く症例を経験して ～患者家族・多職種連携で安全に離床～	浦田 暢
<b>薬剤科</b>	
リエゾンラウンドから見えてきたポリファーマシー	藤井 優樹
<b>事務部</b>	
当院での無料低額診療事業の傾向と課題～地域医療支援病院・がん診療拠点病院での特徴から	大平 路子
倫理委員会の活動まとめ ～総合病院に倫理を根付かせるには何が必要か～	川畑 望
大阪府がん診療拠点病院の地域連携室における「がんラダー研修」の取り組み	出口 和洋
COVID-19に対応する医師体制構築について	西椿めぐみ
コロナ禍におけるホスピタルアートの取り組みと役割	衛藤 桃子

## 2020年度 学術講演・セミナーなど

演 題 名	演 者	学会・研究会・講演会名	開催地	開催年月日
What a slippery guidewire !!	石原 昭三	Fish & CHIP Case sharing club	香港 WEB	2020. 5. 9
Role of imaging(IVUS,OCT) in LM inter- vention	石原 昭三	Left Main Conclave	インド WEB	2020. 6.14
「病院運営におけるアートの役割」	奥村 伸二	名古屋市立大学 ヘルスケア・アート連続講座 マネジメント2020	WEB	2020. 8.19
日常診療で使いこなす抗血栓療法	石原 昭三	大津医師会 サタデーセミナー	WEB	2020. 8.22
成績上位医療機関における臨床研修の取り組み	大矢 亮	基本的臨床能力評価試験シンポジウム2020	WEB	2020. 9. 6
医療現場でのアートマネジメント	奥村 伸二	第13回日本医療マネジメント学会 大阪支部学術集会シンポジスト	大 阪	2020. 9.13

演 題 名	演 者	学会・研究会・講演会名	開催地	開催年月日
第5回J-HPHカンファレンス2020	大矢 亮	COVID-19蔓延期に経験したSDHの課題を抱える事例と支援	WEB	2020.11. 7 ～24
コロナ禍での救急診療とオーバートリアージ患者に対する対応について	大矢 亮	堺市医師会パネルディスカッション テーマ『新型コロナウイルス感染症に対するこれまでの取り組みとこれからの課題』	堺	2020.11.21
「感染予防策」	藤本 卓司	日本眼科学会専門医制度 第71回講習会	WEB	2020.11.16 ～29
病院の文化芸術～アートディレクターの役割～	室野 愛子	堺市・関西大学連携事業連続講演会	WEB	2021. 2.19
ニボルマブ+イピリムマブ併用療法で重症筋無力症を発症した1例	松村 直紀	RCC I-O Combination Seminar in South Osaka	堺	2021. 3. 4
日常診療で使いこなす抗血栓療法 ～新しいガイドラインをふまえて～	石原 昭三	抗血栓療法 Up to Date in 新潟	新 潟	2021. 3. 8
循環器領域における地域医療連携と当院循環器センターの取り組み	石原 昭三	岡山ハートセンターweb 講演会	WEB	2021. 3.12
心不全診療における病診連携	石原 昭三	これからの心不全地域を検討する会(フェニーチェ堺)	堺	2021. 3.11
「耳原総合病院における新型コロナ対策とアートプロジェクトの実践」	奥村 伸二	関西大学社会安全学部 2020年度第3回社会安全学セミナー	高槻+WEB	2021. 3.18

## 関連取材記事等

掲載日	媒体名		出版元	著者・対象者	タイトル	
4月8日	日経ヘルスケア	WEB	取材記事	日経 B P	室野愛子・虎頭加奈 (アート・ディレクター)	芸術で病院内外をつなぐ
5月7日	ちんぷいぷい ミント!	T V	取 材	MBS毎日放送	河村裕美(医師)・ 室野愛子・虎頭加奈	アマビエニュース「クリアスカイプロジェクト・みみはらアマビエ」
5月19日	日経未来コトハジメ	WEB	取 材	日経 B P 社	奥村伸二(病院長)	「アートな病院」が人と街を勇気づける
5月29日	ちんぷいぷい ミント!	T V	取 材	MBS毎日放送	奥村伸二・原之園美希 (感染認定看護師)	N95マスクについて
6月2日	日経ヒューマンキャピタルオンライン	WEB	取材記事	日経 B P 社	奥村伸二・室野愛子	芸術がチームを強くした 耳原総合病院
6月12日	かんさい熱視線	T V	取 材	N H K	奥村伸二・大矢 亮 (医師)	「新型コロナ第2波にどう備える？」 “発熱外来”で患者減少 苦悩する病院
6月号	堺の文化	季刊誌	取 材	堺の文化を育 てる市民の会	虎頭加奈	クリアスカイプロジェクト
6月号	ホスピタルデザイン ニュース	季刊誌	執筆記事	川崎医療福祉 大学ホスピタル デザイン 研 究 会	虎頭加奈	地域にひらかれた病院であり続ける ために ～アートが出来ること～
7月2日	マイドナニュース	WEB	執筆記事	神 戸 新 聞 社	室野愛子・虎頭加奈	医療現場に光射す「空の写真」病院に 芸術を取り入れる「ホスピタルアート」って
8月30日	ONTOMO	WEB	取 材	音 楽 の 友 社	岩崎桂子(医師)室野愛子・ 虎頭加奈	ホスピタルアートでより良い医療現場を ーアートや音楽を導入する耳原 総合病院
12月11日	報道ランナー	T V	取 材	関 西 テ レ ビ	大矢 亮・ 北芝看護部長	大阪の救急医療は、崩壊しているの か?「救急総合診療科」の厳しい現実
12月27日	大阪日日新聞	新 聞	取 材	大阪日日新聞	サポートセンターSW	無料受診の利用急増 別の形の医療 崩壊
1月4日	報道ランナー	T V	取 材	関 西 テ レ ビ	大矢 亮	お正月のER
2月8日	報道ランナー	T V	取 材	関 西 テ レ ビ	北芝看護部長	人手不足で危機 看護師の育成どう する?
<b>&lt;民医連関連&gt;</b>						
1月号	「いつでも元気」	雑 誌	執筆記事	全日本民主医療 機関連合会	藤 真美(作業療法士)	みんなで作った大衆演劇
3月号	民医連医療	雑 誌	執筆記事	全日本民主医療 機関連合会	大平路子(MSW)	国民健康保険法44条第1項を広く活 用できる社会保障制度に
74号	Medi-Wing Osaka	雑 誌	執筆記事	大阪民主医療 機関連合会	梶本興平(初期研修医)	研修エッセー
75号	Medi-Wing Osaka	雑 誌	執筆記事	大阪民主医療 機関連合会	細谷聖美(初期研修医)	国試対策にも役立つなるほど道場





## 「年報2020」編集後記

こんな一年になるとは誰も想像しえなかったのではないのでしょうか？ 2020年度は文字通り“コロナに始まり，コロナに終わり”でした。ただし，コロナ感染症との格闘はまだ終わっておらず，依然として社会のど真ん中に居座っています。

春の第1波は手探りでの対策実施と同時に受診控えや健診の停止で事業活動全体が縮小し，経営的にも大きな打撃を被りました。それ以降は，知識と経験を糧に“正しく恐れ，正しく対策”するなかで事業活動・経営の回復を進めていきました。感染拡大の波を経るごとにピーク(感染者数，入院患者・重症者数，死亡者数)は大きくなり，院内のコロナ対応の領域や受入れ数も拡大させていくことになりました。そのようななかでも通常の急性期・救急医療の維持を方針に，コロナ対応との両立を図りました。その結果，コロナ禍という異常事態のなかで，全麻手術，循環器手術カテ，分娩，内視鏡手術がそれぞれ新病院での最多件数を記録しました。ジェットコースターのように浮き沈みの激しい一年でしたが終わってみると，感染対策の確かさとともに，新病院で進めた急性期機能の強化，そして「断らない」の姿勢が想定外の事態でも揺るがない事業活動・経営の土台になっていることを実感させられました。

新たな年度はさらに大きな波(第4波)に見舞われ，コロナとのたたかいに終わりはまだ見えません。しかし，いやいやそんな時だからこそ，2020年度の成果も確信にし，「明けない夜はない」を心に頑張りましょう。

2021年10月

事務長 森 高 志

耳原総合病院活動報告 2020年度

---

発行 2021年11月

発行者 社会医療法人 同仁会 耳原総合病院

事務長 森 高志

住所 〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町4丁465

TEL 072-241-0501 FAX 072-244-3577

---

表紙デザイン：室野愛子ホスピタルアートディレクター  
(当院所属)